


商奉行 / 蔵奉行 / シリーズ


# 機能アップガイド

Ver.2.56 / Ver.2.55



## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	ヤマト運輸(2017年)の送り状に対応	2
	<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	[在庫順位表]メニューで「在庫数量のあるもの」だけを集計する設定を追加	2
	証憑を関連付ける伝票を検索できる機能を追加  ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	2

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i ・ 蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### ● ヤマト運輸(2017年)の送り状に対応

ヤマト運輸の送り状が順次切り替わっています。

今回より、[随時処理]-[送り状印刷]メニューの送り状フォームで「0009：ヤマト運輸(2017年)」が選択できるようになります。

※[オリジナルフォーム]-[送り状座標登録]メニューにも、[送り状座標登録 - 複写元データ選択]画面の「テンプレートデータ」に「[ORG]ヤマト運輸(2017年)」が追加されています。

## 蔵奉行 i の機能アップ内容

### ● [在庫順位表]メニューで「在庫数量のあるもの」だけを集計する設定を追加

今までは、[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫順位表]メニューは、「在庫管理する商品すべて」が集計の対象でした。

今回より、「在庫数量のあるもの」だけを集計できるようになりました。

在庫がない商品を集計する必要がない場合に、「在庫数量のあるもの」だけを集計できます。

[詳細設定]ページの集計対象で設定します。



### ● 証憑を関連付ける伝票を検索できる機能を追加

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票証憑一括添付]メニュー・[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票証憑一括添付]メニューで、証憑を関連付ける伝票を目視ではすぐに見つけれないときに、証憑上の取引先の名称や金額で検索できるようになりました。

集計結果画面で  を押すと検索できます。


商奉行 / 蔵奉行 / シリーズ


# 機能アップガイド

Ver.2.54 / Ver.2.53



## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	契約書を「契約期間（終了）」で検索できるように変更 ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	2
	<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	電子証憑を仕入伝票・支払伝票に関連付けできる機能を追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	3

### 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i の機能アップ内容

### ● 契約書を「契約期間（終了）」で検索できるように変更 ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞

契約書を「契約期間（終了）」で検索できるようになりました。  
指定した期間内に契約期間が終了する契約書を検索できます。

#### ◀ 関連メニュー ▶

- ・ [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー
- ・ [随時処理]-[データ一括削除]-[販売データ一括削除]-[契約書データ一括削除]メニュー
- ・ [随時処理]-[承認処理]-[契約書承認]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[契約書データ作成]メニュー

## 蔵奉行 i の機能アップ内容



### ● 電子証憑を仕入伝票・支払伝票に関連付けできる機能を追加

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

受領した納品書・請求書などを「紙」ではなく「電子データ」で保存し、仕入伝票（[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー）・支払伝票（[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニュー）に関連付けできるようになりました。

関連付けることで、伝票の検索から電子証憑の追跡ができるため、証憑確認などの業務の煩雑さを軽減できます。

○[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの電子証憑設定を設定すると、仕入伝票・支払伝票に証憑を関連付けできるようになります。

○伝票を登録してから証憑を一括で関連付ける場合は、[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票証憑一括添付]メニュー・[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票証憑一括添付]メニューを使用します。

The screenshot displays the '支払伝票' (Payment Slip) entry screen on the left and an open '請求書' (Invoice) PDF in Adobe Acrobat Reader on the right. A red arrow indicates the link between the '請求書' field in the payment slip and the actual invoice document.

**支払伝票 (Payment Slip) Details:**

- 参考: 買掛金
- 証券: 請求書 20170120\_001
- 支払日付: 2017年 5月20日
- 支払先: 0001 太平洋食品株式会社
- 部門:
- 担当者:
- プロジェクト:
- 行 記: 会社銀行: 01 三菱東京UFJ 丸の内支店
- 支払内容:
- 振込元銀行: 三菱東京UFJ銀行 丸の内支店 当座預
- 振込先銀行:
- 手数料負担: 先方負担
- 振込方法: 窓口
- 手数料計算: 自動計算 (電信振)
- 区分: 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手
- 金額: 201,700.00
- 操作説明: F1 操作説明 F3 付属 F4 前伝票 F5 次伝
- 切替: ここをクリック、または[Ctrl]キーを押

**請求書 (Invoice) Details:**

請求書 20170120\_001.pdf - Adobe Acrobat Reader DC

ファイル 編集 表示(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ホーム ツール 請求書 20170120\_001... \*

サインイン

請求書 20170120\_001

日付: 2017年 5月20日

請求先: 太平洋食品株式会社

請求内容: 納品書

請求金額: 201,700.00

支払条件: 前払

支払期限: 2017年 5月20日

支払方法: 銀行振込

支払口座: 三菱東京UFJ銀行 丸の内支店 当座預

振込元銀行: 三菱東京UFJ銀行 丸の内支店 当座預

振込先銀行:

手数料負担: 先方負担

振込方法: 窓口

手数料計算: 自動計算 (電信振)

区分: 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手

金額: 201,700.00

操作説明: F1 操作説明 F3 付属 F4 前伝票 F5 次伝

切替: ここをクリック、または[Ctrl]キーを押

商奉行 / 蔵奉行 / シリーズ


# 機能アップガイド


Ver.2.52





## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《販売管理》</b>	
	OMSS の業務サービス「日本郵便 Web レター向け請求書ファイル出力」を用意 ＜「OMSS」 / 『奉行 i 8』をお使いの場合＞	2
	[請求書再発行]メニューに請求書の内容を再転送する機能を追加 ＜「OMSS」にご加入の場合＞	2
	請求書の請求先欄に得意先情報を出力する場合に、得意先情報として得意先コード・得意先名 だけを出力する設定を追加	3
	<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《仕入管理》</b>	
	支払明細書の支払先欄に仕入先情報を出力する場合に、仕入先情報として仕入先コード・仕入 先名だけを出力する設定を追加	4

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i の機能アップ内容

### ＜販売管理＞



#### ● OMSSの業務サービス「日本郵便Webレター向け請求書ファイル出力」を用意 ＜「OMSS」/『奉行 i 8』をお使いの場合＞

「OMSS」にご加入いただいているお客様向けに、「日本郵便Webレター向け請求書ファイル出力」を新たにご用意しました。

当システムの[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューから、日本郵便の「Webレター」サービス向けに、請求書の内容をファイルで出力します。

（※以下、日本郵便の「Webレター」は、「Webレター」と記載します。）

出力したファイルを日本郵便のホームページにアップロードすると、お客さまに代わって日本郵便が請求書を印刷・封入封かん・発送します。

請求書の作業負担を軽減でき、また人件費などのトータルコストも下げることができます。

※当システムから出力したファイルを日本郵便のホームページにアップロードし、請求書の印刷・封入封かん・発送を行えるサービスは、2016年11月以降に行える予定です。

## 参 考

○詳細は、操作説明の「「Webレター」向けに請求書のファイルを出力する」をご参照ください。

○「Webレター」の詳細は、以下のサイトをご参照ください。

[http://www.post.japanpost.jp/service/web/file\\_cooperation.html](http://www.post.japanpost.jp/service/web/file_cooperation.html)

○「OMSS」の詳細については、以下のサイトをご参照ください。

<http://www.obc.co.jp/click/omss/>

#### ● [請求書再発行]メニューに請求書の内容を再転送する機能を追加 ＜「OMSS」にご加入の場合＞

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで請求内容をファイルに転送した後に、ファイルを誤って削除した場合など、ファイルの転送だけをやり直す場合の手順が変更されました。

今までは、[販売管理]-[請求締処理]-[請求締取消]メニューで請求締を取り消し、再度[請求書発行]メニューを実行する必要がありました。

今回より、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「請求情報の保護」にチェックが付いている場合は、[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューで行えるようになりました。

これまでより少ない手順で再転送できます。

※請求内容の金額が変わるなど、ファイルの転送だけでなく、請求締をやりなおす必要がある場合は、今までと同様の手順で行います。

● 請求書の請求先欄に得意先情報を入力する場合に、得意先情報として得意先コード・得意先名だけを出力する設定を追加

今までは、複数の得意先の売上を1つの請求先に請求している場合に、請求書を得意先ごとに改ページして、請求先欄に得意先情報を入力すると、得意先コード・得意先名の他に得意先住所などの情報も出力されていました。

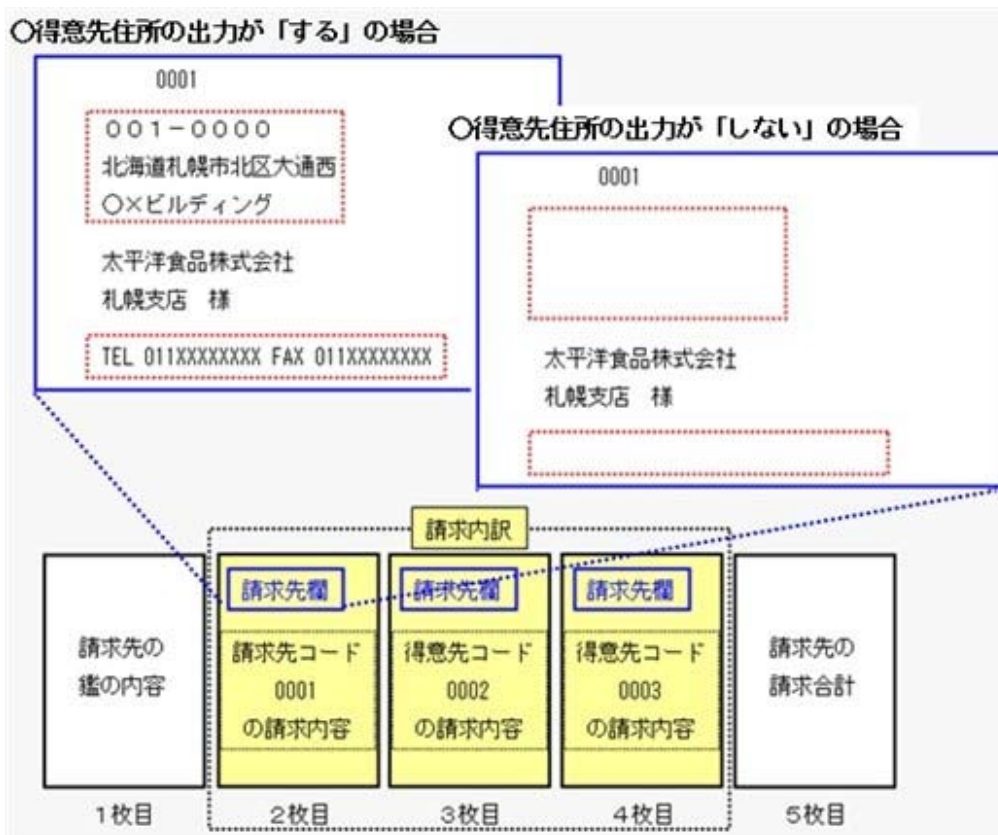
今回より、得意先住所などの情報を出力するか選択できるようになりました。

得意先コードと得意先名があれば、どの得意先の請求データか分かるため、住所などの情報を出力する必要がない場合に、[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページ・[合計請求書]ページの「得意先住所の出力」で「しない」を選択します。

「得意先住所の出力」で「しない」を選択すると、以下の得意先情報が出力されなくなります。

得意先郵便番号	得意先住所 1・2	得意先電話番号	得意先FAX番号
---------	-----------	---------	----------

▼例（明細請求書）



※得意先コード0002、得意先コード0003の請求内訳の請求先欄も同様です。

※以下の設定の場合に、請求書の請求先欄に得意先情報を出力できます。

○明細請求書・伝票請求書の場合

- ・[請求書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」：得意先
- ・[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「内訳ごとの改ページ」：する
- ・[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「請求先欄内訳情報の出力」：する

○合計請求書の場合

- ・[請求書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」：得意先
- ・[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[合計請求書]ページの「内訳ごとの出力」：する

※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも設定できるようになります。

## 《仕入管理》

- 支払明細書の支払先欄に仕入先情報を出力する場合に、仕入先情報として仕入先コード・仕入先名だけを出力する設定を追加

今までは、複数の仕入先の仕入を1つの支払先に支払している場合に、支払明細書を仕入ごとに改ページして、支払先欄に仕入先情報を出力すると、仕入先コード・仕入先名の他に仕入先住所などの情報も出力されていました。

今回より、仕入先住所などの情報を出力するか選択できるようになりました。

仕入先コードと仕入先名があれば、どの仕入先の支払データか分かるため、住所などの情報を出力する必要がない場合に、[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページ・[合計支払明細書]ページの「仕入先住所の出力」で「しない」を選択します。

「仕入先住所の出力」で「しない」を選択すると、以下の仕入先情報が出力されなくなります。

仕入先郵便番号	仕入先住所 1・2	仕入先電話番号	仕入先FAX番号
---------	-----------	---------	----------

### ▼例（明細支払明細書）

#### ○仕入先住所の出力が「する」の場合

0101

140-0011  
東京都品川区東大井  
〇×ビルディング

株式会社五反田産業  
東京支店 様

TEL 03XXXXXXXX FAX 03XXXXXXXX

#### ○仕入先住所の出力が「しない」の場合

0101

株式会社五反田産業  
東京支店 様

支払内訳				
支払先の 鑑の内容	支払先欄	支払先欄	支払先欄	支払先の 支払合計
1枚目	仕入先コード 0101 の支払内容	仕入先コード 0102 の支払内容	仕入先コード 0103 の支払内容	5枚目

※仕入先コード0102、仕入先コード0103の支払内訳の支払先欄も同様です。

※以下の設定の場合に、支払明細書の支払先欄に仕入先情報を出力できます。

#### ○明細支払明細書・伝票支払明細書の場合

- ・[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」：仕入先
- ・[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「内訳ごとの改ページ」：する

- ・[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「支払先欄内訳情報の出力」：する

○合計支払明細書の場合

- ・[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」：仕入先
- ・[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[合計支払明細書]ページの「内訳ごとの出力」：する

※[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューでも設定できるようになります。

商奉行 / 蔵奉行 / シリーズ

# 機能アップガイド

Ver.2.51



<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
<b>《伝票》</b>	
伝票を新規登録する際に、初期値として表示する日付を伝票ごとに設定するように変更	2
伝票の入力時に、誤って〔中止〕を押したときに確認メッセージを表示するように変更	2
伝票で担当者を検索する際に、指定済みの部門で絞り込む条件を変更	2
<b>《販売管理・仕入管理》</b>	
管理資料の印刷機能を強化	2
<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
得意先元帳で、売上伝票の表示形式が「明細単位」の場合の出力機能を強化	3
<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
仕入先元帳で、仕入伝票の表示形式が「明細単位」の場合の出力機能を強化	4

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i ・ 蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### 《伝票》

#### ● 伝票を新規登録する際に、初期値として表示する日付を伝票ごとに設定するように変更

今までは、伝票を新規登録する際に、初期値として表示する日付は、「システム日付」「前回登録日付」のどちらかを伝票共通で設定していました。

今回より、伝票ごとに設定できるようになりました。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「初期日付設定」で設定します。

※これにより、[会社機能設定]メニューの初期表示設定内の「伝票の初期日付」の設定はなくなりました。

毎日登録する売上伝票は「システム日付」、月末にまとめて登録する入金伝票は「前回登録日付」など、伝票ごとに初期値を設定できて便利です。

#### ● 伝票の入力時に、誤って[中止]を押したときに確認メッセージを表示するように変更

伝票の入力時に、誤って[中止]ファンクションキーを押したときに、入力していた明細がすべてクリアされてしまうのを防ぐため、確認メッセージを表示するようになりました。

#### ● 伝票で担当者を検索する際に、指定済みの部門で絞り込む条件を変更

今までは、伝票で部門が指定済みの場合に、担当者の検索画面を表示すると、必ず指定済みの部門コードが検索条件に追加されていました。

今回より、以下の場合は、指定済みの部門コードが検索条件に追加されなくなりました。

- ・すべての担当者に[導入処理]-[担当者登録]-[担当者登録]メニューの[基本]ページの部門を設定していない場合
- ・部門権限を使用する場合で、担当者に設定されている部門すべてに「○：許可」の権限がない場合

担当者に部門を設定せずに運用している場合など、部門で絞り込みしたくない場合に、検索条件を都度クリアする手間がなくなります。

### 《販売管理・仕入管理》

#### ● 管理資料の印刷機能を強化

[印刷設定]ページで設定できる項目が増えます。

○罫線なしで印刷できるようになりました。

罫線を印字するかどうかを選択できるようになりました。

罫線が不要な場合にご利用ください。



- フォントサイズを変更できるようになりました。  
フォントサイズを「8～12」から選択できるようになりました。  
お客様の見やすさに合わせてフォントサイズを調整できます。

## 商奉行 i の機能アップ内容

### ● 得意先元帳で、売上傳票の表示形式が「明細単位」の場合の出力機能を強化

○売上明細の「商品名 2・3」を出力できるようになりました。

[得意先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの売上明細の出力形式で「拡張形式」を選択し、[項目選択...] ボタンをクリックして、「商品名 2・3」を選択済項目に設定すると、出力できます。

「商品名 2・3」に規格やサイズを入力している場合など、取引内容をチェックする際に、都度伝票にジャンプしなくても確認できるようになるため、便利です。

○出力する売上明細の項目を任意に選択できるようになりました。

今までは、出力する売上明細の項目は、「単価」「入数（・入数 2）・箱数」「備考」「表示しない」からいずれか 1 つを選択していました。

今回より、以下の項目を自由に組み合わせて出力できるようになりました。

組み合わせできる項目			
商品名 2・3	備考	入数	入数 2
箱数	数量	単位	単価

[得意先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの売上明細の出力形式で「拡張形式」を選択し、[項目選択...] ボタンをクリックして、出力する項目を選択済項目に設定すると、出力できます。

例えば、単価と備考を同時に確認したい場合など、都度伝票にジャンプしなくても確認できるようになるため、便利です。

○商品コードを出力するかを選択できるようになりました。

今までは、商品コードは必ず出力されていました。

今回より、出力するかを選択できるようになります。

出力しない場合は、[得意先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの商品コードの出力で「しない」を選択します。

商品コードの出力が不要な場合にご利用ください。

○応用用紙の印刷時に、各項目の項目幅を変更できるようになりました。

[得意先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの売上明細の出力形式が「拡張形式」の場合で、応用用紙に印刷する場合に、各項目の項目幅を変更できます。

[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページにある「間隔を補正する」にチェックを付け、[補正值...] ボタンをクリックして表示される[補正值]画面で、項目ごとに補正後の長さを設定します。

例えば、出力項目が多く 2 枚に分かれてしまう場合に、各項目の余白部分を詰めて 1 枚に収まるように調整すると、印刷枚数を節約できます。

● 仕入先元帳で、仕入伝票の表示形式が「明細単位」の場合の出力機能を強化

○仕入明細の「商品名 2・3」を出力できるようになりました。

〔仕入先元帳 - 条件設定〕画面の〔出力設定〕ページの仕入明細の出力形式で「拡張形式」を選択し、〔項目選択...〕ボタンをクリックして、「商品名 2・3」を選択済項目に設定すると、出力できます。

「商品名 2・3」に規格やサイズを入力している場合など、取引内容をチェックする際に、都度伝票にジャンプしなくても確認できるようになるため、便利です。

○出力する仕入明細の項目を任意に選択できるようになりました。

今までは、出力する仕入明細の項目は、「単価」「入数（・入数 2）・箱数」「備考」「表示しない」からいずれか 1 つを選択していました。

今回より、以下の項目を自由に組み合わせて出力できるようになりました。

組み合わせできる項目			
商品名 2・3	備考	入数	入数 2
箱数	数量	単位	単価

〔仕入先元帳 - 条件設定〕画面の〔出力設定〕ページの仕入明細の出力形式で「拡張形式」を選択し、〔項目選択...〕ボタンをクリックして、出力する項目を選択済項目に設定すると、出力できます。

例えば、単価と備考を同時に確認したい場合など、都度伝票にジャンプしなくても確認できるようになるため、便利です。

○商品コードを出力するかを選択できるようになりました。

今までは、商品コードは必ず出力されていました。

今回より、出力するかを選択できるようになります。

出力しない場合は、〔仕入先元帳 - 条件設定〕画面の〔出力設定〕ページの商品コードの出力で「しない」を選択します。

商品コードの出力が不要な場合にご利用ください。

○応用用紙の印刷時に、各項目の項目幅を変更できるようになりました。

〔仕入先元帳 - 条件設定〕画面の〔出力設定〕ページの仕入明細の出力形式が「拡張形式」の場合で、応用用紙に印刷する場合に、各項目の項目幅を変更できます。

〔印刷等条件設定〕画面の〔印刷設定〕ページにある「間隔を補正する」にチェックを付け、〔補正值...〕ボタンをクリックして表示される〔補正值〕画面で、項目ごとに補正後の長さを設定します。

例えば、出力項目が多く 2 枚に分かれてしまう場合に、各項目の余白部分を詰めて 1 枚に収まるように調整すると、印刷枚数を節約できます。

商奉行 / 蔵奉行 / シリーズ

# 機能アップガイド

Ver.2.50



<b>【商奉行 i ・ 蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
<b>《全般》</b>	
明細表の出力機能を強化	2
<b>《導入処理》</b>	
マイナンバー制度（「社会保障・税番号制度」）の導入に伴い、法人番号の入力欄を追加	2
[運用設定]メニューの設定を変更する場合の手順を変更	3
<b>《販売管理・仕入管理》</b>	
元帳に「摘要 2」「摘要 3」を出力する設定を追加	3
FAX送信機能が、リモートデスクトップ環境で「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバをお使いの場合に対応	3
<b>《オリジナルフォーム》</b>	
オリジナルフォームの背景画像を設定する際に使用する単位を変更 ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	4

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i ・ 蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### 《全般》

#### ● 明細表の出力機能を強化

○ 集計条件に関わらず、伝票上の「商品名」「商品名 2・3」を出力できるようになりました。

今までは、「商品別」「商品コード 2・3 別」で集計した場合などは、伝票入力時に変更した「商品名」「商品名 2・3」を明細表に出力できませんでした。

今回より、「商品別」「商品コード 2・3 別」で集計した場合も、[条件設定]画面の[出力設定]ページの「伝票の商品名を出力する」にチェックを付けることで、伝票上の「商品名」「商品名 2・3」を出力できるようになります。

○ 「摘要 2」「摘要 3」を確認できるようになりました。

伝票の「摘要 2」「摘要 3」に入力した内容も、明細表で確認できるようになります。

集計条件によって、[条件設定]画面の[出力設定]ページの「出力項目」または「摘要の出力」で設定します。

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[見積処理]-[見積明細表]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注明細表]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注残明細表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上明細表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注明細表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注残明細表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入明細表]メニュー
- ・ [在庫管理]-[出荷処理]-[出荷明細表]メニュー
- ・ [在庫管理]-[入荷処理]-[入荷明細表]メニュー


### 《導入処理》

#### ● マイナンバー制度（「社会保障・税番号制度」）の導入に伴い、法人番号の入力欄を追加

平成27年10月から事業主へ法人番号の通知が開始されます。

これに伴い、当システムでは、[導入処理]-[会社情報登録]メニューに「法人番号」の入力欄が追加されました。

● **[運用設定]メニューの設定を変更する場合の手順を変更**

[導入処理]-[運用設定]メニューの各メニューの設定を変更する場合は、を押してから設定を変更するように手順が変更されました。

他のメニューを同時に操作したことが原因で設定を変更できない場合に、今までは設定を変更した後のタイミングでメッセージが表示されたため、再度同じ設定をしない必要がありました。

今回より、設定を変更する前のを押したタイミングでメッセージが表示されるように変更されます。

設定の変更前にメッセージが表示されるため、再度同じ設定をしない手間がなくなります。

◀ **関連メニュー** ▶

- ・ [導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニュー
- ・ [導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニュー
- ・ [導入処理]-[運用設定]-[コード桁数/項目名称設定]メニュー

◀ **販売管理・仕入管理** ▶ -----

● **元帳に「摘要2」「摘要3」を出力する設定を追加**

○ [販売管理]-[得意先元帳]メニューで、売上伝票の「摘要2」「摘要3」を出力できるようになりました。

売上伝票の「摘要2」「摘要3」に入力した内容も、得意先元帳で確認できるようになります。

[得意先元帳 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの伝票の表示形式によって、[得意先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「売上伝票の摘要出力」または「売上伝票の出力項目」で設定します。

○ [仕入管理]-[仕入先元帳]メニューで、仕入伝票の「摘要2」「摘要3」を出力できるようになりました。

仕入伝票の「摘要2」「摘要3」に入力した内容も、仕入先元帳で確認できるようになります。

[仕入先元帳 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの伝票の表示形式によって、[仕入先元帳 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「仕入伝票の摘要出力」または「仕入伝票の出力項目」で設定します。

● **FAX送信機能が、リモートデスクトップ環境で「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバをお使いの場合に対応**

今までは、リモートデスクトップ環境で運用している場合で、かつ「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバをお使いの場合に、FAX送信機能を使用できませんでした。

今回より、使用できるようになります。

## 《オリジナルフォーム》

---

### ● オリジナルフォームの背景画像を設定する際に使用する単位を変更

＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞

オリジナルフォームの[レイアウト基本設定]-[背景設定]ページの背景画像を設定する際に使用する単位が「pixel（ピクセル）」から「mm（ミリ）」または「inch（インチ）」に変更されました。

※「mm（ミリ）」または「inch（インチ）」は、[レイアウト基本設定]-[基本設定]ページの単位の指定によって決まります。

用紙のサイズや項目の印字位置を設定する際に使用する単位と統一されたため、背景画像の表示位置やサイズを調整しやすくなりました。

### 《 関連メニュー 》

- ・ [オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[得意先元帳座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[仕入先元帳座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[送り状座標登録]メニュー

商奉行 / 蔵奉行 / シリーズ


# 機能アップガイド



Ver.2.13





## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	<b>《全般》</b>	
	商品コード 2・3 の前ゼロを表示しない設定を追加	3
	マスター情報や管理資料の印刷機能を強化	3
	マスターの検索画面に設定した条件を保存し、次回以降も同じ条件で検索できる機能を追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	4
	伝票を修正した履歴があるかで、伝票を検索できる設定を追加 ＜『奉行 i 8』の『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	4
	バックアップデータのファイルサイズが小さくなるように変更（OBC専用モードの場合）	5
	<b>《販売管理・仕入管理》</b>	
	集計表から明細表へのジャンプ機能を追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	5
	パターン管理できるメニューを追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	5
	元帳に先頭ページのページ番号を指定する設定を追加	5
	FAX送信機能が64ビット版（x64）のOSの環境に対応	5
	<b>《随時処理》</b>	
	伝票消去処理によって消去しない伝票の条件を変更	6
	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	OMSSの業務サービス「請求データ出力」を用意 ＜「OMSS」にご加入の場合＞	7
	[請求書発行]メニューでパターン管理できるように変更	7
	<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	[預り品受払帳]・[仮出荷受払帳]・[仮入荷受払帳]メニューの出力項目を追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	7
	<b>【オプションの機能アップ内容】</b>	
	<b>《販売管理・仕入管理》</b>	
	受発注同時の伝票ごとに、粗利益の確認や原価割れチェックを行う機能を追加 ＜『奉行 i 8』の『受発注同時入力オプション』をお使いの場合＞	8
	売上仕入同時の伝票ごとに、粗利益の確認や原価割れチェックを行う機能を追加 ＜『奉行 i 8』の『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合＞	9
	[請求一覧表]メニュー・[請求締取消]メニューの絞込項目を追加 ＜『個別案件管理オプション』をお使いの場合＞	10
	[F B入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー・[電子記録債権入金伝票作成 [回収予定基準]] メニューの絞込項目を追加 ＜『個別案件管理オプション』をお使いの場合＞	11
	[支払一覧表]メニュー・[支払締取消]メニューの絞込項目を追加 ＜『個別案件管理オプション』をお使いの場合＞	11

《オリジナルフォーム》

納品書に「発注No.（仕入No.）」「仕入先コード」「仕入先名1」「仕入先名2」の印字項目を追加	11
＜『奉行 i 8』の『受発注同時入力オプション』をお使いの場合＞	
＜『奉行 i 8』の『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合＞	
※ただし、『奉行 i 8』が『Sシステム』または『Type NS』の場合	

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### 《全般》

#### ● 商品コード 2・3 の前ゼロを表示しない設定を追加

商品コード 2・3 について、前ゼロを表示しないように設定できるようになりました。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューでの「前ゼロ表示設定」で「商品コード 2・3」のチェックを外すと、数字だけで構成されている商品コード 2・3 について、前ゼロが表示されなくなります。

前ゼロを表示しないルールの場合や、前ゼロの表示がない方が見やすい場合に設定します。



#### ● マスター情報や管理資料の印刷機能を強化

○「A4縦・A4横・B4縦・B4横」の用紙サイズに対応

マスターの情報や管理資料の印刷で用紙サイズを「A4縦・A4横・B4縦・B4横」に変更した場合に、用紙サイズにあわせて印字位置が自動で調整されるようになりました。

用紙サイズは、各メニューの[印刷等条件設定]画面の[プリンタ設定]ページで変更できます。

例えば、印刷の向きを「縦」に変更すると縦方向に印刷できるデータの数が増えるため、印刷枚数を節約できる場合があります。

○各項目の項目幅を変更する設定を追加

マスターの情報や管理資料の印刷時に、項目幅を変更できるようになりました。

[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページにある「間隔を補正する」にチェックを付け、[補正值...]ボタンをクリックして表示される[補正值]画面で、項目ごとに補正後の長さを設定します。

例えば、これまで出力項目が多く 2 枚に分かれてしまっていた場合に、各項目の余白部分を詰めて 1 枚に収まるように調整すると、印刷枚数を節約できます。

- マスターの検索画面に設定した条件を保存し、次回以降も同じ条件で検索できる機能を追加

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

マスターの検索画面のリストに追加した条件を保存できるようになり、毎回同じ条件で検索する場合に、設定する手間を省けるようになりました。

- 伝票を修正した履歴があるかで、伝票を検索できる設定を追加

＜『奉行 i 8』の『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞

伝票を修正した履歴があるかで、伝票を検索できるようになりました。

例えば[随時処理]・[汎用データ受入]・[販売データ受入]・[仕入データ受入]・[在庫データ受入]メニューの各メニューで受け入れた伝票のうち、修正登録されていない伝票だけを検索する場合は、[検索条件設定]画面の[基本条件]ページの作成区分で「汎用受入」、修正区分で「修正なし」を選択します。

＜ 関連メニュー ＞

- ・ [販売管理]・[見積処理]・[見積書]メニュー
- ・ [販売管理]・[受注処理]・[受発注同時入力]メニュー（『受発注同時入力オプション』をお使いの場合）
- ・ [販売管理]・[受注処理]・[受発伝票]メニュー
- ・ [販売管理]・[売上処理]・[売上仕入同時入力]メニュー（『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合）
- ・ [販売管理]・[売上処理]・[売上伝票]メニュー
- ・ [販売管理]・[売上処理]・[契約販売処理]・[契約書登録]メニュー
- ・ [販売管理]・[入金処理]・[入金伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]・[発注処理]・[発注伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]・[仕入処理]・[仕入伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]・[支払処理]・[支払伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]・[出荷処理]・[出荷伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]・[入荷処理]・[入荷伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]・[構成部品処理]・[生産処理]・[生産伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]・[構成部品処理]・[分解処理]・[分解伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]・[倉庫振替処理]・[倉庫間振替伝票]メニュー

- バックアップデータのファイルサイズが小さくなるように変更（OBC専用モードの場合）  
バックアップデータを「OBC専用モード」で作成した際に、バックアップデータが自動的に圧縮されるようになり、サイズが小さくなりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [データ領域管理]-[バックアップ／復元]-[一括バックアップ]メニュー
- ・ [随時処理]-[バックアップ]メニュー

《 販売管理・仕入管理 》-----

- 集計表から明細表へのジャンプ機能を追加

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

今までは、[〇〇集計表]メニューに集計された金額や数量について、集計元となる明細を確認する場合は、[〇〇明細表]メニューを起動し、再度同じ条件で集計を行っていました。

今回より、集計表の結果画面から確認したいデータを選択して明細表にジャンプし、選択したデータの集計元の明細を一覧で確認できるようになりました。

明細表からは伝票にもジャンプすることができますので、集計表から伝票画面まで金額や数量を追跡できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注集計表]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注残集計表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上集計表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注集計表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注残集計表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入集計表]メニュー

- パターン管理できるメニューを追加

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

以下のメニューについても、集計条件をパターンとして管理できるようになりました。

20日締め・月末締めなどの集計条件を、パターンとして管理するため便利です。

《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニュー

- 元帳に先頭ページのページ番号を指定する設定を追加

[販売管理]-[得意先元帳]メニューで得意先元帳・[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューで仕入先元帳を印刷する際に、[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページで、先頭ページのページ番号を指定できるようになりました。

前回の印刷ページの後から続けてページ数を付番できるようになるため、請求先単位や支払先単位でまとめてバイндаなどに保管するときに、連番などにすることで管理しやすくなります。

- FAX送信機能が64ビット版（x64）のOSの環境に対応

64ビット版（x64）のOSの環境で、FAX送信機能を使用できるようになりました。

《 対応ドライバ 》

- ・ 「株式会社 リコー」のFAXドライバ
- ・ 「キヤノン 株式会社」のFAXドライバ
- ・ 「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバ

## << 随時処理 >> -----

### ● 伝票消去処理によって消去しない伝票の条件を変更

○今までは、[随時処理]-[伝票消去処理]メニューで、請求日付・入金日付が伝票消去処理日より前の日付でも、[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで請求書を発行していない伝票（売上仕入同時・売上伝票・入金伝票）は、消去されませんでした。  
 今回より、請求日付・入金日付と伝票消去処理日の間に請求書を発行済みの期間がある場合は、請求書を発行していない伝票でも消去されるようになりました。

▼例

#### << 条件 >>

○請求先 A（締日区分が「99:月末締め」）の売上伝票が以下のように登録されています。

	伝票区分	請求日付
売上伝票①	掛売上	2015/10/01
売上伝票②	掛売上	2015/11/01
売上伝票③	掛売上	2015/12/01

○以下の請求履歴があります。

請求先	請求期間
請求先 A	2015/11/01～2015/11/30

#### << 結果 >>

伝票消去処理日「2015/12/31」で、伝票消去処理を実行した場合は、「売上伝票①②」の伝票を消去します。

「売上伝票①」は、請求書を発行していない伝票ですが、請求日付と伝票消去処理日の間に請求書を発行済みの期間があるため、消去されます。

※「売上伝票③」は、請求書を発行していない伝票で、請求日付と伝票消去処理日の間に請求書を発行済みの期間がないため、消去されません。

○今までは、[随時処理]-[伝票消去処理]メニューで、精算日付・支払日付が伝票消去処理日より前の日付でも、[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューで支払明細書を発行していない伝票（売上仕入同時・仕入伝票・支払伝票）は、消去されませんでした。  
 今回より、精算日付・支払日付と伝票消去処理日の間に支払明細書を発行済みの期間がある場合は、支払明細書を発行していない伝票でも消去されるようになりました。

▼例

#### << 条件 >>

○支払先 A（締日区分が「99:月末締め」）の仕入伝票が以下のように登録されています。

	伝票区分	精算日付
仕入伝票①	掛仕入	2015/10/01
仕入伝票②	掛仕入	2015/11/01
仕入伝票③	掛仕入	2015/12/01

○以下の支払履歴があります。

支払先	精算期間
支払先 A	2015/11/01～2015/11/30

### 《 結果 》

伝票消去処理日「2015/12/31」で、伝票消去処理を実行した場合は、「仕入伝票①②」の伝票を消去します。

「仕入伝票①」は、支払明細書を発行していない伝票ですが、精算日付と伝票消去処理日の間に支払明細書を発行済みの期間があるため、消去されます。

※「仕入伝票③」は、支払明細書を発行していない伝票で、精算日付と伝票消去処理日の間に支払明細書を発行済みの期間がないため、消去されません。

## 商奉行 i の機能アップ内容



### ● OMSS の業務サービス「請求データ出力」を用意 ＜「OMSS」にご加入の場合＞

「OMSS」にご加入いただいているお客様向けに、「請求データ出力」を新たにご用意しました。

「請求データ出力」を利用すると、請求書の内容をファイルに転送できます。

転送したファイルは、例えば請求書の発行を代行するサービスなどに利用できます。

#### 注 意

請求書の内容をファイルに転送するには、あらかじめ、請求書の内容を転送する請求先に対して、[導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニューの[請求]ページの請求書発行方法で「1：転送」を設定する必要があります。

#### 参 考

「OMSS」の詳細については、以下のサイトをご確認ください。

<http://www.obc.co.jp/click/omss/>

### ● [請求書発行]メニューでパターン管理できるように変更

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューについても、集計条件をパターンとして管理できるようになりました。

請求書発行方法などの集計条件を、パターンとして管理できるため便利です。

## 蔵奉行 i の機能アップ内容

### ● [預り品受払帳]・[仮出荷受払帳]・[仮入荷受払帳]メニューの出力項目を追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

[在庫管理]-[預り品処理]-[預り品受払帳]メニュー・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷受払帳]メニュー・[在庫管理]-[仮入荷処理]-[仮入荷受払帳]メニューの一覧確認画面に、「摘要」「摘要2」「摘要3」を出力できるようになりました。



## 《販売管理・仕入管理》

### ● 受発注同時の伝票ごとに、粗利益の確認や原価割れチェックを行う機能を追加 ＜『奉行 i 8』の『受発注同時入力オプション』をお使いの場合＞

案件ごと・取引ごとに受発注同時の伝票を入力している場合に、発注だけの明細の金額や発注の値引額を含めて、伝票単位で粗利益を確認したり、「原価割れチェック」「粗利益チェック」を行えるようになりました。

発注だけの明細の金額や発注の値引額を含める場合は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「伝票同時入力の表示設定」内にある「受発注同時入力」-「原価の計算」で、「伝票ごと（発注だけの明細の金額・発注の値引額を含める）」を選択します。

※伝票の粗利益は、[受発注同時入力 - 設定]画面の[表示設定]ページで粗利計表示が「する」の場合に、粗利計に表示されます。

※原価割れチェックは、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「原価割れチェック設定」の設定でチェックされます。

※粗利益チェックは、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「粗利益チェック設定」の設定でチェックされます。

#### ▼例

#### 《条件》

○商品 A を 10,000 円で受注しました。

○自社に在庫がないため、6,000 円で発注して得意先に直送します。

○送料無料として販売しており、仕入先から得意先への送料 1,000 円は自社で負担します。

○仕入先から 500 円の値引を受けたので、得意先へも 500 円値引します。

受発注同時で以下を入力します。

	商品名	明細区分	受発注区分	税抜受注金額	税抜受注原価	税抜発注金額
1 明細目	商品 A	0：売上・仕入	0：受発注	10,000円	6,000円	6,000円
2 明細目	送料	5：運賃	2：発注	-	-	1,000円
3 明細目	値引	2：値引	0：受発注	-500円	-	-500円

#### 《結果》

原価と粗利計を計算するために必要な金額を整理すると、以下のようになります。

	税抜受注金額	税抜受注原価	受発注区分が「2：発注」の税抜発注金額	明細区分が「2：値引」かつ受発注区分が「0：受発注」の税抜発注金額
1 明細目	10,000円	6,000円	-	-
2 明細目	-	-	1,000円	-
3 明細目	-500円	-	-	-500円
伝票合計	9,500円（※1）	6,000円（※2）	1,000円（※3）	-500円（※4）



上記をもとに原価と粗利益を計算すると、以下のようになります。

○[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの原価の計算が「受注明細ごと」の場合は、1明細目の商品Aの受注分だけで原価が計算されます。

原価(※5) =	6,000円	粗利計(※6) =	3,500円
----------	--------	-----------	--------

※5：原価 = 税抜受注原価の合計(※2)

※6：粗利計 = 税抜受注金額の合計(※1) - 原価(※5)

○[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの原価の計算が「伝票ごと(発注だけの明細の金額・発注の値引額を含める)」の場合は、自社で負担した送料と発注の値引額を含めて原価が計算されます。

原価(※7) =	6,500円	粗利計(※8) =	3,000円
----------	--------	-----------	--------

※7：原価 = 税抜受注原価の合計(※2)

+ (受発注区分が「2：発注」の税抜発注金額の合計)(※3)

+ (明細区分が「2：値引」かつ受発注区分が「0：受発注」の税抜発注金額の合計)(※4)

※8：粗利計 = 税抜受注金額の合計(※1) - 原価(※7)

● **売上仕入同時の伝票ごとに、粗利益の確認や原価割れチェックを行う機能を追加  
＜『奉行i8』の『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合＞**

案件ごと・取引ごとに売上仕入同時の伝票を入力している場合に、仕入だけの明細の金額や仕入の値引額を含めて、伝票単位で粗利益を確認したり、「原価割れチェック」「粗利益チェック」を行えるようになりました。

仕入だけの明細の金額や仕入の値引額を含める場合は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「伝票同時入力の表示設定」内にある「売上仕入同時入力」-「原価の計算」で、「伝票ごと(仕入だけの明細の金額・仕入の値引額を含める)」を選択します。

※伝票の粗利益は、[売上仕入同時入力 - 設定]画面の[表示設定]ページの粗利計表示が「する」の場合に、粗利計に表示されます。

※原価割れチェックは、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「原価割れチェック設定」の設定でチェックされます。

※粗利益チェックは、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「粗利益チェック設定」の設定でチェックされます。

▼例

◀ 条件 ▶

○商品Aを10,000円で売り上げました。

○自社に在庫がないため、6,000円で仕入れて得意先に直送します。

○送料無料として販売しており、仕入先から得意先への送料1,000円は自社で負担します。

○仕入先から500円の値引を受けたので、得意先へも500円値引します。

**売上仕入同時で以下を入力します。**

	商品名	明細区分	売上仕入区分	税抜売上金額	税抜売上原価	税抜仕入金額
1 明細目	商品A	0：売上・仕入	0：売上仕入	10,000円	6,000円	6,000円
2 明細目	送料	5：運賃	2：仕入	-	-	1,000円
3 明細目	値引	2：値引	0：売上仕入	-500円	-	-500円

## 《 結果 》

原価と粗利計を計算するために必要な金額を整理すると、以下のようになります。

	税抜売上金額	税抜売上原価	売上仕入区分が「2：仕入」の税抜仕入金額	明細区分が「2：値引」かつ売上仕入区分が「0：売上仕入」の税抜仕入金額
1 明細目	10,000円	6,000円	-	-
2 明細目	-	-	1,000円	-
3 明細目	-500円	-	-	-500円
伝票合計	9,500円（※1）	6,000円（※2）	1,000円（※3）	-500円（※4）

上記をもとに原価と粗利益を計算すると、以下のようになります。

○[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの原価の計算が「売上明細ごと」の場合は、1明細目の商品Aの売上分だけで原価が計算されます。

原価（※5）	=	6,000円	粗利計（※6）	=	3,500円
--------	---	--------	---------	---	--------

※5：原価 = 税抜売上原価の合計（※2）

※6：粗利計 = 税抜売上金額の合計（※1） - 原価（※5）

○[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの原価の計算が「伝票ごと（仕入だけの明細の金額・仕入の値引額を含める）」の場合は、自社で負担した送料と仕入の値引額を含めて原価が計算されます。

原価（※7）	=	6,500円	粗利計（※8）	=	3,000円
--------	---	--------	---------	---	--------

※7：原価 = 税抜売上原価の合計（※2）

+ （売上仕入区分が「2：仕入」の税抜仕入金額の合計）（※3）

+ （明細区分が「2：値引」かつ売上仕入区分が「0：売上仕入」の税抜仕入金額の合計）（※4）

※8：粗利計 = 税抜売上金額の合計（※1） - 原価（※7）

## ● [請求一覧表]メニュー・[請求締取消]メニューの絞込項目を追加 ＜『個別案件管理オプション』をお使いの場合＞

プロジェクト区分1～10を指定して、絞り込むことができるようになりました。

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューでプロジェクト区分1～10を指定して発行した請求書について、[販売管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニューで内容を確認したり、[販売管理]-[請求締処理]-[請求締取消]メニューで請求締を一度に取り消すことができるようになります。

各メニューの[条件設定]画面の[詳細設定]ページで設定できます。

※[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューで「プロジェクト使用」の売上传票と入金伝票の両方にチェックが付いている場合に、プロジェクト区分1～10を指定できます。

## 《 関連メニュー 》

- ・[販売管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニュー
- ・[販売管理]-[請求締処理]-[請求締取消]メニュー

- [F B入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー・[電子記録債権入金伝票作成 [回収予定基準]]メニューの絞込項目を追加

＜『個別案件管理オプション』をお使いの場合＞

プロジェクトを指定して、消し込む回収予定を絞り込むことができるようになりました。  
請求先ごとプロジェクトごとに回収消込を行う場合に、消し込みたいプロジェクトの回収予定だけを集計できます。

※[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューで「プロジェクト使用」の売上伝票と入金伝票の両方にチェックが付いている場合に、プロジェクトで絞り込みできます。

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[入金処理]-[F B入金処理]-[F B入金伝票作成]-[F B入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権入金伝票作成]-[電子記録債権入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー（「OMSS」にご加入の場合）

- [支払一覧表]メニュー・[支払締取消]メニューの絞込項目を追加

＜『個別案件管理オプション』をお使いの場合＞

プロジェクト区分1～10を指定して、絞り込むことができるようになりました。

[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューでプロジェクト区分1～10を指定して発行した支払明細書について、[仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニューで内容を確認したり、[仕入管理]-[支払締処理]-[支払締取消]メニューで支払締を一度に取り消すことができます。

各メニューの[条件設定]画面の[詳細設定]ページで設定できます。

※[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューで「プロジェクト使用」の仕入伝票と支払伝票の両方にチェックが付いている場合に、プロジェクト区分1～10を指定できます。

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払締処理]-[支払締取消]メニュー

### 《オリジナルフォーム》

- 納品書に「発注No.（仕入No.）」「仕入先コード」「仕入先名1」「仕入先名2」の印字項目を追加

＜『奉行i8』の『受発注同時入力オプション』をお使いの場合＞または、

＜『奉行i8』の『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合＞

※ただし、『奉行i8』が『Sシステム』または『Type NS』の場合

[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニューに、印字項目「発注No.（仕入No.）」「仕入先コード」「仕入先名1」「仕入先名2」が追加されます。

○『受発注同時入力オプション』をお使いの場合は、[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニューから納品書を印刷する際に、発注伝票上の「発注No.」「仕入先コード」「仕入先名1」「仕入先名2」を印字できるようになります。

紐付く発注伝票や仕入先を確認したい場合に、納品書の控えに印字すると便利です。

○『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合は、[販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニューから納品書を印刷する際に、仕入伝票上の「仕入No.」「仕入先コード」「仕入先名1」「仕入先名2」を印字できるようになります。

紐付く仕入伝票や仕入先を確認したい場合に、納品書の控えに印字すると便利です。


商奉行 / 蔵奉行 / シリーズ


# 機能アップガイド

Ver.2.11



## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	<b>《全般》</b>	
	「未承認」「1次承認済」の伝票の見積書・納品書・注文書を印刷・FAX送信できないように制御する設定を追加 <div style="text-align: right;">＜『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合＞</div>	3
	見積書・注文書に「ページ番号」の印字項目を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	3
	「伝票検索一括表示」画面の項目を設定する機能を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	4
	<b>《導入処理》</b>	
	「プロジェクト登録」メニューのメニュー構成を変更	4
	<b>《販売管理・仕入管理》</b>	
	パターン管理できるメニューを追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	4
	「〇〇金振替」メニューで、振替元の伝票にジャンプして振替元の伝票を修正・複写・削除できる機能を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』の『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合＞</div>	4
	「取引実績一覧表」メニューの集計条件を追加 <div style="text-align: right;">＜『商奉行 i 8』と『蔵奉行 i 8』の両製品をお使いの場合＞</div>	4
	<b>《その他》</b>	
	Excel ピボットグラフを作成できるメニューを追加 <div style="text-align: right;">＜「OMSS」/『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	5
	よく使うメニューをすばやく開ける、ダイレクト起動メニューを追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	5
	クイックメニューにコピー機能（クリップボード）を追加 <div style="text-align: right;">＜「OMSS」/『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	6
	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《販売管理》</b>	
	受注残推移表を「出荷予定日」「納品期日」で集計する機能を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	7
	管理資料の出力項目に請求先（得意先・直送先）の住所・電話番号などを追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	7
	「請求書発行」メニューの機能を強化 ①内訳単位が「得意先」の場合に、請求先を並び順の先頭に出力できるようになりました。 ②請求書を専用用紙で印刷する場合に、入金明細を印字しないように設定できるようになりました。 ③請求期間内の取引が入金明細だけの請求先の請求書を発行しないように設定できるようになりました。	8



<p>④複数の得意先の売上を1つの請求先に請求している場合で、得意先ごとに請求書を発行している場合の印刷方法が変更されました。</p> <p>⑤合計請求書を内訳（得意先・プロジェクト・部門）ごとに出力する場合に、売上がなく入金だけの内訳データを印刷しないように設定できるようになりました。</p> <p>⑥明細請求書・伝票請求書を内訳（得意先・プロジェクト・部門）ごとに出力する場合で、入金明細を印字しないオリジナルフォームで印刷する場合に、売上がなく、入金だけの内訳データを印刷しないように設定できるようになりました。</p>	
<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
<b>《仕入管理》</b>	
発注残推移表を「納品期日」で集計する機能を追加  ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	10
管理資料の出力項目に支払先の住所・電話番号などを追加  ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	10
<p>[支払明細書発行]メニューの機能を強化</p> <p>①内訳単位が「仕入先」の場合に、支払先を並び順の先頭に出力できるようになりました。</p> <p>②支払明細書を印刷する場合に、支払明細を印字しないように設定できるようになりました。</p> <p>③精算期間内の取引が支払明細だけの支払先の支払明細書を発行しないように設定できるようになりました。</p> <p>④複数の仕入先の仕入を1つの支払先に支払っている場合で、仕入先ごとに支払明細書を発行している場合の印刷方法が変更されました。</p> <p>⑤合計支払明細書を内訳（仕入先・プロジェクト・部門）ごとに出力する場合に、仕入がなく支払だけの内訳データを印刷しないように設定できるようになりました。</p>	11
<b>《在庫管理》</b>	
在庫管理資料の集計条件を追加  ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	12
<b>【オプション製品の追加】</b>	
プロジェクト管理を強化できる『個別案件管理オプション』を用意  ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	13

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### 《全般》



- 「未承認」「1次承認済」の伝票の見積書・納品書・注文書を印刷・FAX送信できないように制御する設定を追加

＜『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合＞

「未承認」「1次承認済」の伝票の見積書・納品書・注文書を印刷・FAX送信できないように制御できるようになりました。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「未承認伝票の印刷設定」で設定できます。誤った注文書を送付したり、承認が下りていない見積書・納品書を得意先に提出してしまうミスを防ぐことができます。

#### 《関連メニュー》

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー（『受注発注同時入力オプション』をお使いの場合）
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー（『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合）
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー

- 見積書・注文書に「ページ番号」の印字項目を追加

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

見積書・注文書に、伝票ごとのページ番号・総ページ数を印字できるようになりました。

1伝票で複数ページを印刷する場合に、総ページ数の確認や、印刷物に漏れがないかを確認する際に便利です。

#### 《関連メニュー》

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー『受注発注同時入力オプション』をお使いの場合）
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）
- ・[オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）



- **【伝票検索一括表示】画面の項目を設定する機能を追加**

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

【伝票検索一括表示】画面に表示する項目を設定できるようになりました。

マスターの名称 1・2 や担当者などを表示しておくと、似たような伝票が複数枚登録されている場合に、目的の伝票を特定できて便利です。

※表示する項目の幅を変更すると、次回以降も同じ幅で表示されます。

## ＜導入処理＞

- **【プロジェクト登録】メニューのメニュー構成を変更**

【プロジェクト登録】メニューのメニュー構成を変更しました。

○変更前：[導入処理]-[プロジェクト登録]メニュー

○変更後：[導入処理]-[プロジェクト登録]-[プロジェクト登録]メニュー

## ＜販売管理・仕入管理＞

- **パターン管理できるメニューを追加**

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

以下のメニューについても、集計条件をパターンとして管理できるようになりました。

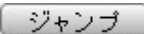
20日締め・月末締めなどの集計条件をパターンとして管理できるため便利です。

### ＜ 関連メニュー ＞

- ・ [販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニュー

- **【〇〇金振替】メニューで、振替元の伝票にジャンプして振替元の伝票を修正・複写・削除できる機能を追加**

＜『奉行 i 8』の『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合＞

処理区分が「振替」の場合に、を押して振替元の伝票にジャンプし、振替元の伝票を修正・複写・削除できるようになりました。

### ＜ 関連メニュー ＞

- ・ [販売管理]-[仮受金振替]-[仮受金振替]メニュー
- ・ [販売管理]-[前受金振替]-[前受金振替]メニュー
- ・ [仕入管理]-[前払金振替]-[前払金振替]メニュー

- **【取引実績一覧表】メニューの集計条件を追加**

＜『商奉行 i 8』と『蔵奉行 i 8』の両製品をお使いの場合＞

[販売管理]-[取引実績一覧表]メニューで、以下の条件を指定して集計できるようになりました。

○これまでは、受注・発注の内容を集計する際には、受注日付・発注日付が集計期間内の受注伝票・発注伝票を集計していました。

今回より、集計する際に基準とする日付を以下から選択できるようになりました。

- ・ 受注伝票：受注日付、出荷予定日、納品期日
- ・ 発注伝票：発注日付、納品期日

[取引実績一覧表 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「基準日付」で設定します。

例えば受注の内容を出荷予定日・納品期日を基準として集計することで、将来の売上見込の内容を確認できます。

○「差益」の計算方法を選択できるようになりました。[取引実績一覧表 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「差益の計算方法」で設定します。

受注や発注の内容などを考慮して差益を出力できます。



○出力項目に「受注原価」「受注残」「受注残原価」「売上原価」「発注残」を選択できるようになりました。

## 《その他》



### ● Excel ピボットグラフを作成できるメニューを追加

＜「OMSS」/『奉行i8』をお使いの場合＞

当システムの基幹データをもとに、業務情報の集計表（ピボットテーブル）やグラフ（ピボットグラフ）に出力し、ピボット分析ができるメニューが追加されました。

#### 《 関連メニュー 》

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注推移表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上推移表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上対比表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注推移表]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入推移表]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入対比表]メニュー



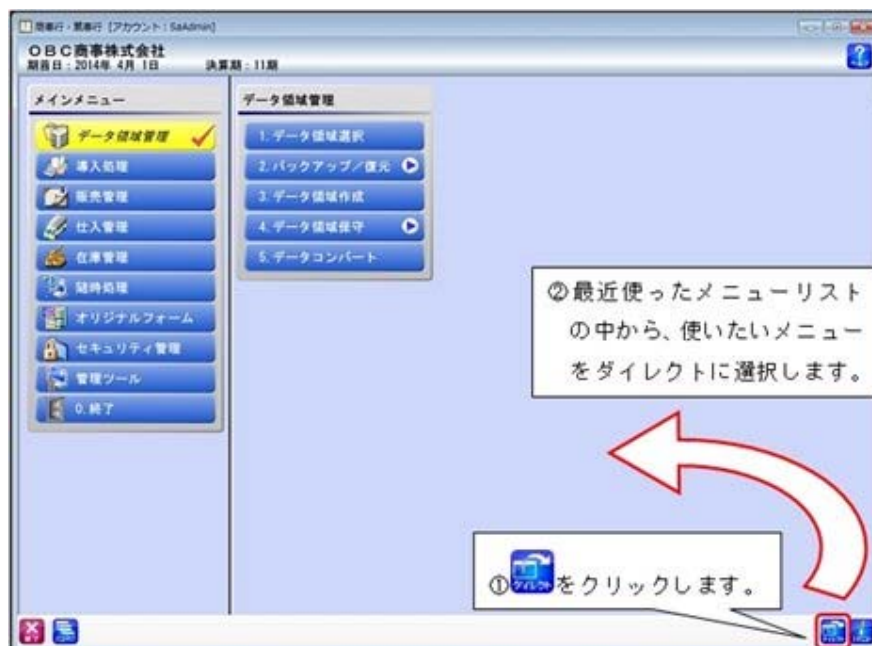
### ● よく使うメニューをすばやく開ける、ダイレクト起動メニューを追加

＜『奉行i8』をお使いの場合＞

ダイレクト起動メニューを利用すると、最近使ったメニューを簡単に開くことができます。

さらに、よく使うメニューをリストに固定表示することで、毎日使用しているメニューをすばやく起動できます。

▼イメージ図

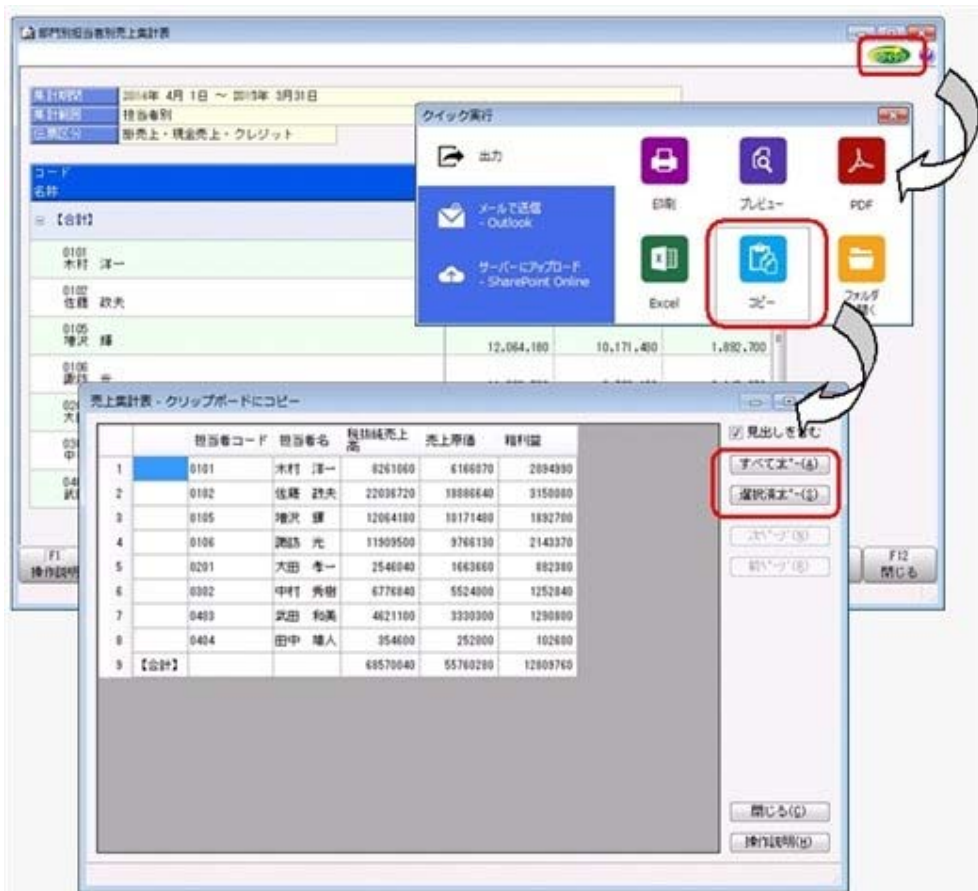




- クイックメニューにコピー機能（クリップボード）を追加  
＜「OMSS」/『奉行i8』をお使いの場合＞

画面の表示内容をコピーして、企業独自のひな形（Excel）に貼り付けて帳票を作成できるようになりました。

▼イメージ図



企業独自のひな形（Excel）に、  
コピーした内容を貼り付けます。



### 《販売管理》

#### ● 受注残推移表を「出荷予定日」「納品期日」で集計する機能を追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

今までは、[販売管理]-[受注処理]-[受注残推移表]メニューの集計期間は「受注日付」で指定していました。

今回より、集計期間の日付を「受注日付」「出荷予定日」「納品期日」から選択できるようになりました。

受注してから出荷・納品までにかかる日数が長い場合などに、出荷予定日・納品期日ごとに受注実績や受注残を把握できます。

将来の売上見込の推移を確認する場合などに便利です。



#### ● 管理資料の出力項目に請求先（得意先・直送先）の住所・電話番号などを追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

管理資料を請求先別（得意先別・直送先別）で集計する場合に、請求先（得意先・直送先）の住所・電話番号などの情報を出力できるようになりました。

追加された出力項目				
請求先名 1（※2）	請求先名 2（※2）	〇〇郵便番号	〇〇住所 1	〇〇住所 2
〇〇電話番号	〇〇FAX番号	〇〇担当者名	〇〇担当者部署名（※3）	〇〇担当者役職名（※3）
〇〇担当者電話番号（※3）	〇〇担当者携帯番号（※3）	〇〇担当者FAX番号（※3）	〇〇担当者E-Mail（※3）	〇〇敬称

※1：「〇〇」は、集計範囲での選択によって異なります。

※2：[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[未入金リスト]メニューで出力できます。

※3：集計範囲が「直送先別」の場合は、出力できません。

以下の場合などに便利です。

○売上実績がある得意先を絞り込み、DM（ダイレクトメール）を送付するリストを作成する場合

○「売掛金（未収入金）の内訳書」や「残高確認依頼書」を作成する場合

○売掛金残高の確認のために請求先に連絡を行う場合

○売掛金を滞留している請求先に対して督促を行う場合

### 《関連メニュー》

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注集計表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上集計表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上順位表]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収予定表]メニュー
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[未入金リスト]メニュー（『入金消込オプション』をお使いの場合）
- ・[販売管理]-[債権回収処理]-[滞留債権年齢表]メニュー（『入金消込オプション』をお使いの場合）
- ・[販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニュー
- ・[販売管理]-[売掛金残高順位表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上債権残高一覧表]メニュー

## ● [請求書発行]メニューの機能を強化

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューの請求書フォームについて、以下の①～⑥の内容が強化されました。

※請求書フォームによって、影響する内容が異なります。

	明細請求書	伝票請求書	合計請求書
専用用紙	①②③④	①②③④	①③⑤
オリジナルフォーム	①③④⑥	①③④⑥	①③⑤

①[請求書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」が「得意先」の場合に、請求先を並び順の先頭に出力できるようになりました。

今までは、複数の得意先の売上を1つの請求先に請求している場合で、得意先ごとに請求内容の明細を並べている場合は、得意先は得意先コード順で出力されていました。

今回より、請求先を並び順の先頭に出力し、その他の得意先は得意先コード順で出力できるようになりました。

[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[全般]ページの「内訳の出力順序」で「得意先コード順（請求先コード優先）」を選択すると、請求先が並び順の先頭になります。

例えば得意先ごとに請求書を送付している場合は、請求先宛のページが最初と最後にまとまり、仕分けしやすくなります。

※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも設定できるようになります。

### 参 考

複数の得意先の売上を1つの請求先に請求している場合で、得意先ごとに請求書を印刷する場合は、以下の順序で印刷されます。

○1ページ目：鑑の内容（宛先は請求先です。）

○2ページ目以降：得意先ごとの請求内容（宛先は得意先です。各得意先には、請求先も含まれます。）

○最終ページ：請求合計の内容（宛先は請求先です。）

※以下の設定で印刷した場合です。

- ・[請求書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」：得意先
- ・[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「内訳ごとの改ページ」：する
- ・[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「内訳ごとの鑑の出力」：する
- ・[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「請求先欄の内訳情報の出力」：する

②請求書を専用用紙で印刷する場合に、入金明細を印字しないように設定できるようになりました。

入金明細を印字しない場合は、[請求書発行 - 出力項目]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「入金伝票明細」で「印字しない」を選択します。

「印字しない」の場合は、以下のデータが印字されなくなります。

○明細請求書の場合

- ・入金伝票の明細
- ・内訳計の「御入金額」
- ・請求合計の「【御入金額合計】」

○伝票請求書の場合

- ・入金伝票の明細
- ・内訳計の「御入金額」
- ・請求合計の「【御入金額計】」

請求書には売上の内容だけを印字したい場合に対応できます。

※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも設定できるようになります。

**参 考**

請求書に入金の内容を印字したくない場合は、以下の設定もあわせて行います。

○[請求書発行 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「今回御請求額欄」：今回御買上額

○[請求書発行 - 出力項目]画面の[全般]ページの「前回御請求額～差引繰越金額欄」：印字しない

※オリジナルフォームをお使いの場合は、この設定は反映しないため、[オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニューで「前回御請求額～差引繰越金額」を印字しないフォームを作成します。

③請求期間内の取引が入金明細だけの請求先の請求書を発行しないように設定できるようになりました。

発行しない場合は、[請求書発行 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの発行条件「請求期間内の取引が入金明細だけの請求先」で「印刷する」のチェックを外します。

請求期間内に売上がなく、入金だけの請求書は送付しない場合に、不要な請求書を印刷しないようにできます。



④複数の得意先の売上を1つの請求先に請求している場合で、得意先ごとに請求書を発行している場合の印刷方法が変更されました。

請求先に売上・入金がなく、請求先ではない得意先に売上がある場合で、得意先ごとに請求書を発行している場合は、得意先ごとの請求書だけでなく、請求先に送付する請求書（鑑のページと請求合計のページ）を印刷するようになりました。

※以下の設定で印刷した場合です。

- ・[請求書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」：得意先
- ・[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「内訳ごとの改ページ」：する
- ・[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページの「請求先欄の内訳情報の出力」：する

※部門ごと、プロジェクトごとに請求書を発行する場合も、部門・プロジェクトごとの請求書だけでなく、請求先に送付する請求書（鑑のページと請求合計のページ）を印刷するようになりました。

※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも同様に印刷されます。

⑤合計請求書を内訳（得意先・プロジェクト・部門）ごとに出力する場合に、売上がなく入金だけの内訳データを印刷しないように設定できるようになりました。

印刷しない場合は、[請求書発行 - 内訳出力方法]画面の[合計請求書]ページの「取引が入金明細だけの内訳の出力」で「しない」を選択します。

売上が発生している内訳だけの請求書を送付する場合に、不要な請求書を印刷しないようにできます。

※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも設定できるようになります。

⑥明細請求書・伝票請求書を内訳（得意先・プロジェクト・部門）ごとに出力する場合で、入金明細を印字しないオリジナルフォームで印刷する場合に、売上がなく、入金だけの内訳データを印刷しないように設定できるようになりました。

印刷しない場合は、[請求書座標登録 - レイアウト基本設定]画面の[印刷設定]ページの「内訳の取引が入金明細だけの場合も印字する」のチェックを外します。  
売上が発生している内訳だけに請求書を送付する場合に、不要な内訳データを印刷しないようにできます。

※内訳ごとに改ページしている場合は、売上がなく入金だけの内訳データのページを印刷しないようにできます。

※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも同様に印刷されます。

## 蔵奉行 i の機能アップ内容

### 《仕入管理》

#### ● 発注残推移表を「納品期日」で集計する機能を追加

##### ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

今までは、[仕入管理]-[発注処理]-[発注残推移表]メニューの集計期間は「発注日付」で指定していました。

今回より、集計期間の日付を「発注日付」「納品期日」から選択できるようになりました。

発注してから納品までにかかる日数が長い場合などに、納品期日ごとに発注実績や発注残を把握できます。

将来の仕入見込の推移を確認する場合などに便利です。

#### ● 管理資料の出力項目に支払先の住所・電話番号などを追加

##### ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

管理資料を支払先別で集計する場合に、支払先の住所・電話番号などの情報を出力できるようになりました。

追加された出力項目				
支払先名 1 (※)	支払先名 2 (※)	支払先郵便番号	支払先住所 1	支払先住所 2
支払先電話番号	支払先FAX番号	支払先担当者名	支払先担当者部署名	支払先担当者役職名
支払先担当者電話番号	支払先担当者携帯番号	支払先担当者FAX番号	支払先担当者E-Mail	支払先敬称

※：[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[未支払リスト]メニューで出力できます。

以下の場合などに便利です。

- 「買掛金（未払金・未払費用）の内訳書」を作成する場合
- 買掛金残高の確認のために支払先に連絡を行う場合
- 支払予定の変更を連絡する場合

### 《 関連メニュー 》

- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払予定表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[未支払リスト]メニュー（『支払消込オプション』をお使いの場合）
- ・ [仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[買掛金残高順位表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入債務残高一覧表]メニュー



## ● [支払明細書発行]メニューの機能を強化

[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューの支払明細書フォームについて、以下の①～⑤の内容が強化されました。

※支払明細書フォームによって、影響する内容が異なります。

明細支払明細書	伝票支払明細書	合計支払明細書
①②③④	①②③④	①③⑤

①[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」が「仕入先」の場合に、支払先を並び順の先頭に出力できるようになりました。

今までは、複数の仕入先の仕入を1つの支払先に支払している場合で、仕入先ごとに支払内容の明細を並べている場合は、仕入先は仕入先コード順で出力されていました。

今回より、支払先を並び順の先頭に出力し、その他の仕入先は仕入先コード順で出力できるようになりました。

[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[全般]ページの「内訳の出力順序」で「仕入先コード順（支払先コード優先）」を選択すると、支払先が並び順の先頭になります。

例えば仕入先ごとに支払明細書を送付している場合は、支払先宛のページが最初と最後にまとまり、仕分けしやすくなります。

※[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューでも設定できるようになります。

### 参 考

複数の仕入先の支払を1つの支払先に支払している場合で、仕入先ごとに支払明細書を印刷する場合は、以下の順序で印刷されます。

○1ページ目：鑑の内容（宛先は支払先です。）

○2ページ目以降：仕入先ごとの支払内容（宛先は仕入先です。各仕入先には、支払先も含まれます。）

○最終ページ：支払合計の内容（宛先は支払先です。）

※以下の設定で印刷した場合です。

- ・[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」：仕入先
- ・[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「内訳ごとの改ページ」：する
- ・[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「内訳ごとの鑑の出力」：する
- ・[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「支払先欄の内訳情報の出力」：する

②支払明細書を印刷する場合に、支払明細を印字しないように設定できるようになりました。

支払明細を印字しない場合は、[支払明細書発行 - 出力項目]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「支払伝票明細」で「印字しない」を選択します。

「印字しない」の場合は、以下のデータが印字されなくなります。

○明細支払明細書の場合

- ・支払伝票の明細
- ・内訳計の「支払額」
- ・支払合計の「【支払合計】」

○伝票支払明細書の場合

- ・支払伝票の明細
- ・内訳計の「支払額」
- ・支払合計の「【支払計】」

支払明細書には仕入の内容だけを印字したい場合に対応できます。

※[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューでも設定できるようになります。

#### 参 考

支払明細書に支払の内容を印字したくない場合は、以下の設定もあわせて行います。

○[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「今回支払残高欄」：今回仕入額

○[支払明細書発行 - 出力項目]画面の[全般]ページの「前回支払残高～差引繰越金額欄」：印字しない

③精算期間内の取引が支払明細だけの支払先の支払明細書を発行しないように設定できるようになりました。

発行しない場合は、[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの発行条件「精算期間内の取引が支払明細だけの支払先」で「印刷する」のチェックを外します。

精算期間内に仕入がなく、支払だけの支払明細書は送付しない場合に、不要な支払明細書を印刷しないようにできます。

④複数の仕入先の仕入を1つの支払先に支払している場合で、仕入先ごとに支払明細書を発行している場合の印刷方法が変更されました。

支払先に仕入・支払がなく、支払先ではない仕入先に仕入がある場合で、仕入先ごとに支払明細書を発行している場合は、仕入先ごとの支払明細書だけでなく、支払先に送付する支払明細書（鑑のページと支払合計のページ）を印刷するようになりました。

※以下の設定で印刷した場合です。

- ・[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「内訳単位」：仕入先
- ・[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「内訳ごとの改ページ」：する
- ・[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「支払先欄の内訳情報の出力」：する

※部門ごと、プロジェクトごとに支払明細書を発行する場合も、部門・プロジェクトごとの支払明細書だけでなく、支払先に送付する支払明細書（鑑のページと支払合計のページ）を印刷するようになりました。

※[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューでも同様に印刷されます。

⑤合計支払明細書を内訳（仕入先・プロジェクト・部門）ごとに出力する場合に、仕入がなく支払だけの内訳データを印刷しないように設定できるようになりました。

印刷しない場合は、[支払明細書発行 - 内訳出力方法]画面の[合計支払明細書]ページの「取引が支払明細だけの内訳の出力」で「しない」を選択します。

仕入が発生している内訳だけの支払明細書を送付する場合に、不要な支払明細書を印刷しないようにできます。

※[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューでも設定できるようになります。

## 《在庫管理》

### ● 在庫管理資料の集計条件を追加

#### ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

在庫管理資料で、以下の条件を指定して集計できるようになりました。

○集計範囲で次の集計方法を選択できるようになりました。

- ・商品区分別
- ・商品区分別倉庫別
- ・商品区分別倉庫区分別倉庫別
- ・倉庫別商品区分別
- ・倉庫区分別倉庫別商品区分別



今までは、集計範囲の集計方法で「商品区分1別」を選択すると、必ずその次の集計方法は「商品別」が選択されました。

今回より、「商品区分1別」の次の集計方法を、「指定なし」「商品別」「商品コード2～5別」「商品区分2～5別」「倉庫別」「倉庫区分別」から選択できるようになりました。

これにより、セグメントを商品区分として登録している場合に、セグメントごとの数量や金額を出力し、期末に仕訳を起票する際に利用することもできます。

#### 《 関連メニュー 》

- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫順位表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[棚卸一覧表]メニュー

○集計範囲で複数の「商品区分別」を指定できるようになりました。

集計範囲の第一項目で「商品区分1別」、第二項目で「商品区分2別」など、集計範囲で複数の「商品区分別」を選択できるようになりました。

商品区分1を大分類、商品区分2を中分類というように運用している場合に、「商品区分1別商品区分2別」の集計ができるようになります。

#### ▼例

以下のように登録している場合に、「輸入区分別・商品種類別・商品別」の集計を行えるようになります。

輸入区分（商品区分1）	商品種類（商品区分2）
1：輸入	1：化粧品
2：国内	2：雑貨

#### 《 関連メニュー 》

- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[滞留在庫一覧表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[期限切れ商品在庫一覧表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫順位表]メニュー
- ・[在庫管理]-[在庫照会]-[棚卸一覧表]メニュー

## オプション製品の追加

### ● プロジェクト管理を強化できる『個別案件管理オプション』を用意

#### ＜『奉行i8』をお使いの場合＞

プロジェクト管理を強化できる『個別案件管理オプション』を新たにご用意しました。

『個別案件管理オプション』を導入いただくと、プロジェクトごとの残高管理やプロジェクトごとの請求書発行などを行えるようになります。

『個別案件管理オプション』の詳細については、以下のサイトをご確認ください。

<http://www.obc.co.jp/click/landing/kobetsu/>


商奉行 / 蔵奉行 / シリーズ



# 機能アップガイド

Ver.2.10



## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	<b>《全般》</b>	
	登録済みの期間単価で、商品登録単価を更新する機能を追加	2
	FAX送信機能が「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバに対応	2
	得意先ごとに納品書を印刷するかを設定する機能を追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	3
	納品書に「ページ番号」の印字項目を追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	3
	<b>《その他》</b>	
	Office連携サービスの機能を強化（テンプレート・パスワード） ＜「OMSS」/『奉行 i 8』をお使いの場合＞	4
	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《販売管理》</b>	
	売上明細の税率をチェックする機能を追加	5
	得意先元帳をプリンタの両面印刷機能を使用して印刷する場合の設定を追加	5
	発行する仕訳伝票に、請求先略称を印字する機能を追加	5
	[売上消費税額計算書]メニューを追加	6
	<b>《随時処理》</b>	
	[過去月売上実績アップロード]メニューを追加 ＜「OMSS」/『商奉行 i 8』のネットワーク対応製品をお使いの場合＞	6
	<b>《売上管理クラウドサービス》</b>	
	売上実績の月次推移を表示する機能を追加 ＜「OMSS」/『商奉行 i 8』のネットワーク対応製品をお使いの場合＞	7
	グラフの表示を切り替えるボタンを追加 ＜「OMSS」/『商奉行 i 8』のネットワーク対応製品をお使いの場合＞	8
	<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《仕入管理》</b>	
	仕入明細の税率をチェックする機能を追加	8
	仕入先元帳をプリンタの両面印刷機能を使用して印刷する場合の設定を追加	9
	発行する仕訳伝票に、支払先略称を印字する機能を追加	9
	[仕入消費税額計算書]メニューを追加	9
	<b>【オプションの機能アップ内容】</b>	
	<b>《販売管理》</b>	
	[消込済照会 [入金伝票基準]]メニューに転送機能を追加 ＜『奉行 i 8』の『入金消込オプション』をお使いの場合＞	10
	<b>《仕入管理》</b>	
	[消込済照会 [支払伝票基準]]メニューに転送機能を追加 ＜『奉行 i 8』の『支払消込オプション』をお使いの場合＞	10

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i ・ 蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### 《全般》



#### ● 登録済みの期間単価で、商品登録単価を更新する機能を追加

登録済みの期間単価で、商品登録単価を更新できるようになりました。

以下の表のように、期間単価の種類によって、更新できる単価が異なります。

更新元の期間単価	更新先の単価
期間単価	商品登録単価
単価区分別期間単価	単価区分別単価
単価区分別数量別期間単価	単価区分別数量別単価
得意先別期間単価	得意先別単価
仕入先別期間単価	仕入先別単価
得意先別数量別期間単価	得意先別数量別単価
数量別期間単価	数量別単価

例えば、以下の場合に期間単価で商品登録単価を更新できます。

○[随時処理]-[新税率期間単価作成]メニューで、期間単価として一括で登録した新税率の単価を作成元の単価に反映したい場合

※[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューで価格表の印刷を行いたい場合など、必要に応じて行います。

○価格改定後の単価を期間単価として事前に登録し、価格改定のタイミングで商品登録単価を更新したい場合

○キャンペーン期間の期間単価を、今後の商品登録単価とする場合

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[単価登録]-[期間単価登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別期間単価登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]-[単価区分別数量別期間単価登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[単価登録]-[得意先別期間単価登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[単価登録]-[仕入先別期間単価登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[得意先別数量別期間単価登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[数量別期間単価登録]メニュー

#### ● FAX送信機能が「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバに対応

FAX送信機能が「富士ゼロックス 株式会社」のFAXドライバに対応しました。

● **得意先ごとに納品書を印刷するかを設定する機能を追加**

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

得意先ごとに納品書を印刷するかを設定できるようになりました。

納品書を印刷する必要がない得意先をあらかじめ設定しておくので、伝票の登録と同時に納品書を印刷する場合や、条件に一致する伝票をまとめて印刷する場合に、納品書が必要な得意先にだけ印刷できます。

[導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニューの[販売]ページの「納品書発行」で設定します。

＜ 関連メニュー ＞

- ・ [導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー（『受発注同時入力オプション』をお使いの場合）
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー（『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合）
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上传票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー

● **納品書に「ページ番号」の印字項目を追加**

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

納品書に、伝票ごとのページ番号・総ページ数を印字できるようになりました。

1 伝票で複数ページを印刷する場合に、総ページ数の確認や、印刷物に漏れがないかを確認する際に便利です。

＜ 関連メニュー ＞

- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー（『受発注同時入力オプション』をお使いの場合）
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー（『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合）
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上传票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー

## 《その他》



### ● Office連携サービスの機能を強化（テンプレート・パスワード） ＜「OMS S」/『奉行i8』をお使いの場合＞

#### ○Excelピボットグラフのテンプレート機能

ピボットグラフを作成した後、分析しやすいようにExcel上でデザインを変更した場合に、次回以降も同じデザインで作成できます。

当システムでは、同じメニューの同条件で作成したピボットグラフのファイルをテンプレートとして指定すると、毎回独自のデザインでピボットグラフが作成できます。

#### 《 関連メニュー 》

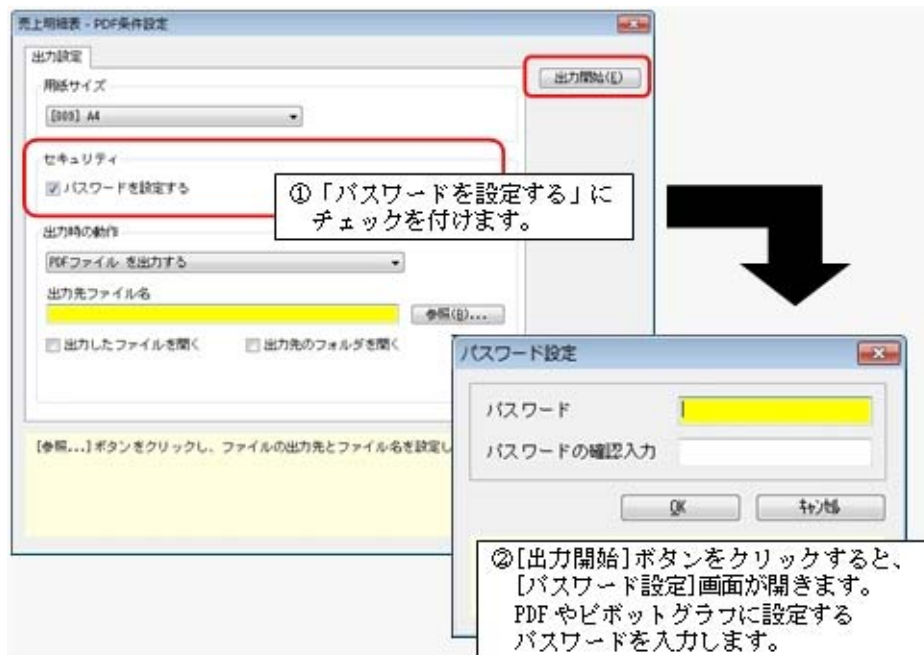
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注明細表]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注明細表]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入明細表]メニュー

#### ○Outlook メールテンプレートの機能

当システムでは、作成したPDFやピボットグラフをMicrosoft Outlookのメールに添付して送信する際に、宛先や件名、メール本文が毎回同じ場合は、Microsoft Outlookで保存したテンプレートを利用できます。

#### ○パスワード機能

当システムでは、作成したPDFやピボットグラフにパスワードを設定できます。



### 《販売管理》



#### ● 売上明細の税率をチェックする機能を追加

[販売管理]-[売上処理]-[売上明細表]メニューで、売上明細の税率が適切に入力されているかを確認する機能として、以下の操作を行えるようになりました。

○「8%」「5%」「3%」の税率を指定して集計すると、指定した税率の売上明細だけを出力できます。

○「税率」を出力できるようになりました。

#### ● 得意先元帳をプリンタの両面印刷機能を使用して印刷する場合の設定を追加

[販売管理]-[得意先元帳]メニューで、プリンタの両面印刷機能を使用して、複数の請求先の元帳を1度に印刷する場合に、請求先ごとに用紙を分けて印刷できるようになりました。

[得意先元帳 - 印刷条件設定]画面の[用紙設定]ページの「請求先別に印刷ドキュメントを分けて出力する」にチェックを付けると、請求先ごとに用紙を分けて印刷できます。

#### ▼例

##### 1度の元帳の印刷で、複数の請求先の元帳を発行する場合

【「請求先別に印刷ドキュメントを分けて出力する」にチェックが付いている場合】

裏面が印刷できる場合でも、請求先が異なる場合は、次の用紙に印刷します。



【「請求先別に印刷ドキュメントを分けて出力する」にチェックが付いていない場合】

裏面が印刷できる場合は、次の請求先の内容を続けて印刷します。



#### ● 発行する仕訳伝票に、請求先略称を印字する機能を追加

[販売管理]-[入金処理]-[入金伝票]メニューで、登録した入金伝票から仕訳伝票を発行する際に、請求先略称を印字できるようになりました。

[入金伝票 - 仕訳発行条件設定]画面の[出力設定]ページの「請求先略称」にチェックを付けると、印刷できます。

以下の用紙に印刷できます。

○[3371]仕訳伝票（OBCコクヨ式）

○[3372]仕訳伝票（OBC7行）

○[3381]単票仕訳伝票（OBCコクヨ式）

○[3382]単票仕訳伝票（OBC7行）





#### ● [売上消費税額計算書]メニューを追加

[販売管理]-[売上処理]-[売上消費税額計算書]メニューで、課税売上や非課税売上などの売上高・仮受消費税を、税率ごとに、一覧で確認できるようになりました。

例えば、以下の場合にこのメニューを使用します。

- 課税売上と課税売上以外の金額を確認する場合
- 仕訳伝票を手動で作成するために、金額を確認する場合

### 《随時処理》

#### ● [過去月売上実績アップロード]メニューを追加

＜「OMSS」／『商奉行i8』のネットワーク対応製品をお使いの場合＞

『売上管理クラウドサービス』を利用する際に、[随時処理]-[売上管理クラウドサービス]-[過去月売上実績アップロード]メニューで、前月より前の売上実績データをアップロードできるようになりました。

以下の場合に、このメニューを使用します。

- 会計期首から2ヵ月以上過ぎて、『売上管理クラウドサービス』の利用を開始する場合。
- 会計期首から2ヵ月以上過ぎて、[随時処理]-[売上管理クラウドサービス]-[売上実績アップロード]メニューで売上実績パターンを新規に作成する場合。
- 前月より前の売上実績データを修正した場合。
- 『売上管理クラウドサービス』にアップロードされている売上実績データを削除して、アップロードしなおす場合。

#### 参 考

[随時処理]-[売上管理クラウドサービス]-[売上実績アップロード]メニューの設定によって自動でアップロードされるのは、「前月月初」から「アップロード処理日（システム日付）」までの売上実績データです。

前月より前の売上実績データを参照するには、[過去月売上実績アップロード]メニューを使用します。





● 売上実績の月次推移を表示する機能を追加

＜「OMSS」／『商奉行 i 8』のネットワーク対応製品をお使いの場合＞

アップロードした売上実績データについて、月次推移を確認できるようになりました。

※アプリバーを表示し、「月次推移」を押すと表示されます。

▼イメージ図



● グラフの表示を切り替えるボタンを追加

＜「OMSS」／『商奉行 i 8』のネットワーク対応製品をお使いの場合＞

グラフの画面左下のボタン「月・日」「月」「日」を押すと、以下のように表示を切り替えできるようになりました。

○月・日

以下の「月」と「日」の両方を表示

○月（折れ線グラフ）

日々の売上実績データの累計だけを表示

○日（棒グラフ）

日々の売上実績データだけを表示

※今回追加された月次推移グラフも、「年・月」「年」「月」を押すと、表示を切り替えできます。

▼イメージ図



蔵奉行 i の機能アップ内容

《仕入管理》



● 仕入明細の税率をチェックする機能を追加

[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入明細表]メニューで、仕入明細の税率が適切に入力されているかを確認する機能として、以下の操作を行えるようになりました。

○「8%」「5%」「3%」の税率を指定して集計すると、指定した税率の仕入明細だけを出力できます。

○「税率」を出力できるようになりました。

- **仕入先元帳をプリンタの両面印刷機能を使用して印刷する場合の設定を追加**  
 [仕入管理]-[仕入先元帳]メニューで、プリンタの両面印刷機能を使用して、複数の支払先の元帳を1度に印刷する場合に、支払先ごとに用紙を分けて印刷できるようになりました。  
 [仕入先元帳 - 印刷条件設定]画面の[用紙設定]ページの「支払先別に印刷ドキュメントを分けて出力する」にチェックを付けると、支払先ごとに用紙を分けて印刷できます。

▼例

**1度の元帳の印刷で、複数の支払先の元帳を発行する場合**

【「支払先別に印刷ドキュメントを分けて出力する」にチェックが付いている場合】

裏面が印刷できる場合でも、支払先が異なる場合は、次の用紙に印刷します。



【「支払先別に印刷ドキュメントを分けて出力する」にチェックが付いていない場合】

裏面が印刷できる場合は、次の支払先の内容を続けて印刷します。



- **発行する仕訳伝票に、支払先略称を印字する機能を追加**

[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニューで、登録した支払伝票から仕訳伝票を発行する際に、支払先略称を印字できるようになりました。

[支払伝票 - 仕訳発行条件設定]画面の[出力設定]ページの「支払先略称」にチェックを付けると、印刷できます。

以下の用紙に印刷できます。

- [3371]仕訳伝票（○ＢＣコクヨ式）
- [3372]仕訳伝票（○ＢＣ７行）
- [3381]単票仕訳伝票（○ＢＣコクヨ式）
- [3382]単票仕訳伝票（○ＢＣ７行）



- **[仕入消費税額計算書]メニューを追加**

[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入消費税額計算書]メニューで、「課税仕入」や「課税仕入の返還等」などの課税売上分・非課税売上分・共通売上分・合計（課税売上分・非課税売上分・共通売上分の合計）の仕入高・仮払消費税を、税率ごとに、一覧で確認できるようになりました。例えば、以下の場合にこのメニューを使用します。

- 課税仕入と課税仕入以外の金額を確認する場合
- 仕訳伝票を手動で作成するために、金額を確認する場合

## オプションの機能アップ内容

---

### 《販売管理》

---

- [消込済照会 [入金伝票基準]]メニューに転送機能を追加  
＜『奉行 i 8』の『入金消込オプション』をお使いの場合＞

[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[消込済照会 [入金伝票基準]]メニューで、転送機能が追加されました。

消込済の伝票の内容を、テキストファイル形式のデータとして転送できます。また、Microsoft Excelに直接出力することもできます。

### 《仕入管理》

---

- [消込済照会 [支払伝票基準]]メニューに転送機能を追加  
＜『奉行 i 8』の『支払消込オプション』をお使いの場合＞

[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[消込済照会 [支払伝票基準]]メニューで、転送機能が追加されました。

消込済の伝票の内容を、テキストファイル形式のデータとして転送できます。また、Microsoft Excelに直接出力することもできます。


商奉行 / 蔵奉行 / シリーズ



# 機能アップガイド

Ver.2.03



## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	<b>《法改正情報》</b>	
	平成26年4月施行消費税8%改正に対応	2
	<b>《伝票》</b>	
	返品処理を効率化する機能を追加	3
	<b>《オリジナルフォーム》</b>	
	オリジナルフォームの印字項目で、接頭文字列・接尾文字列の文字数を拡張 ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	4
	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《販売管理》</b>	
	パターン管理できるメニューを追加 ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	4

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i ・ 蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### 《法改正情報》



#### ● 平成26年 4 月施行消費税 8 %改正に対応

平成26年 4 月施行消費税 8 %改正に伴い、下記項目に対応しました。

- ・ 消費税率 8 %への引き上げ
- ・ 旧税率 5 %が適用される経過措置の取引入力



## 《伝票》



### ● 返品処理を効率化する機能を追加

返品対象となる伝票をもとに、返品伝票を作成できるようになりました。

返品対象となる伝票を表示して **返品** を押すと、簡単に返品伝票を作成できます。

※ **返品** は、[Ctrl] キーを押してWindowsファンクションを切り替えて表示します。

### 参 考

- 返品対象となる伝票から、数量や金額の符号を変更して表示します。
- 返品対象となる伝票の税率のままで返品伝票を作成するため、経過措置に対応した返品処理の伝票も簡単に入力できます。

### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー（『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合）



- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上傳票]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー

## 《オリジナルフォーム》

- オリジナルフォームの印字項目で、接頭文字列・接尾文字列の文字数を拡張  
 < 『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合>

オリジナルフォームの印字項目について、接頭文字列・接尾文字列の文字数が10文字から20文字に拡張されました。

### 《 関連メニュー 》

- ・ [オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[得意先元帳座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[仕入先元帳座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[送り状座標登録]メニュー

## 商奉行 i の機能アップ内容

## 《販売管理》

- パターン管理できるメニューを追加  
 < 『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合>

[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約売上データ作成]メニューで、作成条件をパターンとして管理できるようになりました。

### 参 考

利用者ごとに利用できるパターンを制限する場合は、[導入処理]-[権限登録]-[パターン権限登録]メニューを設定してください。


商奉行 / 蔵奉行 / シリーズ

# 機能アップガイド

Ver.2.02



## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	<b>《全般》</b>	
	「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス」の「業務支援サービス」に対応	3
	電子記録債権の処理機能を追加	6
	管理資料や汎用データ作成などの集計条件で指定したコードを保存し、次回以降も同じ条件で集計できる機能を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	6
	パターン管理できるメニューを追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	6
	<b>《伝票》</b>	
	[得意先（請求先）情報]・[仕入先（支払先）情報]画面に、「住所 1」「住所 2」項目を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	7
	<b>《随時処理》</b>	
	仕訳伝票を「ファイル連動」で作成する場合でも、『勘定奉行』側で使用している仕訳コードを検索したり、「仕訳伝票リスト」に勘定科目名を印字できるように変更	8
	<b>《その他》</b>	
	『参照専用ライセンス』の初期画面を設定できるメニューを追加 <div style="text-align: right;">＜『参照専用ライセンス』をお使いの場合＞</div>	9
	メニュー形式が「メニューバー」の場合でも、「奉行 i メニュー」を表示する機能を追加	9
	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《販売管理》</b>	
	受注の出荷予定日・納品期日を明細ごとに管理する機能を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	10
	受注の出荷予定日・納品期日を受注日付から自動計算する機能を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	11
	FB入金データの受入条件を受入パターンとして保存する機能を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	11
	<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《仕入管理》</b>	
	発注の納品期日を明細ごとに管理する機能を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	12
	発注の納品期日を発注日付から自動計算する機能を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	13
	手数料負担が「先方負担」でも、一定の金額より支払金額が少ない場合は「当方負担」に自動で切り替える設定を追加 <div style="text-align: right;">＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞</div>	13



<b>《随時処理》</b>	
支払伝票の支払区分「2：銀行振込」の振込手数料に対する仕訳伝票作成の機能を強化 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	14
<b>【オプションの機能アップ内容】</b>	
<b>《随時処理》</b>	
受発注同時の汎用データ作成・受入メニューを追加 ＜『受発注同時入力オプション』をお使いの場合＞	15
売上仕入同時の汎用データ作成・受入メニューを追加 ＜『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合＞	15

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### 《全般》



- 「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス」の「業務支援サービス」に対応  
「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス（以下、OMSS）」にご加入いただいているお客様向けに、当システムを活用して業務生産性や情報活用の向上を支援する「業務支援サービス」をご用意しました。

また、新たに「OMSS+」というサービスも用意しています。「OMSS」にご加入いただいているお客様が、製品や業務カテゴリごとに、さらに充実した便利さを追求いただくにあたり、お客様が選択できるサービスです。

「OMSS」や「業務支援サービス」の詳細については、以下のサイトをご確認ください。

<http://www.obc.co.jp/click/omss/>

## 注 意

- 「業務支援サービス」は、「OMSS」の契約期間中に利用できるサービスです。  
「OMSS」の契約期間が終了した時点で、「業務支援サービス」も利用できなくなりますので、ご注意ください。
- 「OMSS+」は、「OMSS」にご加入いただいているお客様が、別途、追加料金によってご利用いただけるサービスです。

当システムでは、以下の「業務支援サービス」について利用できます。

### ■電子記録債権連携サービス

## 参 考

操作説明（ヘルプ）では、以下のように記載しています。

- 「OMSS」の「業務支援サービス」で提供する機能

**OMSS**

または『OMSS』

- 「OMSS+」の「業務支援サービス」で提供する機能

**OMSS PLUS**

または『OMSS+』

## ■電子記録債権連携サービス

### <「OMSS」をお使いの場合>

「電子記録債権」とは、事業者の資金調達の円滑化等を図るために創設された、既存の手形・売掛債権とは異なる新たな金銭債権です。

このサービスをご利用いただくことで、金融機関の電子記録債権サービスでダウンロードした電子記録債権データファイルをもとに、簡単に入金伝票を作成できます。

また、支払伝票をもとに、金融機関で受入できる電子記録債務データを出力することもできます。

### ○電子記録債権データの受入機能（『商奉行』をお使いの場合）

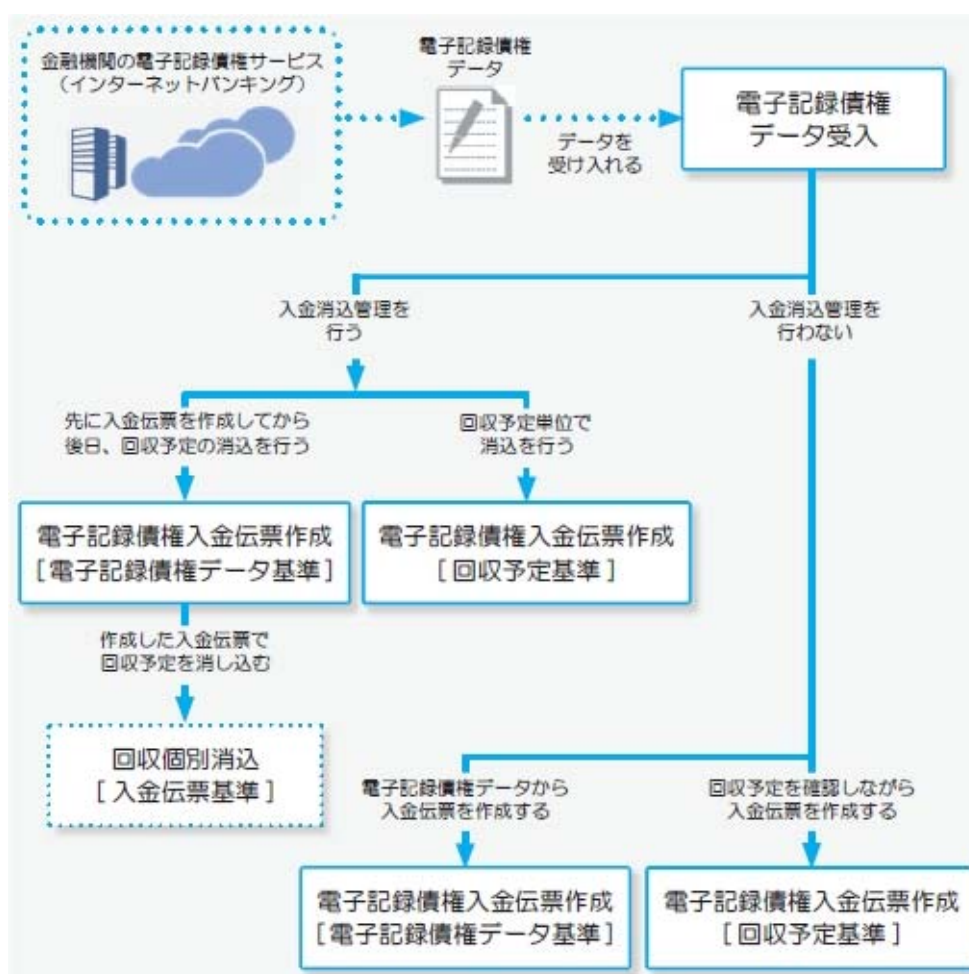
金融機関のインターネットバンキングなどで、ダウンロードした電子記録債権のファイル（以下、「電子記録債権データ」）を当システムに受け入れて、入金伝票を作成できるようになりました。

また、電子記録債権データから入金伝票を作成すると同時に、回収予定単位で消し込むこともできます。

受け入れできるデータは、でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）の「配信1」のデータです。

電子記録債権処理の流れは、以下のようになります。

管理する内容や処理方法によって、メニューの流れが異なります。お客様の運用にあわせたメニューをご利用ください。



## 《 新規メニュー 》

- ・ [販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権データ受入]メニュー
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権入金伝票作成]-[電子記録債権入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権入金伝票作成]-[電子記録債権入金伝票作成 [電子記録債権データ基準]]メニュー
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権データ確認表]メニュー
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権データ削除]メニュー

### ○電子記録債務データの作成機能（『蔵奉行』をお使いの場合）

[仕入管理]-[支払処理]-[電子記録債務処理]-[電子記録債務データ作成]メニューで、支払伝票の支払区分が「8：電子記録債権」の支払明細を会社銀行ごとに集計し、電子記録債権の発生記録請求データ（以下、「電子記録債務データ」）を作成できるようになりました。作成されるデータ形式は、でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）の「集信1」形式のデータです。

作成した電子記録債務データは、各金融機関のWebシステムで取り込む必要があります。

上記、「業務支援サービス」の利用期間を確認できる、[管理ツール]-[ライセンス一覧]メニューが追加されました。

当システムで使用できる「業務支援サービス」について、利用期間を一覧で確認できます。また、当システムおよびオプション製品についても、ライセンス情報（登録番号やライセンスキー等）を一覧で確認できます。

### ▼イメージ図

製品名	登録番号	利用期限	ライセンスキー またはセリットアップキー	I/O番号
蔵奉行	XXXX1111XX	—	11ZZ-11ZZ-11ZZ-11ZZ	111111111111
OMSS	—	—	—	—
Office連携	—	2016/09/30	—	—
電子記録債権連携サービス for 蔵奉行	—	2016/09/30	—	—
売上管理クラウドサービス for 蔵奉行	—	2016/09/30	—	—

※利用期間やライセンス情報の最新情報は、以下の方法で取得できます。

【インターネット接続環境のコンピュータで、当システムをお使いの場合】

常に最新情報が表示されます。

【インターネットに接続されていないコンピュータで、当システムをお使いの場合】

OMSSにご加入いただいたお客様がダウンロードできる「OMSSライセンスファイル」を、[ライセンス一覧]メニューで読み込むことで最新情報を表示できます。

※[ライセンス一覧]メニューは、管理者だけに表示されます。





## ● 電子記録債権の処理機能を追加

電子記録債権での入金（[販売管理]-[入金処理]-[入金伝票]メニューで、入金区分に「8：電子記録債権」を指定）や支払（[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニューで、支払区分に「8：電子記録債権」を指定）を処理できるようになりました。

これまでの入金伝票・支払伝票と同様に、回収予定の消込や支払予定の消込を行ったり、仕訳伝票の作成などを行えます。

また、電子記録債権用の管理資料として、[販売管理]-[入金処理]-[電子記録債権管理表]メニュー・[仕入管理]-[支払処理]-[電子記録債務管理表]メニューが追加されています。

なお、『OMS S』加入の場合は、上記の「電子記録債権連携サービス」の機能もご使用いただけます。



## ● 管理資料や汎用データ作成などの集計条件で指定したコードを保存し、次回以降も同じ条件で集計できる機能を追加

### <『奉行 i 8』をお使いの場合>

管理資料や汎用データ作成などの集計条件で指定したコードを保存できるようになり、毎回同じ条件で集計する場合に、設定する手間を省けるようになりました。

[条件設定]画面でコードを指定し、[コード保存] ボタンをクリックすると、次回からは指定したコードが表示され、同じ条件で集計できます。

また、メニューによってはコードだけでなく、付箋や利用情報などの集計条件も保存できるようになります。

## ● パターン管理できるメニューを追加

### <『奉行 i 8』をお使いの場合>

以下のメニューについても、集計条件をパターンとして管理できるようになりました。

さまざまな角度で集計・分析を行う場合に、それぞれの集計条件をパターンとして管理できるため便利です。

### ◀ 関連メニュー ▶

- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込]-[回収消込 [入金伝票基準]]メニュー
- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込確定]メニュー（『入金消込管理』オプションをお使いの場合）
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[F B 入金処理]-[F B 入金データ確認表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注検討表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込]-[支払消込 [支払伝票基準]]メニュー
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込確定]メニュー（『支払消込管理』オプションをお使いの場合）
- ・ [在庫管理]-[構成品処理]-[必要部品確認]メニュー
- ・ [在庫管理]-[棚卸一括登録]メニュー

### 参 考

利用者ごとに利用できるパターンを制限する場合は、[導入処理]-[権限登録]-[パターン権限登録]メニューを設定してください。



## 《伝票》

- [得意先（請求先）情報]・[仕入先（支払先）情報]画面に、「住所1」「住所2」項目を追加

### ＜『奉行i8』をお使いの場合＞

伝票入力時に確認できる[得意先（請求先）情報]・[仕入先（支払先）情報]画面に、「住所1」「住所2」が出力されるようになります。受注伝票の入力時に、得意先の住所によって納品期日を変更する場合などに、住所をすぐに確認できて便利です。

- [得意先（請求先）情報]画面は、得意先（請求先）の「住所1」「住所2」が出力されます。

※ [得意先（請求先）情報]画面は、得意先担当者欄・部門欄で **得意先情報**（**請求先情報**）を押すと表示されます。

- [仕入先（支払先）情報]画面は、仕入先（支払先）の「住所1」「住所2」が出力されます。

※ [仕入先（支払先）情報]画面は、仕入先担当者欄・部門欄で **仕入先情報**（**支払先情報**）を押すと表示されます。

### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理] - [見積処理] - [見積書] メニュー
- ・ [販売管理] - [受注処理] - [受注伝票] メニュー
- ・ [販売管理] - [売上処理] - [売上伝票] メニュー
- ・ [販売管理] - [売上処理] - [契約販売処理] - [契約書登録] メニュー
- ・ [販売管理] - [入金処理] - [入金伝票] メニュー
- ・ [仕入管理] - [発注処理] - [発注伝票] メニュー
- ・ [仕入管理] - [仕入処理] - [仕入伝票] メニュー
- ・ [仕入管理] - [支払処理] - [支払伝票] メニュー
- ・ [在庫管理] - [出荷処理] - [出荷伝票] メニュー
- ・ [在庫管理] - [入荷処理] - [入荷伝票] メニュー
- ・ [在庫管理] - [預り品処理] - [預り品伝票] メニュー
- ・ [在庫管理] - [仮出荷処理] - [仮出荷伝票] メニュー

### 『受発注同時入力オプション』をお使いの場合

- ・ [販売管理] - [受注処理] - [受発注同時入力] メニュー

### 『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合

- ・ [販売管理] - [売上処理] - [売上仕入同時入力] メニュー

## 《随時処理》

- 仕訳伝票を「ファイル連動」で作成する場合でも、『勘定奉行』側で使用している仕訳コードを検索したり、「仕訳伝票リスト」に勘定科目名を印字できるように変更

仕訳伝票を「ファイル連動」で作成する場合でも、連動先の『勘定奉行』側のデータ領域を設定することで、以下の操作を行えるようになりました。

### ○仕訳コードの検索

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューで、検索画面を表示して『勘定奉行』側で使用している仕訳コードを検索できるようになりました。

連動先の『勘定奉行』側のデータを直接確認しながら設定できるため、勘定科目リストなどの印刷物を確認しながら入力する手間がなくなり、また設定ミスをなくすることができます。

### ○「仕訳伝票リスト」への勘定科目名の印字

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで、作成される仕訳を確認するための「仕訳伝票リスト」に、コードだけでなく勘定科目名などの名称も印字できるようになりました。

コードと名称を突き合わせて、仕訳を確認する手間がなくなります。

部門/勘定科目/補助科目	金額	仕訳
【伝票日付】 2013年 4月 1日		
001 第一営業部 売上高	88,000	001 第一営業部 売上高
001 第一営業部 売上高	88,000	001 第一営業部 売上高
001 第一営業部 売上高	88,000	001 第一営業部 売上高
【計】	264,000	264,000
【伝票日付】 2013年 4月 1日		
001 第二営業部 売上高	88,000	001 第二営業部 売上高
001 第二営業部 売上高	88,000	001 第二営業部 売上高
001 第二営業部 売上高	88,000	001 第二営業部 売上高
【計】	264,000	264,000
【伝票日付】 2013年 4月 1日		
001 第三営業部 売上高	88,000	001 第三営業部 売上高
001 第三営業部 売上高	88,000	001 第三営業部 売上高
001 第三営業部 売上高	88,000	001 第三営業部 売上高
【計】	264,000	264,000

※連動先のデータ領域は、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューの[基本設定]ページで、[会社変更...] ボタンをクリックして設定します。

### 注 意

連動先の『勘定奉行』のデータ領域は、以下のいずれかの場合だけ選択できます。

○当システムと『勘定奉行』が、同じコンピュータにセットアップされている場合

○当システムと『勘定奉行』（ネットワーク対応製品）がセットアップされているコンピュータが、相互に相手のコンピュータ名を確認できるネットワーク環境で使用されている場合

## 《その他》



### ● 『参照専用ライセンス』の初期画面を設定できるメニューを追加 ＜『参照専用ライセンス』をお使いの場合＞

『参照専用ライセンス』の[お気に入り]画面について、管理者などが初期設定できる[管理ツール]-[お気に入りメニュー初期設定]メニューが追加されました。


[お気に入り]画面を初期設定すると、『参照専用ライセンス』の利用者がはじめてログインした際に、設定した[お気に入り]画面が初期で表示されます。

『参照専用ライセンス』の利用者は、初期設定内容から、独自の[お気に入り]画面に変更することもできます。



### ● メニュー形式が「メニューバー」の場合でも、「奉行iメニュー」を表示する機能を追加

[管理ツール]-[利用者別設定]メニューの[メニュー設定]ページのメニュー形式が「メニューバー」の場合でも、「奉行iメニュー」を表示できるようになりました。

「メニューバー」の右下の  アイコンをクリックすると、別ウィンドウで「奉行iメニュー」を表示できます。

※「奉行iメニュー」のご利用には、インターネット接続環境が必要となります。

＜販売管理＞



● 受注の出荷予定日・納品期日を明細ごとに管理する機能を追加

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

商品の中には、受注してから仕入先に発注が必要になる商品や、生産が必要になる商品があり、商品によって出荷予定日・納品期日が異なる場合があります。

今までは、1件の受注で出荷予定日・納品期日が異なる場合は、出荷予定日・納品期日ごとに受注伝票を複数登録していました。

今回より、出荷予定日・納品期日を明細（商品）ごとに管理できるようになったため、1件の受注で出荷予定日・納品期日が異なる場合でも、1枚の伝票でまとめて管理できるようになりました。

明細（商品）ごとに出荷予定日・納品期日を管理できます。

受注伝票の出荷予定日・納品期日の管理方法は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「受注伝票の出荷予定日・納品期日」で選択できます。

＜ 関連メニュー ＞

- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー（『受発注同時入力』オプションをお使いの場合）
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー

※対応する汎用データ受入にも同じ機能が追加されています。



## ● 受注の出荷予定日・納品期日を受注日付から自動計算する機能を追加

### <『奉行 i 8』をお使いの場合>

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「受注伝票の出荷予定日・納品期日を自動計算する」にチェックを付け、何日後に出荷・納品するか日数を設定することによって、受注の出荷予定日・納品期日を自動計算して表示できるようになりました。

出荷・納品までにかかる日数が毎回決まっている場合に、入力の手間を省けます。

○出荷予定日は、「受注日付+出荷までにかかる日数」で自動計算します。

出荷までにかかる日数は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「受注伝票の出荷予定日・納品期日」により設定箇所が異なります。

- ・「伝票ごとに入力」場合

自社で出荷までにかかる日数を設定します。[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの出荷予定日設定で設定します。

- ・「明細ごとに入力」の場合

商品ごとに出荷までにかかる日数を設定します。[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューの出荷予定日設定で設定します。

※[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの出荷予定日の休日カレンダーを設定すると、休日を考慮して出荷予定日を計算します。

○納品期日は、「出荷予定日+納品までにかかる日数」で自動計算します。

納品までにかかる日数は得意先ごとまたは直送先ごとに設定します。[導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニューの受注納品期日設定、[導入処理]-[直送先登録]メニューの受注納品期日設定で設定します。

### ◀ 関連メニュー ▶

- ・[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー（『受発注同時入力』オプションをお使いの場合）
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー

※対応する汎用データ受入にも同じ機能が追加されています。

## ● F B入金データの受入条件を受入パターンとして保存する機能を追加

### <『奉行 i 8』をお使いの場合>

[販売管理]-[入金処理]-[F B入金処理]-[F B入金受信データ受入]-[F B入金受信データ受入]メニュー・[販売管理]-[入金処理]-[F B入金処理]-[F B入金受信データ受入]-[F B入金外部ファイル受入]メニューで、F B入金データを受け入れる条件を受入パターンとして登録できるようになりました。

銀行によって振込専用口座の口座の格納位置が異なる場合など、銀行ごとに受入パターンを設定すると、毎回設定する手間が省けます。

受入パターンは、[受入条件設定]画面で [パターン登録] ボタンをクリックして登録します。

[受入条件設定]画面で F B入金データの受入条件を設定し、[更新] ボタンをクリックすると、受入条件が登録されます。



## 蔵奉行 i の機能アップ内容

### 《仕入管理》



#### ● 発注の納品期日を明細ごとに管理する機能を追加

##### ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

商品の中には、仕入先の出荷の都合によって納品期日異なる場合があります。

今までは、1件の発注で納品期日異なる場合は、納品期日ごとに発注伝票を複数登録していました。

今回より、納品期日を明細（商品）ごとに管理できるようになったため、1件の発注で納品期日異なる場合でも、1枚の伝票でまとめて管理できるようになりました。

行	区	商品コード	商品名	登録コード	入数	入数2	箱数	数量	単位	単価	金額	消費税	納品期日
0		J-10005	コンピュータ用紙S100-151NT	0201	150		6	900	枚	4	3,600	税抜	2013年11月 3日
2		J-10005	コンピュータ用紙S100-151NT	0101	150		112	16,800	枚	4	67,200	税抜	2013年11月 3日
3		J-10008	ワープロ用紙S100-129	0201	100		12	1,200	枚	5	6,000	税抜	2013年11月 5日

《税抜金額》 79,800 《消費税合計》 3,840 《外税》 3,840  
《内税》 0

入力行登録 0201 山下倉庫  
区分 0.仕入 1.返品 2.値引 3.雑仕 4.雑費 5.運賃 6.雑費 7

明細（商品）ごとに納品期日を管理できます。

発注伝票の納品期日の管理方法は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「発注伝票の納品期日」で選択できます。

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー（『受発注同時入力』オプションをお使いの場合）
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注検討表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー

※対応する汎用データ受入にも同じ機能が追加されています。



## ● 発注の納品期日を発注日付から自動計算する機能を追加

### <『奉行 i 8』をお使いの場合>

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「発注伝票の納品期日を自動計算する」にチェックを付け、何日後に納品するか日数を設定することによって、発注の納品期日を自動計算して表示できるようになりました。

納品までにかかる日数が毎回決まっている場合に、入力の手間を省けます。

納品期日は、「発注日付+納品までにかかる日数」で自動計算します。

納品までにかかる日数は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「発注伝票の納品期日」により設定箇所が異なります。

#### ○「伝票ごとに入力」場合

仕入先ごとに納品までにかかる日数を設定します。[導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先登録]メニューの発注納品期日設定で設定します。

#### ○「明細ごとに入力」の場合

商品ごとに納品までにかかる日数を設定します。[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューの発注納品期日設定で設定します。

### ◀ 関連メニュー ▶

- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニュー（『受発注同時入力』オプションをお使いの場合）
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注検討表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー

※対応する汎用データ受入にも同じ機能が追加されています。

## ● 手数料負担が「先方負担」でも、一定の金額より支払金額が少ない場合は「当方負担」に自動で切り替える設定を追加

### <『奉行 i 8』をお使いの場合>

支払う際の手数料負担が「先方負担」でも、一定の金額より支払金額が少ない場合に、手数料負担を自動で「当方負担」に切り替えできるようになりました。

支払先に対して[導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先登録]メニューの[振込]ページで先方負担最低振込金額を設定すると、支払金額によって、手数料負担が自動で切り替わります。

### ◀ 関連メニュー ▶

- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払予定基準]]メニュー（『支払消込オプション』をお使いの場合）
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込]-[支払消込 [支払予定基準]]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[支払データ作成]メニュー





● 支払伝票の支払区分「2：銀行振込」の振込手数料に対する仕訳伝票作成の機能を強化  
＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

○支払金額と先方負担の振込手数料を分けて仕訳を作成できるようになります。

今までは、支払伝票の支払区分「2：銀行振込」の明細から仕訳を作成する際に、10,000円を支払い、先方負担の振込手数料が210円の場合は、先方負担の振込手数料は支払金額に含まれて仕訳が作成されました。

借方		貸方	
買掛金	10,000円	当座預金	10,000円

今回より、支払金額と先方負担の振込手数料を分けて仕訳を作成できるようになりました。

借方		貸方	
買掛金	9,790円	当座預金	9,790円
買掛金	210円	未払金	210円

振込手数料が翌月に一括で引き落とされる場合に、翌月に引き落とされる金額を「未払金」として計上する場合などに利用します。

○当方負担の振込手数料から仕訳を作成する際の貸方科目を設定できるようになります。

今までは、支払伝票の支払区分「2：銀行振込」の明細から仕訳を作成する際に、支払金額と当方負担の振込手数料のどちらも、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューの[仕訳コード設定[会社銀行]]画面の[銀行振込]ページの設定で設定した内容で貸方科目が設定されていました。

借方		貸方	
買掛金	10,000円	当座預金	10,000円
支払手数料	210円	当座預金	210円

今回より、当方負担の振込手数料に対して、[仕訳コード設定[会社銀行]]画面の[振込手数料]ページの「支払伝票（当方負担）」で貸方科目を設定できるようになり、支払金額と当方負担の振込手数料の貸方科目を分けて仕訳を作成できるようになりました。

借方		貸方	
買掛金	10,000円	当座預金	10,000円
支払手数料	210円	未払金	210円

振込手数料が翌月に一括で引き落とされる場合に、翌月に引き落とされる金額を「未払金」として計上する場合などに利用します。

参 考

これまでと同様に、支払金額と当方負担の振込手数料の貸方科目を分ける必要がない場合は、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューの[仕訳コード設定[会社銀行]]画面の[振込手数料]ページの「支払伝票（当方負担）」を設定する必要はありません。

未設定の場合は、[仕訳コード設定[会社銀行]]画面の[銀行振込]ページの設定で仕訳が作成されます。

### 《随時処理》

---

#### ● 受発注同時の汎用データ作成・受入メニューを追加

##### <『受発注同時入力オプション』をお使いの場合>

受発注同時に対して、汎用データ作成・汎用データ受入が行えるようになります。

#### 《新規メニュー》

- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[受発注同時データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[販売データ受入]-[受発注同時データ受入]メニュー

#### ● 売上仕入同時の汎用データ作成・受入メニューを追加

##### <『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合>

売上仕入同時に対して、汎用データ作成・汎用データ受入が行えるようになります。

#### 《新規メニュー》

- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[売上仕入同時データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[販売データ受入]-[売上仕入同時データ受入]メニュー


商奉行 / 蔵奉行 / シリーズ

# 機能アップガイド

Ver.2.01



## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	<b>《全般》</b>	
	請求先の売掛金残高と支払先の買掛金残高・未払金残高を相殺する機能を追加 ＜『商奉行 i 8』と『蔵奉行 i 8』の両製品をお使いの場合＞	2
	利用者ごとに、利用できるパターンを制限する機能を追加 ＜『奉行 i 8』の『ネットワーク対応製品』をお使いの場合＞	3
	パターン管理できるメニューを追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	4
	<b>《管理資料》</b>	
	[売上仕入対比表]メニューの集計条件を追加 ＜『商奉行 i 8』と『蔵奉行 i 8』の両製品をお使いの場合＞	6
	[取引実績一覧表]メニューの集計条件を追加 ＜『商奉行 i 8』と『蔵奉行 i 8』の両製品をお使いの場合＞	6
	<b>《随時処理》</b>	
	仕訳伝票作成に伝票区分の指定機能を追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	6
	汎用データ作成の出力条件を追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	6
	汎用データを利用したリレー機能を追加 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	7
	[宛名ラベル作成]メニュー・[送り状印刷]メニューの機能を強化 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	10
	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《販売管理》</b>	
	予算管理の機能を強化	11
	<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《在庫管理》</b>	
	[在庫一覧表]メニューの集計条件を強化 ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞	12

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### 《全般》



#### ● 請求先の売掛金残高と支払先の買掛金残高・未払金残高を相殺する機能を追加 ＜『商奉行 i 8』と『蔵奉行 i 8』の両製品をお使いの場合＞

請求先の売掛金残高と支払先の買掛金残高・未払金残高を確認しながら、相殺処理を行えるようになりました。

[販売管理]-[相殺処理]-[一括相殺処理]メニューで、指定した日付（集計日付）時点の請求先の売掛金残高と支払先の買掛金残高・未払金残高を集計し、相殺する金額を指定します。

相殺処理を行うと、相殺する金額の入金伝票と支払伝票が作成され、売掛金残高と買掛金残高・未払金残高が減少します。

また、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「入金消込管理」「支払消込管理」にチェックが付いている場合は、「相殺した残高の集計元の伝票・開始残高」と「相殺処理によって作成された入金伝票・支払伝票」は消込済みの金額として集計され、回収消込・支払消込の対象になりません。

## 注 意

相殺処理を行うには、あらかじめ得意先と仕入先を関連付けておく必要があります。以下のどちらかのメニューで設定します。

- [導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニューの[相殺]ページ
- [導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先登録]メニューの[相殺]ページ

## 参 考

- 請求書を発行することで作成される回収予定の回収方法を決定する際に、相殺済みの金額を考慮することもできます。
- 支払明細書を発行することで作成される支払予定の支払方法を決定する際に、相殺済みの金額を考慮することもできます。



### ● 利用者ごとに、利用できるパターンを制限する機能を追加

#### ＜『奉行 i8』の『ネットワーク対応製品』をお使いの場合＞

マスターや管理資料の各パターンに対して、権限を設定できるようになりました。

[導入処理]-[権限登録]-[パターン権限登録]メニューで、当システムの利用者ごとに、パターン権限（「－：未設定」「○：許可」）を設定します。

権限があるパターンに対してだけ入力・参照ができるように制限できます。

※[パターン権限登録]メニューは、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「パターン権限」にチェックが付いている場合に使用できます。

#### ▼例

売上明細表で以下のように複数のパターンが登録されている場合に、営業のOGAWAさんには、「担当者別得意先別売上明細表」（パターン）だけを参照・印刷できるようにします。

売上明細表 - 集計パターン選択

パターンコード	パターン名
1	担当者別得意先別売上明細表
2	商品別売上明細表
3	担当者別売上明細表
4	売上日付別売上明細表
5	得意先別商品別売上明細表
6	商品別得意先別売上明細表
7	部門別担当者別売上明細表
8	売上日付別得意先別売上明細表

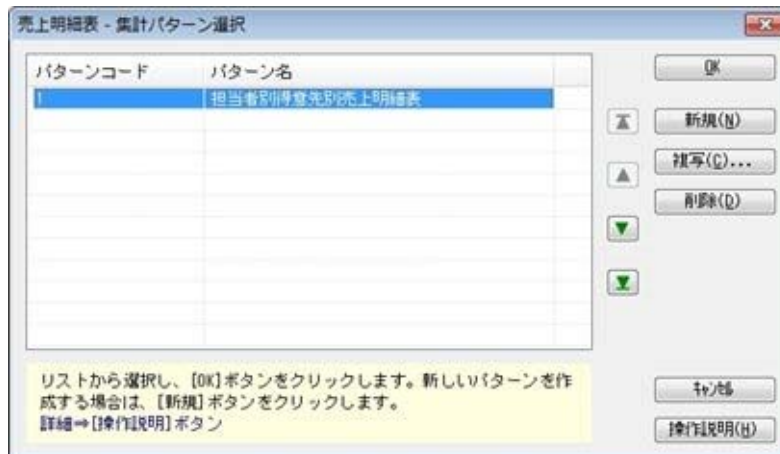
リストから選択し、[OK]ボタンをクリックします。新しいパターンを作成する場合は、[新規]ボタンをクリックします。  
詳細⇒[操作説明]ボタン

[パターン権限登録]メニューで、OGAWAさんに対して「担当者別得意先別売上明細表」に権限を設定します。

パターン権限登録		
パターン名	利用者	
	OGAWA 小川 三郎	SUZUKI 鈴木 次郎
【売上明細表】		
担当者別得意先別売上明細表	○	—
商品別売上明細表	—	—
担当者別売上明細表	—	—
売上日付別売上明細表	—	—
得意先別商品別売上明細表	—	—
商品別得意先別売上明細表	—	—

上記のように設定した場合、OGAWAさんが売上明細表を開くと、[集計パターン選択]画面には「担当者別得意先別売上明細表」だけが表示されます。

そのため、OGAWAさんは「担当者別得意先別売上明細表」の集計パターンだけを参照・印刷できます。



## ● パターン管理できるメニューを追加

### <『奉行i8』をお使いの場合>

以下のメニューについても、集計条件・作成条件をパターンとして管理できるようになりました。

さまざまな角度で集計・分析を行う場合に、それぞれの集計条件をパターンとして管理できるため便利です。

### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収予定表]メニュー
- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込]-[回収消込 [回収予定基準]]メニュー
- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収予定変更]メニュー
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[入金データ作成]メニュー
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[銀行別入金明細表]メニュー
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[受取手形管理表]メニュー
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[F B 入金処理]-[F B 入金伝票作成]-[F B 入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー
- ・ [販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売掛金残高順位表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払予定表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込]-[支払消込 [支払予定基準]]メニュー
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払予定変更]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[支払データ作成]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[銀行別支払明細表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[支払手形管理表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[買掛金残高順位表]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[商品データ作成]-[商品データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[得意先データ作成]-[得意先データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[仕入先データ作成]-[仕入先データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[見積書データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[受注伝票データ作成]メニュー



- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[売上伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[契約書データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[入金伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[発注伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[仕入伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[支払伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[出荷伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[入荷伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[生産伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[分解伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[倉庫間振替伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[預り品伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[仮出荷伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[仮入荷伝票データ作成]メニュー

#### 『入金消込オプション』をお使いの場合

- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [回収予定基準]]メニュー
- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [入金伝票基準]]メニュー
- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[消込済照会 [売上伝票基準]]メニュー
- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[消込済照会 [入金伝票基準]]メニュー
- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[未入金リスト]メニュー
- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[滞留債権年齢表]メニュー

#### 『支払消込オプション』をお使いの場合

- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払予定基準]]メニュー
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払伝票基準]]メニュー
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[消込済照会 [仕入伝票基準]]メニュー
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[消込済照会 [支払伝票基準]]メニュー
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[未支払リスト]メニュー

#### 参 考

○旧バージョンからバージョンアップした場合は、旧バージョンで使用していた条件（集計範囲や出力項目）が、メニュー起動時に新規パターンとして追加されます。

##### ▼追加されるパターンについて

追加されるパターンは、利用者ごとに「メニュー名[利用者アカウント名]」というパターン名になります。

※帳票タイトルを設定している場合は、パターン名は「帳票名[利用者アカウント名]」になります。

※旧バージョンで、該当メニューを使用していなかった利用者は、パターンは追加されません。

※通常、パターン名は20文字までの登録となりますが、自動で追加されるパターンは、21文字以上の場合でも登録されます。

ただし、パターン名を修正すると元に戻せませんので、ご注意ください。

○[汎用データ作成]メニューでは、汎用データの作成済履歴を作成パターンごとに管理します。

## 《管理資料》

### ● [売上仕入対比表]メニューの集計条件を追加

#### ＜『商奉行 i 8』と『蔵奉行 i 8』の両製品をお使いの場合＞

[販売管理]-[売上仕入対比表]メニューで、以下の条件を指定して集計できるようになりました。

○△△別商品別・△△別商品区分別・得意先別・請求先別・仕入先別・支払先別・得意先区分別・仕入先区分別で集計できるようになりました。

○[売上仕入対比表 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの売上传票区分・仕入伝票区分で、集計内容を絞り込めるようになりました。

### ● [取引実績一覧表]メニューの集計条件を追加

#### ＜『商奉行 i 8』と『蔵奉行 i 8』の両製品をお使いの場合＞

[販売管理]-[取引実績一覧表]メニューで、得意先別・請求先別・仕入先別・支払先別・得意先区分別・仕入先区分別で集計できるようになりました。

## 《随時処理》

### ● 仕訳伝票作成に伝票区分の指定機能を追加

#### ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで、作成する仕訳伝票の伝票区分を指定できるようになりました。

伝票区分を指定したい伝票に対して、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューの[伝票設定（販売）ページ]・[伝票設定（仕入）]ページの伝票区分で「使用する」を選択します。

「使用する」を選択した伝票は、[仕訳伝票作成]メニューで仕訳伝票を作成する際に、伝票区分を指定できます。

伝票区分を指定すると、『勘定奉行』の合計残高試算表などの管理資料で、当システムから連動した仕訳伝票を除いた集計や、当システムから連動した仕訳伝票だけを集計できるようになります。

### ● 汎用データ作成の出力条件を追加

#### ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

今までは、汎用データを出力する場合は、未作成のデータだけを出力するか、作成済みのデータも含めて出力するかを選択できました。

今回より、未作成のデータをさらに細かく設定できるようになり、「新規に追加したデータ」と「汎用データを作成後に修正したデータ」を分けて出力できるようになりました。

他のアプリケーションと連動している場合など、汎用データを作成後に修正したデータだけを確認したい場合に便利です。



## 《 関連メニュー 》

- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[商品データ作成]-[商品データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[得意先データ作成]-[得意先データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[仕入先データ作成]-[仕入先データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[見積書データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[受注伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[売上伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[契約書データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[入金伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[発注伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[仕入伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]-[支払伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[出荷伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[入荷伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[生産伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[分解伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[倉庫間振替伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[預り品伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[仮出荷伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]-[仮入荷伝票データ作成]メニュー



## ● 汎用データを利用したリレー機能を追加

### ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

[随時処理]-[汎用データ受入]メニューで、売上伝票（仕入伝票）の汎用データを受け入れる場合に、受注伝票（発注伝票）からリレーした伝票として受け入れることができるようになりました。

※ここでは、売上についてだけ説明しますが、仕入も同様です。

例えば、以下のように他のアプリケーションソフトと連動する場合に、受注伝票からリレーした売上伝票として受け入れることができます。

1. [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[受注伝票データ作成]メニューから受注データを出力する
2. 他のアプリケーションソフトで、「1.」の受注データを読み込む
3. 他のアプリケーションソフトで出荷処理を行い、出荷したデータ（売上データ）を出力する
4. [随時処理]-[汎用データ受入]-[販売データ受入]-[売上伝票データ受入]メニューで、「3.」の売上データを受け入れる  
(受注伝票からリレーした売上伝票として受け入れられます。)

### 《[汎用データ作成]メニューの機能追加》

[随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]-[受注伝票データ作成]メニューで、受注伝票のデータを[随時処理]-[汎用データ受入]-[販売データ受入]-[売上伝票データ受入]メニューで受け入れできる汎用データとして作成できるようになりました。

[受注伝票データ作成]メニューの[出力条件設定]画面の[拡張項目]ページの[売上伝票データ受入]メニューで受け入れできる形式で出力する」にチェックを付けると、受注伝票のデータを売上伝票用の汎用データに変換して出力します。

#### 参 考

[汎用データ作成]メニューの[出力条件設定]画面で、以下の内容を設定すると、出力するデータにリレーに必要な情報を含めることができます。

- [拡張項目]ページの「[売上伝票データ受入]メニューで受け入れできる形式で出力する」にチェックを付ける
- [項目選択]ページの出力項目で、「受注ID」「受注明細ID」「出荷予定区分」「数量」を選択済項目に設定する

※上記以外の項目については、必要に応じて選択済項目に設定してください。

### 《[汎用データ受入]メニューの機能追加》

[随時処理]-[汎用データ受入]-[販売データ受入]-[売上伝票データ受入]メニューで伝票を受け入れる際に、汎用データに以下のリレー情報を設定することで、リレーした伝票として受け入れることができます。

リレー情報：

売上伝票	受注ID	受注明細ID	出荷区分
仕入伝票	発注ID	発注明細ID	入荷区分

#### 参 考

リレー情報は、伝票画面でも確認できます。

#### ▼「受注ID」「受注明細ID」の確認方法

[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニューで、[受注伝票 - 設定]画面の[表示設定]ページの伝票ID表示を「する」に設定します。

該当の伝票を画面に表示すると「受注ID」「受注明細ID」が表示されます。

受注伝票

受注ID: 4399

発注ID: 4399

発注明細ID: 14353

行	品名	数量	単位	単価	金額	消費税	備考
0	プリントTシャツ(コットン素材)	1	枚	2,000	2,000		

《税別金額》 2,000 《消費税合計》 0 《内税》 0

《外税》 0 《合計》 2,000

受注明細ID: 14353

操作: F1 操作設定 F7 削除 F8 F A X 送信 F9 修正 F10 中止 F11 F12 閉じる

### ▼「発注ID」「発注明細ID」の確認方法

[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニューで、[発注伝票 - 設定]画面の[表示設定]ページの伝票ID表示を「する」に設定します。

該当の伝票を画面に表示すると「発注ID」「発注明細ID」が表示されます。

発注伝票

発注ID: 860

発注明細ID: 2668

行	品名	数量	単位	単価	金額	消費税	備考
0	コンピュータ用紙(151x117)	150	枚	900	135,000		

《税別金額》 135,000 《消費税合計》 3,640 《内税》 0

《外税》 3,640 《合計》 138,640

発注明細ID: 2668

操作: F1 操作設定 F7 削除 F8 F A X 送信 F9 修正 F10 中止 F11 F12 閉じる

● [宛名ラベル作成]メニュー・[送り状印刷]メニューの機能を強化

＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

○送り状・宛名ラベルを印刷する際の絞込項目を追加しました。

[随時処理]-[宛名ラベル作成]メニュー・[随時処理]-[送り状印刷]メニューで、印刷基準が「伝票」の場合に、より詳細な絞り込みが行えるようになりました。

▼追加された絞込項目

伝票	絞込項目
売上伝票	請求日付・プロジェクトコード・摘要・摘要2・摘要3・商品名・商品名2・商品名3・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1～5・倉庫区分・付箋
受注伝票	出荷予定日・納品期日・プロジェクトコード・摘要・摘要2・摘要3・商品名・商品名2・商品名3・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1～5・倉庫区分・付箋
仕入伝票	精算日付・プロジェクトコード・摘要・摘要2・摘要3・商品名・商品名2・商品名3・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1～5・倉庫区分・付箋
発注伝票	納品期日・プロジェクトコード・摘要・摘要2・摘要3・商品名・商品名2・商品名3・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1～5・倉庫区分・付箋
出荷伝票	プロジェクトコード・摘要・摘要2・摘要3・商品名・商品名2・商品名3・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1～5・倉庫区分
倉庫間振替伝票	出荷日付・入荷日付・振替元プロジェクトコード・摘要・摘要2・摘要3・商品名・商品名2・商品名3・備考・担当者区分・商品区分1～5
預り品伝票	プロジェクトコード・摘要・摘要2・摘要3・商品名・商品名2・商品名3・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1～5・倉庫区分
仮出荷伝票	プロジェクトコード・摘要・摘要2・摘要3・商品名・商品名2・商品名3・注文No.・倉庫コード・備考・担当者区分・商品区分1～5・倉庫区分

○送り状の宛先を個別指定した場合にも、請求先や支払先・倉庫ごとに指定したフォームで印刷できるようになりました。

[随時処理]-[送り状印刷]メニューで、[送り状印刷 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの指定方法が「個別指定」の場合に、[送り状印刷 - 条件設定]画面の[出力設定]ページのフォーム設定を選択できるようになりました。

特定の請求先や支払先に送り状を印刷する場合に、請求先や支払先ごとに指定したフォームで印刷できます。



### ＜販売管理＞



#### ● 予算管理の機能を強化

○[販売管理]-[予算実績対比表]-[予算登録]メニューで、登録できる予算の組み合わせが増えました。

##### ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

今までは、2次元の予算を登録する場合は、「部門別〇〇別」か「倉庫別〇〇別」の限られた組み合わせしか登録できませんでした。

今回より、以下のマスターを自由に組み合わせで予算を登録できるようになりました。

「担当者別得意先別」や「得意先別商品別」などのより詳細な予算を登録できるようになります。

組み合わせられるマスター				
得意先	請求先	部門	担当者	商品
倉庫	得意先区分	担当者区分	商品区分	倉庫区分

※一部組み合わせできない場合があります。

○[販売管理]-[予算実績対比表]-[予算実績対比表]メニューで、4次元の集計が行えるようになりました。

##### ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

今までは、「部門別得意先別」や「倉庫別商品別」のように2次元までしか集計できませんでした。

今回より、「得意先区分別得意先別商品区分別商品別」のように4次元まで集計できるようになりました。

予算と実績をより詳細に分析できるようになります。

○予算実績対比表の「商品区分別」や「商品別」の集計で、「0：一般商品」以外の商品も集計できるようになりました。

[販売管理]-[予算実績対比表]-[予算実績対比表]メニューで、「商品区分別」や「商品別」の売上実績を集計する場合に、[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューの[基本]ページの明細区分が「0：一般商品」以外の商品についても集計できるようになりました。

「5：消費税」もあわせて集計できるようになるため、商品区分別や商品別の売上実績を税込みで出力できるようになります。

[予算実績対比表]メニューの[予算実績対比表 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「一般商品以外も集計する」で設定します。



### ＜在庫管理＞

---

#### ● [在庫一覧表]メニューの集計条件を強化

##### ＜『奉行 i 8』をお使いの場合＞

今までは、[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニューで集計対象を絞り込む場合は、「在庫数量（※）のあるもの」と「対象期間に入出荷明細があるもの」のどちらかの条件を選択できました。

今回より、「在庫数量のあるもの」と「対象期間に入出荷明細のあるもの」の両方の条件を設定して集計できるようになりました。

「在庫数量のあるもの」と「対象期間に入出荷明細のあるもの」の両方の条件を設定した場合は、どちらかの条件に当てはまるものが集計されます。

※「在庫数量のあるもの」の在庫数量として、「在庫合計」「現品残数」「合計残数」のいずれかを選択できます。

商奉行*i*  
販売管理システム


・ 蔵奉行*i*  
仕入・在庫管理システム

# 機能アップガイド

Ver.2.00



## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	<b>《販売管理・仕入管理》</b>	
	伝票No.・請求No.・支払No.の機能を強化	2
	リレー時の付番設定の機能を追加	3
	リレー時に消費税を再計算する機能を追加	3
	FAX送信が「キヤノン 株式会社」のFAXドライバに対応	3
	<b>《随時処理》</b>	
	仕訳伝票作成の機能を強化	4
	<b>《その他の変更情報》</b>	
	Windowsの[スタート]ボタンからの、ヘルプ等の起動方法を変更	4
	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《販売管理》</b>	
	受注伝票から売上伝票に一括でリレーできる機能を追加	5
	仮受金・前受金の管理機能を追加 ＜『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合＞	6
	<b>《管理資料》</b>	
	銀行別入金明細表・銀行別入金集計表に出力条件を追加	7
	<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《仕入管理》</b>	
	発注伝票から仕入伝票に一括でリレーできる機能を追加	7
	前払金の管理機能を追加 ＜『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合＞	8
	<b>【オプションの機能アップ内容】</b>	
	<b>《販売管理・仕入管理》</b>	
	受発注同時入力の機能を追加 ＜『受発注同時入力オプション』をお使いの場合＞	9
	売上仕入同時入力の機能を追加 ＜『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合＞	10

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i ・ 蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### 《販売管理・仕入管理》

#### ● 伝票No. ・ 請求No. ・ 支払No. の機能を強化

○伝票No. ・ 請求No. ・ 支払No. に「初期No.」を設定できるようになります。

今までは、付番方法が「年度」「月度」の場合は、年度更新後の翌期（再来期）に付番される伝票No. ・ 請求No. ・ 支払No. は、必ず「1」でした。

今回より、年度更新後の翌期（再来期）に付番する伝票No. ・ 請求No. ・ 支払No. を、あらかじめ「初期No.」として設定できるようになります。

毎年、同じ伝票No. ・ 請求No. ・ 支払No. から付番する場合に、自動的に設定されるので便利です。

伝票No. : [導入処理]-[伝票開始No. 登録]メニューの各メニューで設定します。

請求No. : [請求書発行 - No. 情報]画面で設定します。

支払No. : [支払明細書発行 - No. 情報]画面で設定します。

#### ▼例

伝票No. を 年度ごと得意先ごとに設定する場合、以下のように初期No. を設定すると、毎年、得意先Aは「A-0001」、得意先Bは「B-0001」から伝票No. を付番できます。

売上伝票開始No.登録 - 条件設定

基本設定

処理区分

☐ 次回付番No. ☒ 初期No.

集計範囲

得意先コード 最初

設定期間

2013年 4月 1日

来期期末までに初期  
します。  
再来期以降に初期表  
す。  
詳細⇒[操作説明]ボ

初期No.

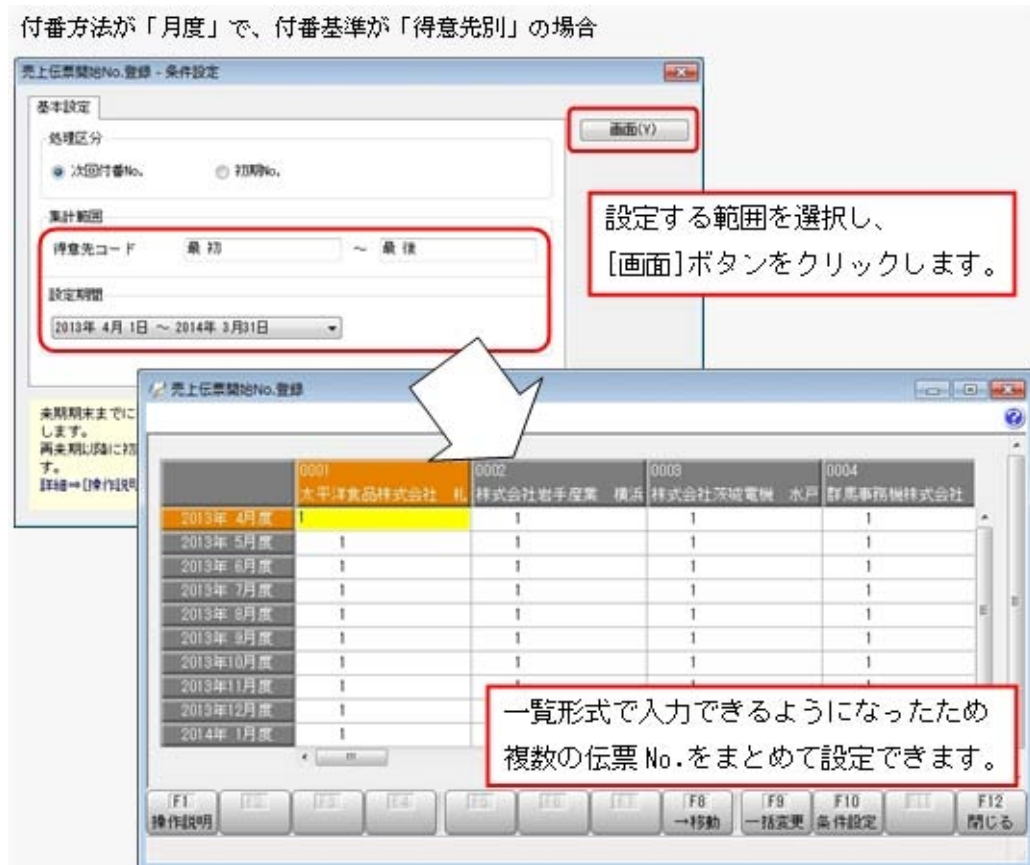
0100	0200	0300
得意先A	得意先B	得意先C
A-0001	B-0001	C-0001

年度更新後に付番する  
伝票No.を、登録します。

○伝票No.を一覧形式で入力できるようになります。

今までは、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの付番方法が「月度」で、付番基準が「得意先別」の場合など、複数の伝票No.を設定する場合は、1件ずつ条件を設定して個別に伝票No.を入力していました。

今回より、一覧形式で入力できるようになるため、複数の伝票No.をまとめて設定しやすくなります。



- **リレー時の付番設定の機能を追加**

リレー機能を使用して伝票を作成する際の伝票No.の付番方法を設定できるようになります。受注伝票から売上伝票にリレーする際に、受注伝票と売上伝票の伝票No.をあわせることができます。

また、リレー機能を使用しない場合の伝票No.の付番方法も設定できるため、リレー時だけではなく、すべての受注伝票と売上伝票の伝票No.をあわせることもできます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「リレー時の付番設定」で、伝票No.の付番方法を設定できます。

- **リレー時に消費税を再計算する機能を追加**

今までは、リレー機能を使用して伝票を登録する場合は、リレー元の伝票の消費税をそのままリレー先の伝票の消費税として表示していました。

今回より、リレー先の伝票日付にあわせた消費税に、自動的に再計算できるようになります。消費税を再計算させる設定は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「リレー時の消費税再計算設定」で伝票ごとに設定できます。

- **FAX送信機能が「キヤノン 株式会社」のFAXドライバに対応**

FAX送信機能が「キヤノン 株式会社」のFAXドライバに対応しました。

## 《随時処理》

### ● 仕訳伝票作成の機能を強化

- 『勘定奉行[建設業編]』との仕訳伝票データの連動に対応できるようになります。  
[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで作成した仕訳伝票を、『勘定奉行[建設業編]』で受け入れできるようになります。  
連動対象製品は、[仕訳連動初期設定]メニューの[基本設定]ページで設定します。
- 「F B入金作成伝票の仕訳伝票」の設定場所が変わります。  
今まで、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで設定していた「F B入金作成伝票の仕訳伝票」の設定が、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューで設定できるようになります。  
今までは、仕訳伝票を作成するたびにF B入金作成伝票の仕訳伝票を含むかどうかを選択する必要がありました。  
今回より、あらかじめ[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューで設定できるようになったため、仕訳伝票を作成するたびに選択する手間が省けます。
- [仕訳伝票作成]メニューの画面で、連動方法を選択しなくてよくなります。  
[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで、**実行**を押した後に表示される画面が変わります。  
今までは、[実行]を押した後に表示される画面で、連動方法（ファイル連動・直接連動）を選択して仕訳伝票を作成していました。  
今回より、仕訳伝票を作成するたびに連動方法を選択する手間がなくなり、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューで設定した連動方法で仕訳伝票を作成できるようになります。
- 『勘定奉行』で伝票No. を自動で付番する設定にしても、当システムで作成した仕訳伝票の伝票No. のまま受け入れできるようになります。  
今までは、『勘定奉行』で伝票No. を自動で付番する設定にしている場合に、当システムで作成した仕訳伝票の伝票No. は受け入れる際に再付番されるため、伝票を突き合わせにくくなっていました。  
今回より、『勘定奉行』に追加された付番伝票の設定で「勘定奉行内で登録する伝票」を選択することで、再付番されることなく、そのまま受け入れできるようになります。

## 《その他の変更情報》

### ● Windowsの[スタート] ボタンからの、ヘルプ等の起動方法を変更

今までは、[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[奉行シリーズ]から、ヘルプ等を起動していました。

#### ▼イメージ図





今回より、[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[奉行シリーズ]-[ツール]-[〇〇奉行 ツール]から、ヘルプ等を起動します。

#### ▼イメージ図



## 商奉行 i の機能アップ内容

### 《販売管理》



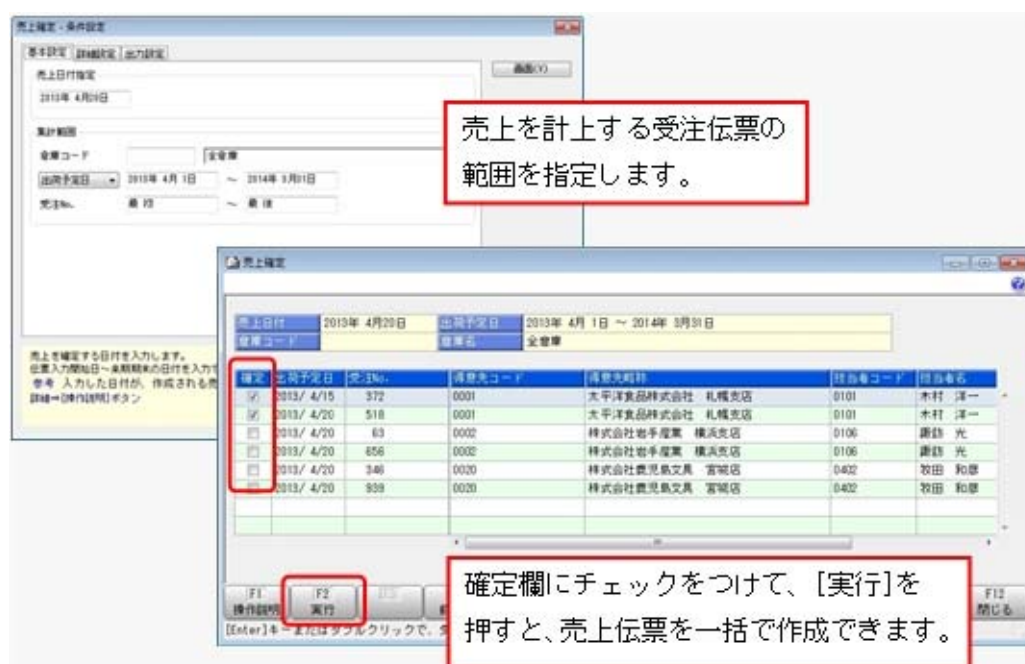
#### ● 受注伝票から売上伝票に一括でリレーできる機能を追加

受注伝票を売上伝票にリレーする場合、今までは、[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニューで1伝票ずつリレーしていました。

今回より、[販売管理]-[売上処理]-[売上確定]メニューで、リレーする受注伝票の範囲を指定して、一括で売上伝票にリレーできるようになります。

受注伝票を一度にまとめてリレーできるため、リレーする手間が省け、効率的に作業できます。

※作成される売上伝票は、すべて「全数出荷」になります。







## ● 仮受金・前受金の管理機能を追加

### ＜『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合＞

「仮受金」「前受金」の業務に対応できるようになります。

仮受金・前受金を登録することで、過入金や内金・手付金の受け取りなどを管理できるようになります。

また、仮受金・前受金からの回収予定の消し込みや、仕訳伝票の作成も行うことができます。

#### 仮受金：

内容が明らかでない入金（過入金など）を受け取った場合に、[販売管理]-[入金処理]-[入金伝票]メニューで伝票区分を「仮受金」として伝票を登録します。

その後、使用用途が判明したタイミングで、[販売管理]-[仮受金振替]-[仮受金振替]メニューで仮受金から前受金・売掛金（伝票区分が「前受金」「売掛金」の振替伝票）に振り替えます。

#### 前受金：

内金や手付金を受け取った場合に、[販売管理]-[入金処理]-[入金伝票]メニューで伝票区分を「前受金」として伝票を登録します。

その後、売上を計上するタイミングで、[販売管理]-[前受金振替]-[前受金振替]メニューで前受金から売掛金（伝票区分が「売掛金」の振替伝票）に振り替えます。

The screenshot displays two main windows: '[入金伝票]メニュー' (Deposit Slip Menu) and '[仮受金振替]メニュー' (Temporary Receivable Transfer Menu).

**[入金伝票]メニュー:** A form for registering a deposit slip. A red box highlights the '伝票区分' (Slip Type) dropdown menu, which is set to '仮受金' (Temporary Receivable). A text box above it states: '伝票区分で「仮受金」を選択し、仮受金の伝票を登録します。' (Select 'Temporary Receivable' in the slip type and register the temporary receivable slip).

**[仮受金振替]メニュー:** A window for transferring temporary receivables. It shows a table of transactions. A red box highlights the '振替区分' (Transfer Type) dropdown menu, which is set to '1 売掛金' (1 Accounts Receivable). A text box above it states: '仮受金の振替先（売掛金・前受金など）を選択します。' (Select the transfer destination (Accounts Receivable, Prepaid, etc.)).

At the bottom of the [仮受金振替] window, there are buttons for 'F1 操作説明' (Operation Manual) and 'F2 実行' (Execute). A red box highlights the 'F2 実行' button. A text box below it states: '[実行]を押すと、仮受金を売掛金に振り替えます。' (Pressing [Execute] transfers temporary receivables to accounts receivable). Below this, another text box states: '「売掛金」への振り替えの伝票を自動的に作成できます。' (You can automatically create the transfer slip to accounts receivable).

A large arrow labeled '振替処理' (Transfer Processing) points from the [入金伝票] window to the [仮受金振替] window.

### ＜ 新規メニュー ＞

- ・ [販売管理]-[仮受金振替]-[仮受金振替]メニュー
- ・ [販売管理]-[仮受金振替]-[仮受金受払帳]メニュー
- ・ [販売管理]-[前受金振替]-[前受金振替]メニュー
- ・ [販売管理]-[前受金振替]-[前受金残高一覧表]メニュー

● 銀行別入金明細表・銀行別入金集計表に出力条件を追加

「販売管理」-「入金処理」-「銀行別入金明細表」メニューと「販売管理」-「入金処理」-「銀行別入金集計表」メニューで、「銀行振込額」に「振込手数料」を含めて集計できるようになります。「条件設定」画面の「出力設定」ページの「銀行振込額に振込手数料も含める」で設定します。

銀行別入金明細表 - 条件設定

基本設定 詳細設定 付箋設定 出力設定

出力項目

選択項目

項目名

全選択(A)

選択(S)

全削除(L)

削除(D)

選択済項目

項目名
銀行振込額
振込手数料
摘要
預金種目
口座番号

上

下

左

右

☒ 銀行振込額に振込手数料も含める

画面(V)

印刷等(P)...

## 蔵奉行 i の機能アップ内容



● 発注伝票から仕入伝票に一括でリレーできる機能を追加

発注伝票を仕入伝票にリレーする場合、今までは、[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニューで1伝票ずつリレーしていました。

今回より、[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入確定]メニューで、リレーする発注伝票の範囲を指定して、一括で仕入伝票にリレーできるようになります。

発注伝票を一度にまとめてリレーできるため、リレーする手間が省け、効率的に作業できます  
※作成される仕入伝票は、すべて「全数入荷」になります。

仕入伝票 - 条件設定

基本設定 | 詳細設定 | 出力設定

仕入日付指定  
2013年 4月1日 ~ 2014年 3月31日

集計期間  
2013年 4月1日 ~ 2014年 3月31日

発注コード  
全倉庫

納品期日  
2013年 4月1日 ~ 2014年 3月31日

発注No.  
最初 ~ 最後

仕入日付 2013年 4月20日 納品期日 2013年 4月1日 ~ 2014年 3月31日

発注コード 発注名 全倉庫

確定	納品期日	発注No.	仕入先コード	仕入先名称	担当コード	担当者名
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/ 4/16	15	0104	川崎聯合株式会社 神奈川支店	0101	木村 洋一
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/ 4/19	18	0104	川崎聯合株式会社 神奈川支店	0101	木村 洋一
<input type="checkbox"/>	2013/ 4/20	22	0104	川崎聯合株式会社 神奈川支店	0101	木村 洋一
<input type="checkbox"/>	2013/ 4/20	14	0107	株式会社東産電機 静岡出張所	0200	河合 圭雄
<input type="checkbox"/>	2013/ 4/20	27	0110	株式会社田岡商事 仙台支店	0104	佐藤 俊介
<input type="checkbox"/>	2013/ 4/20	32	0110	株式会社田岡商事 仙台支店	0104	佐藤 俊介
<input type="checkbox"/>	2013/ 4/20	31	0112	八王子衣料株式会社 福井支店	0204	北野 紀男

F1 操作説明 F2 実行 F12 閉じる

[Enter]キーまたはダブルクリックで、



## ● 前払金の管理機能を追加

### ＜『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合＞

「前払金」の業務に対応できるようになります。

前払金を登録することで、内金や手付金の支払いなどを管理できるようになります。

また、前払金からの支払予定の消し込みや、仕訳伝票の作成も行うことができます。

#### 前払金：

内金や手付金を支払った場合に、[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニューで伝票区分を「前払金」として伝票を登録します。

その後、仕入を計上するタイミングで、[仕入管理]-[前払金振替]-[前払金振替]メニューで前払金から買掛金・未払金（伝票区分が「買掛金」や「未払金」の振替伝票）に振り替えます。

[支払伝票]メニュー

伝票区分で「前払金」を選択し、前払金の伝票を登録します。

前払金の振替先（買掛金・未払金など）を選択します。

振替処理

[前払金振替]メニュー

振替区分  
買掛金

[実行]を押すと、前払金を買掛金に振り替えます。  
「買掛金」への振り替えの伝票を自動的に作成できます。

振替	支払日付	支払先略称	支払金額	未振替額	振替区分	振替日付
<input checked="" type="checkbox"/>	2013年 4月30日	株式会社五反田産業 東京支店	2,000,000	2,000,000	買掛金	2012年 7月20日
<input type="checkbox"/>	2013年 4月30日	秋葉原情報通信株式会社	1,600,000	1,600,000		
<input type="checkbox"/>	2013年 4月30日	有限会社山崎商会	1,990,000	1,990,000		

#### ＜ 新規メニュー ＞

- ・ [仕入管理]-[前払金振替]-[前払金振替]メニュー
- ・ [仕入管理]-[前払金振替]-[前払金残高一覧表]メニュー

## オプションの機能アップ内容

### 《販売管理・仕入管理》



#### ● 受発注同時入力機能を追加

＜『受発注同時入力オプション』をお使いの場合＞

[販売管理]-[受注処理]-[受発注同時入力]メニューで、受注伝票と発注伝票を同時に作成できるようになります。仕入先から得意先に商品を直接発送する際など、受注時に即発注が必要な場合に、受注と発注を同時に計上することができます。また、[受発注同時入力]メニューでは、納品書の発行（印刷・FAX送信）や注文書の発行（印刷・FAX送信）も行えます。

※[受発注同時入力]メニューに対応する入力権限登録・伝票承認・データー括削除も、あわせて追加されています。

#### [受発注同時入力]メニュー

[受発注同時入力]メニューで、受注と発注の内容を入力します。

受発注同時を登録すると、受注伝票と発注伝票を同時に作成できます。

受注伝票

発注伝票





商奉行*i*  
販売管理システム


・ 蔵奉行*i*  
仕入・在庫管理システム

# 機能アップガイド

Ver.1.54



## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	<b>《マスター》</b>	
	マスターの検索機能を強化	3
	<b>《伝票》</b>	
	1 画面に表示する明細行を増やす機能を追加	4
	伝票のリスト印刷の機能を強化	5
	在庫割れチェックの機能を強化	7
	伝票No. の重複チェックの機能を強化	8
	伝票の検索機能を強化	8
	リレー元伝票の検索機能を強化	9
	伝票からジャンプできるマスターを追加	9
	<b>《伝票・販売管理》</b>	
	専用用紙の印刷に伝票間補正の機能を追加	10
	<b>《管理資料》</b>	
	一部の項目を常に表示させる機能を追加	11
	管理資料の画面上で、指定した階層だけを一覧で表示する機能を追加	12
	推移表の横計（各月の合計）を出力する機能を追加	13
	<b>《随時処理》</b>	
	仕訳伝票作成の機能を強化	13
	汎用データを受け入れる際に開始伝票No. を更新しない設定を追加 ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	14
	汎用データ受入時に、テキストファイル内の「改行コード」と「最終行」の判定の精度を向上 ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	15
	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《伝票》</b>	
	与信額チェックの機能を強化	15
	粗利益チェックの機能を追加	16
	伝票登録時の原価割れチェックの機能を追加	16
	<b>《販売管理》</b>	
	請求書の印刷機能を強化	16
	回収予定の機能を強化	17
	<b>《管理資料》</b>	
	売掛金残高一覧表から得意先元帳へのジャンプ機能を追加	18



<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
<b>《仕入管理》</b>	
支払明細書の印刷機能を強化	19
支払予定の機能を強化	19
<b>《管理資料》</b>	
買掛金残高一覧表や在庫一覧表から元帳へのジャンプ機能を追加	20
[在庫一覧表]メニューの集計条件を追加	21
[必要部品確認]メニューの出力機能を強化	21

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i ・ 蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### 《マスター》

#### ● マスターの検索機能を強化

日々のマスターの登録チェックを行う際に、「本日」入力した分だけを検索しやすくなります。

[条件設定]画面の[利用情報]ページで、「本日分」にチェックを付けることで、本日登録したデータだけを検索できます。

#### 《 関連メニュー 》


- ・ [導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[商品登録]-[商品一括登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[商品登録]-[セット商品登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[得意先登録]-[得意先一括登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先一括登録]メニュー
- ・ [在庫管理]-[構成品処理]-[構成品登録]メニュー



● 1画面に表示する明細行を増やす機能を追加

画面上に表示される明細の間隔を「標準」「小」「最小」から調整することができます。

1明細の間隔を小さくすることで、1画面に多くの明細が表示されます。

画面右上のをクリックします。

明細行2行

4075 標準  
小  
最小

「最小」を選択すると、表示される明細行が増えます。

明細行4行

※お客様の環境によって、表示される明細数は異なります。



チェックが付いている場合：

1 ページ目に 1 つ目の伝票が印刷され、2 ページ目に 2 つ目の伝票が印刷されます。

売 上 伝 票

○ＢＣ商事株式会社

PAGE: 1

売上日付	2011年 4月 3日	請求日付	2011年 4月 3日	伝票No.	561	支払No.		【振込上】			
得意先	0001	【請求書単位 20日締め】									
	太平洋食品株式会社 札幌支店										
得意先担当者	大木 誠										
部門	0001	第一営業部									
担当者	0101	木村 洋一									
プロジェクト	0002	実証入力分									
摘要											
売上区分	商品コード 商品名	商品名2 数量	注力No.	入数 入数2	箱数 数量	単位	商品名3 単位原価 単価	原価 金額	税処理 消費税	備考	
① 売上	S-10011 海苔ふりかけ	0102		20	20	個	148 225	29,200 99,000	課税売上 税額 5.000%		
② 売上	S-10012 練子ふりかけ	0102		20	20	個	148 225	29,200 99,000	課税売上 税額 5.000%		
③ 売上	S-10013 練子ふりかけ	0102		20	20	個	148 225	29,200 99,000	課税売上 税額 5.000%		
税引金額	315,000	消費税合計		0	内税	0	外税	0			
税引対象額	315,000	税引率		34.32%	内税	0	外税	0			
<<確認>>【登録:2011/04/01 10:16:00】											
NDate											

売 上 伝 票

○ＢＣ商事株式会社

PAGE: 2

売上日付	2011年 4月 3日	請求日付	2011年 4月 3日	伝票No.	562	支払No.		【振込上】				
得意先	0001	【請求書単位 20日締め】										
	太平洋食品株式会社 札幌支店											
得意先担当者	大木 誠											
部門	0001	第一営業部										
担当者	0101	木村 洋一										
プロジェクト	0002	実証入力分										
摘要												
売上区分	商品コード 商品名	商品名2 数量	注力No.	入数 入数2	箱数 数量	単位	商品名3 単位原価 単価	原価 金額	税処理 消費税	備考		
① 売上	S-10033 伊勢金角糖茶	0102		2	20	個	215 220	21,500 22,000	課税売上 税額 2.000%			
② 売上	S-10034 社仲茶	0102		2	20	個	215 220	21,500 22,000	課税売上 税額 2.000%			
③ 売上	S-10035 プアル茶	0102		2	20	個	215 220	21,500 22,000	課税売上 税額 2.000%			
④ 権利	0000001 権利金									課税売上上の収益等 税額 5.000%		
税引金額	250,000	消費税合計		0	内税	0	外税	0				
税引対象額	250,000	税引率		27.80%	内税	0	外税	0				
<<確認>>【登録:2011/04/29 12:18:28】												
SakDate												

○応用用紙 1 ページに印刷できる伝票数を増やせるようになります。

伝票の印刷時に、[リスト印刷条件設定]画面で以下の内容を設定することで、1 ページに印刷できる伝票数を増すことができます。お客様の見やすさに合わせて調整してください。

- ・ [印刷設定] ページの「フォントサイズを指定する」にチェックを付けて、フォントサイズを小さくする
- ・ [印刷設定] ページの「間隔を補正する」にチェックを付けて、行間補正にマイナスの値を入れる
- ・ [項目設定] ページの印字項目で、印刷に必要ない項目のチェックを外す



#### ● 在庫割れチェックの機能を強化

○伝票入力時に、商品の数量がある一定の在庫数（警告在庫数）を下回る場合に、警告メッセージを表示できるようになります。

商品が在庫割れになる前に警告メッセージを出すことができるため、在庫割れを未然に防ぐことができます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「在庫割れ警告ライン」で、警告在庫数の掛率を設定できます。

#### ◀ 関連メニュー ▶

- ・ [販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[生産伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[構成品処理]-[分解処理]-[分解伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー

※対応する汎用データ受入メニューにも同じ機能が追加されています。

○明細の入力中にも在庫割れチェックを行えるようになります。

商品の倉庫や数量などを変更したタイミングで、在庫割れチェックを行えます。

各伝票の[設定]画面の「入力時在庫割れチェック」で設定できます。

#### ◀ 関連メニュー ▶

- ・ [販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[構成品処理]-[分解処理]-[分解伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫間振替伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー

○同時処理（同時発注処理・同時仕入処理・同時生産処理）を行う明細を在庫割れチェックの対象にするかを選択できるようになります。

自社では在庫を持たずに、受注（売上）した時点で発注（仕入・生産）する商品などを、在庫割れチェックの対象外に設定することができます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「在庫割れチェック設定」で設定します。

#### ◀ 関連メニュー ▶

- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約売上データ作成]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）

#### ● 伝票No. の重複チェックの機能を強化

今までは、伝票No. の重複チェックを行う場合は、伝票No. が重複する伝票は登録できませんでした。

今回より、伝票No. が重複する場合でも、伝票を登録するかを選択できるようになります。

伝票No. が重複した場合でも、伝票を一度登録し、後から伝票No. を修正することができます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「重複チェック設定」で、伝票No. が重複した場合の対処方法で設定できます。

※伝票は登録できますが、そのままでは伝票No. が重複してしまいます。そのため、登録後に伝票No. を調整することをおすすめします。

#### ● 伝票の検索機能を強化

○日々の伝票の入力チェックを行う際に、「本日」入力した分だけを検索しやすくなります。

[条件設定]画面の[利用情報]ページで、「本日分」にチェックを付けることで、本日登録したデータだけを検索できます。

※各伝票に対応する伝票承認・汎用データ作成・データー一括削除メニューにも同じ機能が追加されています。

○伝票の検索条件をパターンとして保存できるようになります。

伝票の検索条件をパターンとして保存することで、次回以降の伝票検索をよりスムーズに行うことができます。

[検索条件設定]画面で [パターン登録] ボタンをクリックすると、検索条件をパターンとして保存します。



## ● リレー元伝票の検索機能を強化

リレー元の伝票を検索する際に、検索条件として明細の項目（「商品コード」や「商品名」など）を指定した場合に、条件にあう明細がリレーしていない伝票だけを検索結果として表示するようになります。

### ▼例

すでに1明細目だけが売上伝票に全数出荷されている受注伝票の場合

#### 受注伝票

- 1明細目：商品 A    3 個    （売上伝票に全数出荷済み）
- 2明細目：商品 B    2 個

売上伝票から受注伝票を検索すると、

検索条件に「商品 A」を指定した場合は、上記の受注伝票は検索結果に表示されません。

検索条件に「商品 B」を指定した場合は、上記の受注伝票が検索結果に表示されます。

### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[仮入荷処理]-[仮入荷伝票]メニュー

## ● 伝票からジャンプできるマスターを追加

伝票画面からプロジェクト登録画面にジャンプできるようになります。

あらかじめプロジェクトを登録しておかなくても、伝票を入力中に「プロジェクト登録」を押すことで、プロジェクトを追加・修正・削除できます。

### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[入荷処理]-[入荷伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[仮入荷処理]-[仮入荷伝票]メニュー

● 専用用紙の印刷に伝票間補正の機能を追加

納品書・請求書・仕訳伝票の専用用紙（単票形式）の印刷時に、伝票の印字間隔を調整できるようにします。

専用用紙（単票形式）を印刷する場合に、プリンタの機種によっては、2枚目以降の印字位置があわないことがあります。

この場合、[印刷条件設定]画面の[プリンタ設定]ページの[補正值]ボタンを押して表示される[補正值]画面で、伝票間の補正值を設定することによって、印字ずれを簡単に調整できます。

以下の専用用紙（単票形式）で設定できます。

**納品書：**

- ・ [4110] 単票納品書 7 行
- ・ [4111] 単票納品書 4 行
- ・ [4137] 単票納品書 5 行
- ・ [4211] 単票納品書 4 行

**請求書：**

- ・ [4128] 単票合計請求書

**仕訳伝票：**

- ・ [3381] 単票仕訳伝票（OBCコクヨ式）
- ・ [3382] 単票仕訳伝票（OBC 7 行）

## 《管理資料》

### ● 一部の項目を常に表示させる機能を追加

マスターの登録や管理資料を確認する際に、「固定位置」を設定できるようになります。

「固定位置」を設定すると、画面をスクロールした際に、一部の項目をスクロールせずに、常に表示しておくことができます。

また、印刷する際にも一部の項目をすべてのページに印字できます。

各メニューの[項目選択]ページの[選択済項目]リストで、固定したい項目を「--固定位置--」より上に配置します。

商品一括登録 - 条件設定

基本設定 出力設定 利用情報

出力項目

項目種類  
全項目

選択項目

項目名  
印刷商品コード  
共用区分  
個別管理  
在庫管理  
引当管理  
税区分 (販売)  
税区分 (販売)  
税区分 (仕入)  
税区分 (仕入)  
個別対応  
商品区分 1

全選択(A)  
選択(S)  
全削除(L)  
削除(D)

選択済項目

項目名  
--固定位置--  
利用状態  
有効期間 (開始)  
有効期間 (終了)  
台帳インデックス  
明細区分  
商品名 2  
商品名 3  
商品コード 2  
商品コード 3

画面(V)  
印刷(P)...  
初期値登録(F)

「--固定位置--」より上に「商品名」を配置します。

商品一括登録

表示件数 81

商品コード	商品名	利用状態	有効期間 (開始)	有効期間 (終了)	台帳インデックス
C-00001	プリントTシャツ (コットン素材)	有効	年 月 日	年 月 日	プリント
C-00002	アンダーシャツ (綿素材)	有効	年 月 日	2012年 3月10日	アンダーシャツ
C-00003	インポートTシャツ (コットン素材)	有効	年 月 日	2012年 3月10日	インポートシャツ
C-00010	プリントTシャツ限定デザイン	有効	年 月 日	2012年 3月10日	プリントシャツ
F-00001	花10000円SET	有効	年 月 日	年 月 日	花10000セット
F-00002	観葉植物	有効	年 月 日	2012年 3月31日	観葉植物
H-10001	化粧箱	有効	年 月 日	年 月 日	化粧箱
H-10002	化粧箱	有効	年 月 日	年 月 日	化粧箱
J-10001	クリアファイルK-77	有効	年 月 日	年 月 日	クリアファイル
J-10002	フロッピーディスクケースH-3.5	有効	年 月 日	年 月 日	フロッピーディスク
J-10003	ワープロ用熱転写紙P-123	有効	年 月 日	年 月 日	ワープロ用紙
J-10004	バインダーB-125	有効	年 月 日	年 月 日	バインダー
J-10005	コンピュータ用紙STN-151NT	有効	年 月 日	年 月 日	コンピュータ用紙
J-10006	付箋シール2色HS-002	有効	年 月 日	年 月 日	付箋シール
J-10007	メモ用紙MB-120	有効	年 月 日	2012年 3月31日	メモ用紙
J-10008	三角スケール50-SRM	有効	年 月 日	2012年 3月31日	三角スケール
J-10009	コンパス162KMS	有効	年 月 日	2012年 3月31日	コンパス
K-10001	全自動洗濯機	有効	年 月 日	年 月 日	洗濯機

F1 操作説明 F2 印刷 F3 固定位置前 F4 固定位置次 F5 前画面 F6 次画面

画面を左右にスクロールしても、「商品名」は常に表示されます。

● **管理資料の画面上で、指定した階層だけを一覧で表示する機能を追加**

管理資料を画面表示した場合に、指定した階層だけを一覧で表示できるようになりました。

指定した階層が一覧で表示されるため、同じ階層のデータを確認する際や、さらにその下の階層を順番に確認する際に便利です。

▼ 例（部門別担当者別得意先別に表示している例）

部門（第1階層）で「同階層を縮小」を選択すると、部門（第1階層）だけを一覧で表示します。

部門の確認や、部門より下の階層（担当者および得意先）を簡単に確認できます。

部門の行で「同階層を縮小」を選択します。

部門だけを一覧で表示します。

コード	名称	総売上高	税別純売上高	売上原価
【合計】		53,574,950	52,389,895	43,121,350
0001	第一営業部	7,579,500	7,455,300	5,997,720
0002	第二営業部	6,605,200	6,535,600	5,605,560
0011	札幌支店	5,625,600	5,625,600	4,431,400
0021	仙台支店			
0031	北関東支店			
0032	横浜支店	4,514,000	4,454,000	3,642,750
0033	千葉支店	884,000	884,000	577,400
0041	名古屋支店	1,340,000	1,275,000	1,015,000
0042	静岡支店	1,250,000	1,200,000	1,040,000

### ● 推移表の横計（各月の合計）を出力する機能を追加

月次の推移とあわせて横計（各月の合計）を確認できるようになります。

得意先ごとの1年間の売上高について、月次の推移を確認するとともに1年間の合計を確認することができます。

[条件設定]画面の[出力設定]ページで「期間合計を出力する」にチェックを付けます。

### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注推移表]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注残推移表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上推移表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注推移表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注残推移表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入推移表]メニュー

### 《 随時処理 》

### ● 仕訳伝票作成の機能を強化

○作成する仕訳伝票の税区分を設定できるようになります。

今までは、伝票の申告書計算区分によって、税区分の仕訳コードが自動的に設定されていました。

今回より、税区分の仕訳コードを任意に設定できるようになります。

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューで、「税額通知／課税区分ごと」「商品ごと」「申告書計算区分ごと」に税区分を設定できます。

※税区分の設定を利用するには、連動先の会計システムのバージョンがVer. 1.60以降である必要があります。

○すべてのB／S科目（売掛金や買掛金などの資産・負債・資本の勘定科目）に対して部門・取引先を個別に指定できるようになります。

今までは、以下の場合に貸方・借方で別々の部門・取引先を設定できました。

- ・ 売上伝票の伝票区分が「現金売上」の場合
- ・ 仕入伝票の伝票区分が「現金仕入」「現金買入」の場合

今回より、すべての伝票区分のB／S科目に対して、貸方・借方で別々の部門・取引先を設定できるようになります。

○作成する仕訳伝票の摘要に、伝票上の商品名を設定できるようになります。

売上伝票と仕入伝票の明細ごとに仕訳伝票を作成する場合に、仕訳伝票の摘要に伝票上の商品名を設定できます。

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューの[伝票設定（販売）]ページ・[伝票設定（仕入）]ページの「摘要の内容」で設定できます。

○[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューの「請求先／支払先」で、画面や印刷に出力する請求先・支払先の条件を設定できるようになります。

今までは、仕訳コードを設定済みの請求先・支払先だけを出力していました。

今回より、仕訳コードが未設定の請求先・支払先を出力できるようになります。

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューの[設定]画面で、出力する請求先・支払先の条件を設定できます。

○取引先の仕訳コードの設定方法を選択できるようになります。

今までは、仕訳伝票に取引先のデータを含める場合は、必ず、取引先に対して請求先／支払先コードを紐付けていました。

今回より、取引先の仕訳コードが未設定の場合は、自動的に伝票上の請求先／支払先コードで、仕訳が作成されるようになります。

そのため、会計システム上の取引先コードと当システム上の請求先／支払先コードが同じ場合は、コードを紐付ける必要がなくなります。

[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューの「未設定の仕訳コード」で、仕訳コードの設定方法を選択できます。

※あわせて、部門・プロジェクトの仕訳コードの設定方法も選択できるようになります。

○仕訳伝票の作成方法を設定するメニューが集約されます。

今まで[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューで設定していた、仕訳伝票の作成方法（仕訳伝票の作成単位や消費税の自動計算など）を、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューで設定するように集約されます。

○[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューの項目名や項目の配置が変わります。

今まで以上にお客様が設定しやすいように、項目名の表現や項目の配置を変更しています。

[仕訳連動初期設定]メニューの各ページでは、以下の内容を設定できるようになります。

[基本設定]ページ	連動対象製品や連動先のデータ領域の設定
[マスター設定]ページ	会計システムの各マスターとの連動設定
[伝票設定（販売）]ページ	売上伝票・入金伝票の仕訳作成方法 ・ 仕訳伝票を作成する単位 ・ 仕訳伝票の伝票No. ・ 消費税の計上方法
[伝票設定（仕入）]ページ	仕入伝票・支払伝票の仕訳作成方法 ・ 仕訳伝票を作成する単位 ・ 仕訳伝票の伝票No. ・ 消費税の計上方法
[運用設定]ページ	仕訳伝票作成済みの売上伝票・入金伝票・仕入伝票・支払伝票における、修正・削除の制御

#### ● 汎用データを受け入れる際に開始伝票No. を更新しない設定を追加

##### <『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合>

汎用データを受け入れる際に、受入データの伝票No. で、[導入処理]-[伝票開始No. 登録]メニューの伝票開始No. を更新するかを選択できるようになります。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「伝票開始No. 更新」で設定します。

※受入データの伝票No. が、伝票開始No. よりも大きい場合に伝票開始No. が更新されません。



- 汎用データ受入時に、テキストファイル内の「改行コード」と「最終行」の判定の精度を向上

＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞

汎用データのテキストファイルを受け入れる際に、1行データの区切りである「改行コード」について、今までは「CR+LF」だけを「改行」と認識していましたが、「CR」または「LF」だけの場合でも改行と認識するようになりました。

また、テキストファイルの最終行が「Tab」または「スペース」だけの場合に、今まではデータ行と認識して未受入データにしていたが、データ行とは認識せずに未受入データに含めないようになりました。

## 商奉行 i の機能アップ内容

### 《伝票》



#### ● 与信額チェックの機能を強化

○与信額チェックに、「手形残高」と「受注残高」を考慮できるようになります。

今までは、売掛金残高が[導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニューの[請求]ページの与信額を超える場合に、与信額チェックを行っていました。

今回より、売掛金残高に「手形残高」や「受注残高」を含めて与信額チェックを行えるようになります。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「与信額チェック設定」で設定できます。

○売掛金残高がある一定の金額（与信警告額）を超える場合に、警告メッセージを表示できるようになります。

与信額を超えてしまう前に警告メッセージを出すことができるため、過剰な売上を未然に防ぐことができます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「与信額警告ライン」で、与信警告額の掛率を設定できます。

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上传票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約売上データ作成]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）

※対応する伝票承認・汎用データ受入メニューにも同じ機能が追加されています。

○[販売管理]-[売上債権残高一覧表]メニューで、出力項目に「受注残高」「与信警告額」「与信額使用率」を選択できるようになります。





### ● 粗利益チェックの機能を追加

伝票の登録時に、伝票全体の粗利益率が、ある一定の粗利益率を下回る伝票をチェックできるようにします。

粗利益チェックを行うことで、過度に値引きしすぎた売上伝票や受注伝票を登録できないように制限することができます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「粗利益チェック設定」で設定できます。

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約売上データ作成]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）

※対応する伝票承認・汎用データ受入メニューにも同じ機能が追加されています。

### ● 伝票登録時の原価割れチェックの機能を追加

今までは、原価割れチェックを明細の入力中にだけ行っていました。

今回より、伝票を登録する際にも原価割れチェックを行えるようになります。

明細の入力中と伝票を登録する際の二重にチェックを行えます。

原価割れチェックは、それぞれ以下の箇所で設定します。

**伝票を登録する際のチェック：**

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「原価割れチェック設定」

**明細の入力中のチェック：**

各伝票の[設定]画面の「入力時原価割れチェック」

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約売上データ作成]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）

※対応する汎用データ受入メニューにも同じ機能が追加されています。

## 《販売管理》

### ● 請求書の印刷機能を強化

○合計請求書を内訳（得意先・プロジェクト）ごとに印刷できるようになります。

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニュー・[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューの[内訳出力方法]画面で設定できます。

また、印刷機能の強化に伴い、内訳ごとの出力の設定が、すべて[内訳出力方法]画面にまとまります。

○内訳ごとの伝票枚数を印字できるようになります。

合計請求書を内訳ごとに印字する場合は、内訳ごとの伝票枚数が印字されます。

明細請求書・伝票請求書の場合は、オリジナルフォームを使用することで、内訳ごとの伝票枚数を印字できます。

#### ● 回収予定の機能を強化

[販売管理]-[債権回収処理]-[回収予定表]メニューで、対象金額を「差引回収予定額」に設定して集計する場合に、当月に売上がない請求先について、過去の未入金分を当月分の回収予定として簡単に確認できるようになります。

今までは、当月分の回収予定を確認したい場合は、[販売管理]-[債権回収処理]-[回収予定変更]メニューで、過去の回収予定を当月分の回収予定に変更していました。

今回より、請求書発行の際に、[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューの[条件設定]画面の[詳細設定]ページで、「回収予定額が0の回収予定も確定する」にチェックを付けるだけで、当月分の回収予定として確認できるようになります。

#### ▼例

以下の当月（4月）に売上がない請求先について請求書発行を行う場合

請求先情報：

- ・ 月末締め・翌月20日回収の請求先
- ・ 4月分の回収予定（50,000円）が未入金
- ・ 4月の売上金額 0円・入金金額 0円
- ・ 過去の回収予定

回収予定日	回収予定額	入金金額
3月20日	40,000円	40,000円
4月20日	50,000円	0円

今までは、当月（4月分）の売上に対して請求書発行を行うと、回収予定表（対象金額が「差引回収予定額」）では、以下のように表示されていました。

回収予定表：

回収予定日	回収予定額	入金金額
4月20日	50,000円	0円

今回より、「回収予定額が0の回収予定も確定する」にチェックを付けて請求書発行を行うことで、回収予定表に5月の回収予定（5/20）として4月分の未入金分を表示できます。

回収予定表：

回収予定日	回収予定額	入金金額
5月20日	50,000円	0円

## 《管理資料》

### ● 売掛金残高一覧表から得意先元帳へのジャンプ機能を追加

今までは、[販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニューの確認中に、請求先の詳細を確認したい場合は、メインメニューから[販売管理]-[得意先元帳]メニューを開き、再度集計を行っていました。

今回より、売掛金残高一覧表から指定した請求先の得意先元帳を呼び出せるようになりました（元帳へのジャンプ）。

得意先元帳からは売上伝票や入金伝票にもジャンプすることができますので、売掛金残高一覧表から伝票画面まで金額を追跡できます。

**[売掛金残高一覧表]メニュー**

**[ジャンプ]**を押すと請求先の得意先元帳が開きます。

**[売上伝票]メニュー**

**[得意先元帳]メニュー**

さらに **[ジャンプ]**を押すと、伝票の詳細を確認できます。

### 《関連メニュー》

- ・ [販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売掛金残高順位表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上債権残高一覧表]メニュー

《仕入管理》

● 支払明細書の印刷機能を強化

○合計支払明細書を内訳（仕入先・プロジェクト）ごとに印刷できるようになります。  
 [仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニュー・[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューの[内訳出力方法]画面で設定できます。  
 また、印刷機能の強化に伴い、内訳ごとの出力の設定が、すべて[内訳出力方法]画面にまとまります。

○合計支払明細書で、内訳ごとの伝票枚数を印字できるようになります。  
 合計支払明細書を内訳ごとに印字する場合は、内訳ごとの伝票枚数が印字されます。

● 支払予定の機能を強化

[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払予定表]メニューで、対象金額を「差引支払予定額」に設定して集計する場合に、当月に仕入がない支払先について、過去の未支払分を当月分の支払予定として簡単に確認できるようになります。  
 今までは、当月分の支払予定を確認したい場合は、[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払予定変更]メニューで、過去の支払予定を当月分の支払予定に変更していました。  
 今回より、支払明細書発行の際に、[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューの[条件設定]画面の[詳細設定]ページで、「支払予定額が0の支払予定も確定する」にチェックを付けるだけで、当月分の支払予定として確認できるようになります。

▼例

以下の当月（4月）に仕入がない支払先について支払明細書発行を行う場合

支払先情報：

- ・月末締め・翌月20日支払の支払先
- ・4月分の支払予定（50,000円）が未支払
- ・4月の仕入金額 0円・支払金額 0円
- ・過去の支払予定

支払予定日	支払予定額	支払金額
3月20日	40,000円	40,000円
4月20日	50,000円	0円

今までは、当月（4月分）の仕入に対して支払明細書発行を行うと、支払予定表（対象金額が「差引支払予定額」）では、以下のように表示されていました。

支払予定表：

支払予定日	支払予定額	支払金額
4月20日	50,000円	0円

今回より、「支払予定額が0の支払予定も確定する」にチェックを付けて支払明細書発行を行うことで、支払予定表に5月の支払予定（5/20）として4月分の未支払分を表示できます。

支払予定表：

支払予定日	支払予定額	支払金額
5月20日	50,000円	0円

## 《管理資料》

### ● 買掛金残高一覧表や在庫一覧表から元帳へのジャンプ機能を追加

今までは、[仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニューの確認中に、支払先の詳細を確認したい場合は、メインメニューから[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューを開き、再度集計を行っていました。

今回より、買掛金残高一覧表から指定した支払先の仕入先元帳を呼び出せるようになりました（元帳へのジャンプ）。

仕入先元帳からは仕入伝票や支払伝票にもジャンプすることができますので、買掛金残高一覧表から伝票画面まで金額を追跡できます。

**[買掛金残高一覧表]メニュー**

**[仕入伝票]メニュー**

**[仕入先元帳]メニュー**

### 《 関連メニュー 》

- ・ [仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニュー：  
[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューへジャンプできます。
- ・ [仕入管理]-[買掛金残高順位表]メニュー：  
[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューへジャンプできます。
- ・ [仕入管理]-[仕入債務残高一覧表]メニュー：  
[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューへジャンプできます。
- ・ [在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニュー：  
[在庫管理]-[在庫照会]-[商品受払帳]メニューへジャンプできます。



● **[在庫一覧表]メニューの集計条件を追加**

- [在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニューの集計対象に「合計残数のあるもの」が追加されます。  
受注残数や発注残数を考慮した、将来的に在庫が残っている商品だけを集計できるようになります。

$$\text{合計残数} = \text{現品残数} + \text{仮入荷残数} + \text{発注残数} - \text{受注残数}$$

- 期間内に入出りがあった商品を集計する際に、倉庫間だけの移動があった商品も集計できるようになります。

[在庫管理]-[在庫照会]-[在庫一覧表]メニューの[条件設定]画面の[詳細設定]ページで、集計対象の「対象期間に入出荷明細のあるもの」に、「倉庫間振替伝票のあるものも集計する」を選択できるようになります。

● **[必要部品確認]メニューの出力機能を強化**

- [在庫管理]-[構成部品処理]-[必要部品確認]メニューで、どの倉庫に在庫があるかを確認できるようになります。

今までは、必要部品を倉庫別に確認する場合は、必ず構成品の主倉庫で確認していました。

今回より、確認する構成品の倉庫を、構成品の主倉庫以外でも確認できるようになります。

[在庫管理]-[構成部品処理]-[必要部品確認]メニューで、「必要部品確認 - 条件設定」画面の[基本設定]ページの構成部品倉庫表示方法で「指定した倉庫を表示する」を選択することで、指定した倉庫を確認することができます。

- 部品の倉庫を変更できるようになります。

今までは、必要部品を倉庫別に確認する場合は、部品の倉庫は変更できませんでした。

今回より、部品の各行で **倉庫変更** を押すことで、各倉庫の在庫数を確認しながら部品の倉庫を変更できるようになります。

複数の倉庫にある部品の在庫数量や不足数量などを簡単に確認できます。

- 画面上で部品の並び順を切り替えられるようになります。

部品の項目名をクリックすることで、その項目を基準として部品の並び順を昇順（△）・降順（▽）に並び替えられます。

部品		昇順		降順	
部品コード ▲	部品名	部品コード ▼	部品名	部品コード ▼	部品名
J-10001	クリアファイルK-77	J-10005	コンピュータ用紙STN-151NT	J-10005	コンピュータ用紙STN-151NT
J-10003	ワープロ用紙WRP-123	J-10004	バインダーB-125	J-10004	バインダーB-125
J-10004	バインダーB-125	J-10003	ワープロ用紙WRP-123	J-10003	ワープロ用紙WRP-123
J-10005	コンピュータ用紙STN-151NT	J-10001	クリアファイルK-77	J-10001	クリアファイルK-77

- 部品の出力項目に「台帳インデックス」が追加されます。

商奉行*i*  
販売管理システム


・ 蔵奉行*i*  
仕入・在庫管理システム



# 機能アップガイド




Ver.1.53





※マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	<b>《伝票》</b>	
	伝票No. だけを指定して、登録済みの伝票を検索する機能を追加	4
	F4[前伝票]・F5[次伝票]で表示する伝票の並び順を設定する機能を追加	5
	伝票リストの印刷条件を追加	5
	[在庫確認]画面に「合計残数」項目を追加	5
	伝票を検索する際の絞込項目を追加	5
	<b>《管理資料》</b>	
	グラフの下に帳票を合わせて印刷する機能を追加	6
	管理資料の印刷でページ計を出力する機能を追加	7
	元帳の応用用紙について、余白にも罫線を印刷する機能を追加	7
	明細表の摘要欄にスポット得意先名・スポット仕入先名を出力する機能を追加	8
	<b>《データ領域管理》</b>	
	[データ領域初期化]メニューを追加	8
	<b>《導入処理》</b>	
	[帳票別プリンタ登録]メニューに、帳票のパターンごとにプリンタ設定を登録できる機能を追加	8
	<b>《随時処理》</b>	
	[汎用データ受入]メニューの[受入結果確認]画面に受け入れたファイル行数を表示 ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	8
	[汎用データ受入]メニューで、奉行21シリーズ用の汎用データ受入形式の対応メニューを追加 ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	9
	[内訳書データ作成]メニューを追加	9
	[宛名ラベル作成]・[送り状印刷]メニューの出力項目を追加	9
	<b>《オリジナルフォーム》</b> ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	
	見積書・納品書・請求書・注文書に、敬称の印字位置を印字内容によって切り替える機能を追加	10
	見積書・納品書・注文書に、合計・小計・累計の印字項目を追加	10
	見積書・納品書・注文書に、印刷するページを設定できる印字項目を追加	11
	見積書・注文書に、金額合計内訳領域に配置した項目を印字する条件を追加	11
	送り状に「摘要」「商品名」「備考」の印字項目を追加	12
	<b>《その他》</b>	
	「マイページ」のサポートサービス情報などを、「奉行 i メニュー」に一元化	12
	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《マスター・伝票》</b>	
	税込区分にかかわらず、単位原価を税抜金額で入力する機能を追加	12

	<b>《伝票》</b>	
	伝票上で伝票全体の粗利益率を確認できる機能を追加	13
	リレー時の単位原価を選択する機能を追加	13
	<b>《販売管理》</b>	
	[見積書]メニューで、外税消費税が「0円」の場合の見積書フォームの印字内容を変更	13
	[受注残明細表]・[受注残集計表]・[受注残推移表]メニューの出力項目を追加	14
	[契約売上データ作成]メニューで、作成する伝票の確認機能を追加 ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	14
	請求書に「正・控（交互）」の印刷機能を追加	14
	[請求書発行]メニューで、指定した請求先の順序で請求書を発行する機能を追加	14
	[請求書発行]メニューで、請求書の「調整額」に振込手数料を含めて集計する機能を追加	14
	[請求一覧表]メニューで、請求履歴の並び順を指定する機能を強化	15
	[入金伝票]メニューで、仕訳伝票にドットプリンタ用の専用用紙を追加	15
	[売掛金残高一覧表]メニューの出力項目を追加	15
	[売上債権残高一覧表]メニューを追加	15
	<b>《オリジナルフォーム》</b> ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞	
	納品書の印字項目「伝票区分」「請求日付」「請求先コード」に印字条件を追加	15
	納品書に、直送先を印字する場合も「請求日付」「請求先コード」を印字できる機能を追加	16
	納品書に「受注日付」「納品期日」の印字項目を追加	16
	請求書で、1枚の用紙に印刷できる面数を変更	16
	1請求先に対して2枚以上の請求書が印字される場合の印刷順序設定を追加	16
	請求書に「プロジェクトコード」「プロジェクト名」の印字項目を追加	17
	<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	<b>《伝票》</b>	
	リスト同時印刷機能を追加	17
	<b>《同時処理》</b>	
	作成する伝票の確認機能を追加	17
	作成する伝票の摘要欄に作成元の摘要を複写する機能を追加	18
	作成元の単位原価が「0円」の場合の金額複写機能を追加	18
	[同時発注処理]メニューで、作成する発注伝票の作成条件を追加	18
	<b>《仕入管理》</b>	
	[発注伝票]メニューで、外税消費税が「0円」の場合の注文書フォームの印字内容を変更	18
	[発注残明細表]・[発注残集計表]・[発注残推移表]メニューの出力項目を追加	19
	支払明細書に「正・控（交互）」の印刷機能を追加	19
	[支払明細書発行]メニューで、指定した支払先の順序で支払明細書を発行する機能を追加	19
	[支払一覧表]メニューで、支払履歴の並び順を指定する機能を強化	19
	[支払伝票]メニューで、仕訳伝票にドットプリンタ用の専用用紙を追加	19
	[買掛金残高一覧表]メニューの出力項目を追加	19
	[仕入債務残高一覧表]メニューを追加	20

《在庫管理》	
[生産伝票]・[分解伝票]メニューで、部品の倉庫欄に初期表示させる倉庫を設定する機能を追加	20
[滞留在庫一覧表]メニューで、入荷したばかりでまだ出荷していない商品を滞留在庫として集計しない設定を追加	20
[倉庫間振替伝票]メニューで、現在の在庫数量を確認する機能を追加	20

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行：蔵奉行：共通の機能アップ内容

### 《伝票》



#### ● 伝票No. だけを指定して、登録済みの伝票を検索する機能を追加

登録済みの伝票を検索する際に、伝票No. だけを指定して検索できるようになります。

伝票画面で **No. 検索** を押すと、[伝票No. 検索]画面が表示されます。

検索したい伝票の伝票No. を入力し、[OK] ボタンをクリックすると、該当の伝票が表示されます。

※指定した伝票No. の伝票が複数登録されている場合は、[伝票検索一括表示]画面で表示する伝票を選択します。

※検索したい伝票の伝票No. が明確な場合は、従来の検索機能よりも簡単に検索できます。



#### ● F4[前伝票]・F5[次伝票]で表示する伝票の並び順を設定する機能を追加

今までは、F4[前伝票]・F5[次伝票]を押して表示する伝票の並び順は伝票の登録順でした。  
今回より、各伝票メニューの[設定]画面の「前伝票の並び順」で、日付順・伝票No. 順・登録順から並び順を設定できるようになります。  
※設定できる並び順は、メニューによって異なります。

#### ● 伝票リストの印刷条件を追加

伝票リストを印刷する際に、[リスト印刷条件設定]画面の[出力設定]ページの「印刷対象」の設定によって、まだ印刷していない伝票だけ印刷する・印刷済みの伝票だけを再度印刷するなど印刷する伝票の条件を設定できるようになります。

#### ● [在庫確認]画面に「合計残数」項目を追加

[在庫確認]画面に「合計残数」項目が出力されるようになります。  
「合計残数」の計算式は、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「在庫確認の合計残数設定」で伝票ごとに設定できます。

#### 《 関連メニュー 》

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）
- ・[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニュー
- ・[仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[入荷処理]-[入荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[生産伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[構成品処理]-[分解処理]-[分解伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫間振替伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮出荷処理]-[仮出荷伝票]メニュー
- ・[在庫管理]-[仮入荷処理]-[仮入荷伝票]メニュー

#### ● 伝票を検索する際の絞込項目を追加

○以下の伝票を検索する際に、伝票を直送先の入力の有無で絞込できるようになります。  
伝票の[検索条件設定]画面で検索条件に「直送先指定」を選択し、「1：直送先あり」「2：直送先なし」を選択します。

#### 《 関連メニュー 》

- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）
- ・[在庫管理]-[預り品処理]-[預り品伝票]メニュー

※対応する伝票承認・汎用データ作成・データ一括削除メニューにも同じ機能が追加されています。

※対応する伝票承認・汎用データ作成・データ一括削除メニューにも同じ機能が追加されています。

● **グラフの下に帳票を合わせて印刷する機能を追加**

[illegible]

- ・推移表（受注推移表・受注残推移表・売上推移表・発注推移表・発注残推移表・仕入推移表）
- ・対比表（売上対比表・売上仕入対比表・予算実績対比表・仕入対比表）
- ・ABC分析（売上ABC分析・仕入ABC分析）（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）
- ・行列表（売上行列表・仕入行列表）（『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合）



## ● 管理資料の印刷でページ計を出力する機能を追加

管理資料の印刷の[形式設定]画面で「ページ計を出力する」にチェックを付けると、ページ計を出力できるようになります。

担当者別得意先別売上集計表						
集計期間: 2013 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 4 月 30 日						
〇〇〇 商事株式会社						
【集計範囲】 担当専任、得意先別						
【得意区分】 得意上、得意売上						
コード	名称	得意売上	得意得意売上	得意上得意	得意割合	得意割合率
(0001)	大田 第一					
0001	大田商事株式会社 札幌支店	2,397,200	2,397,200	2,397,200	100.000	28.78%
	(0001) 大田 第一計	2,397,200	2,397,200	2,397,200	100.000	28.78%
(0002)	佐藤 裕夫					
0002	株式会社平澤シンキ	6,000,200	6,000,200	5,995,500	99.925	74.74%
	(0002) 佐藤 裕夫計	6,000,200	6,000,200	5,995,500	99.925	74.74%
(0003)	吉澤 孝子					
0003	東京商事株式会社 東京営業部	2,439,600	2,439,600	2,433,000	99.320	29.63%
	(0003) 吉澤 孝子計	2,439,600	2,439,600	2,433,000	99.320	29.63%
(0004)	佐藤 裕子					
0004	神宮田商事 株式会社 横浜支店	901,000	901,000	748,000	83.130	2.330%
	(0004) 佐藤 裕子計	901,000	901,000	748,000	83.130	2.330%
(0005)	増沢 博					
0005	東京商事株式会社 大宮支店	4,109,000	4,109,000	3,278,300	79.780	35.92%
	(0005) 増沢 博計	4,109,000	4,109,000	3,278,300	79.780	41.41%
(0006)	新井 浩					
0006	株式会社平澤シンキ 福岡支店	4,339,000	4,339,000	3,642,700	83.720	17.4%
	(0006) 新井 浩計	4,339,000	4,339,000	3,642,700	83.720	17.4%
(0007)	大田 第一					
0007	大田商事株式会社	854,000	854,000	877,400	101.560	2.400%
	(0007) 大田 第一計	854,000	854,000	877,400	101.560	2.400%
(0008)	吉澤 孝子					
0008	東京商事株式株式 札幌支店	1,340,000	1,340,000	1,318,000	98.360	54.70%
	(0008) 吉澤 孝子計	1,340,000	1,340,000	1,318,000	98.360	48.700%
(0009)	河合 正博					
0009	新井工業株式会社	1,200,000	1,200,000	1,200,000	100.000	8.800%
	(0009) 河合 正博計	1,200,000	1,200,000	1,200,000	100.000	8.800%
(0010)	佐藤 裕夫					
0010	大田商事株式会社 東京営業部	1,000,000	1,000,000	894,200	89.420	24.70%
0011	東京商事株式株式会社	3,480,000	3,480,000	3,271,000	93.990	33.33%
	(0010) 佐藤 裕夫計	4,480,000	4,480,000	3,965,200	88.510	29.930%
(0012)	佐藤 孝子					
0012	神宮田商事株式株式 大田支店	1,271,000	1,271,000	1,131,000	89.060	10.70%
	(0012) 佐藤 孝子計	1,271,000	1,271,000	1,131,000	89.060	28.28%
(0013)	大田 第一					
	(トータル計)	31,119,100	31,119,100	25,405,600	81.650	87.140%
	(全 計)	31,119,100	31,119,100	25,405,600	81.650	87.140%

- 元帳の応用用紙について、余白にも罫線を印刷する機能を追加

[販売管理]-[得意先元帳]メニュー・[仕入管理]-[仕入先元帳]メニューで、これまでは、元帳の応用用紙について、最終明細行までしか罫線は印刷されていませんでした。  
今回より、罫線の印刷について、[形式設定]画面の「余白への罫線印刷」で「余白にも罫線を印刷する」「最終明細行で罫線の印刷を止める」から選択できるようになります。

[illegible]

○余白にも罫線を印刷する

[illegible]

○最終明細行で罫線の印刷を止める



● **明細表の摘要欄にスポット得意先名・スポット仕入先名を出力する機能を追加**

○[条件設定]画面の[出力設定]ページの「摘要欄の出力項目」が「摘要（スポット得意先名 1）」の場合に、摘要欄にスポット得意先名（伝票上の得意先名 1）を出力できるようになります。

《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[見積処理]-[見積明細表]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注明細表]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注残明細表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上明細表]メニュー
- ・ [在庫管理]-[出荷処理]-[出荷明細表]メニュー

○[条件設定]画面の[出力設定]ページの「摘要欄の出力項目」が「摘要（スポット仕入先名 1）」の場合に、摘要欄にスポット仕入先名（伝票上の仕入先名 1）を出力できるようになります。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注明細表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注残明細表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入明細表]メニュー
- ・ [在庫管理]-[入荷処理]-[入荷明細表]メニュー

《データ領域管理》

● **[データ領域初期化]メニューを追加**

[データ領域管理]-[データ領域保守]-[データ領域初期化]メニューで初期化を実行すると、商品・得意先・仕入先などの各マスターや、会社運用設定などの運用に必要な部分は残し、登録済みの伝票をすべて削除します。

運用前にテスト用に作成したデータ領域について、伝票をすべて削除して運用を始める場合などに、初期化を使用すると便利です。

《導入処理》

● **[帳票別プリンタ登録]メニューに、帳票のパターンごとにプリンタ設定を登録できる機能を追加**

[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで、今まではメニューごとにプリンタ設定を登録していました。

今回より、帳票のパターンを登録できるメニューは、[帳票別プリンタ登録 - 条件設定]画面の[出力条件]ページの「帳票のパターンごとに表示する」のチェックを付けると、帳票のパターンごとにプリンタ設定を登録できるようになります。

《随時処理》

● **[汎用データ受入]メニューの[受入結果確認]画面に受け入れたファイル行数を表示  
＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞**

[汎用データ受入]メニューの[受入結果確認]画面で、受入済データ・未受入データそれぞれのデータ件数に加え、ファイル行数も確認できるようになります。

画面に表示されたファイル行数と、受け入れたファイルの行数との一致を確認することで、正常に受け入れできたかを判断できます。

### 《 関連メニュー 》

- ・ マスターデータ受入（部門グループ・セット商品）  
（単価区分別数量別単価・単価区分別数量別期間単価・数量別単価・得意先別数量別単価・得意先別数量別期間単価・数量別期間単価）（『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合）
- ・ 販売データ受入（見積書・受注伝票・売上伝票・契約書・入金伝票）
- ・ 仕入データ受入（発注伝票・仕入伝票・支払伝票）
- ・ 在庫データ受入（出荷伝票・入荷伝票・構成品・生産伝票・分解伝票・倉庫間振替伝票）

### ● [汎用データ受入]メニューで、奉行21シリーズ用の汎用データ受入形式の対応メニューを追加

#### ＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞

見積書や出荷伝票・生産伝票・倉庫間振替伝票についても、『商蔵奉行21』で受け入れできるユーザー作成形式（OBC形式）のデータを、『商蔵奉行i』で受け入れできるようになります。

[受入条件設定]画面の[受入ファイル設定]ページの受入データ形式で「商蔵奉行21 汎用データ受入形式」を選択すると、受け入れできます。

### 《 関連メニュー 》

- ・ 販売データ受入（見積書）
- ・ 在庫データ受入（出荷伝票・生産伝票・倉庫間振替伝票）

### ● [内訳書データ作成]メニューを追加

[随時処理]-[奉行連動データ作成]-[内訳書データ作成]メニューで「売掛金・買掛金・未払金の内訳書」データを作成し、『申告奉行[内訳書・概況書編]』に受け入れできるようになります。（ファイル連動）

※直接連動する場合は、『申告奉行[内訳書・概況書編]』の[内訳書／概況書データ受入]メニューで行います。

### ● [宛名ラベル作成]・[送り状印刷]メニューの出力項目を追加

[随時処理]-[宛名ラベル作成]メニュー・[随時処理]-[送り状印刷]メニューで、登録されている伝票の枚数分の宛名ラベルまたは送り状を印刷する場合（[条件設定]画面の[基本設定]ページの「印刷基準」が「伝票」で、かつ「印刷枚数」が「伝票枚数分」）に、一覧確認画面で集計元の伝票の「伝票No.」「伝票日付」を確認できるようになります。

## 《オリジナルフォーム》

＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞

### ● 見積書・納品書・請求書・注文書に、敬称の印字位置を印字内容によって切り替える機能を追加

[項目設定]画面の[表示形式]ページの「敬称の付加」の設定で、敬称の印字位置を印字内容によって切り替えできるようになります。

#### ▼例

以下のように、1つの納品書フォームで、印字内容によって敬称の印字位置を変更できます。

「得意先担当者名」が印字される場合	「得意先担当者名」が印字されない場合	
	「得意先名 2」が印字される場合	「得意先名 2」が印字されない場合
得意先名 1 得意先名 2 得意先担当者名 様	得意先名 1 得意先名 2 様	得意先名 1 様

#### 《 関連メニュー 》

- ・[オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニュー
- ・[オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー

### ● 見積書・納品書・注文書に、合計・小計・累計の印字項目を追加

見積書・納品書・注文書に、以下の合計・小計・累計の印字項目が追加されます。

以下の表の「○」の項目を印字できるようになります。

	見積書座標登録	納品書座標登録	注文書座標登録
内税込金額合計 (税抜金額合計＋内税消費税)	○	○	○
税抜金額小計	※	○	○
税抜金額累計	※	○	○
内税込金額小計	○	○	○
内税込金額累計	○	○	○
内税消費税小計	○	○	○
内税消費税累計	○	○	○
外税消費税小計	※	○	○
外税消費税累計	※	○	○
消費税小計	○	○	○
消費税累計	○	○	○

※：Ver. 1.52以前で、すでに印字できる項目です。

《 関連メニュー 》

- ・ [オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー

● 見積書・納品書・注文書に、印刷するページを設定できる印字項目を追加

[項目設定]画面の[印刷ページ指定]ページの「印刷ページ指定」の機能を、印字項目の「文字列」「線」「短形」「円」にも設定できるようになります。

※明細領域に配置した描画項目には設定できません。

※「途中のページの印字文字列」は、印字項目「文字列」の場合に設定できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー

● 見積書・注文書に、金額合計内訳領域に配置した項目を印字する条件を追加

外税消費税が「0円」の場合に、金額合計内訳領域に配置した項目を印字するかを[レイアウト基本設定]画面の[印刷設定]ページの「外税消費税が0円の場合も印字する」で選択できるようになります。

○「外税消費税が0円の場合も印字する」にチェックが付いている場合

【合計(内税込)】		1,050
【消費税(外税)】		0
課税対象額	1,000	合計 1,050

○「外税消費税が0円の場合も印字する」にチェックが付いていない場合

※金額合計内訳領域に配置した項目はすべて印字されません。

課税対象額	1,000	合計 1,050

《 関連メニュー 》

- ・ [オリジナルフォーム]-[見積書座標登録]メニュー
- ・ [オリジナルフォーム]-[注文書座標登録]メニュー

### ● 送り状に「摘要」「商品名」「備考」の印字項目を追加

[オリジナルフォーム]-[送り状座標登録]メニューに、印字項目「摘要」「商品名」「備考」が追加されます。

※「商品名」「備考」は、[項目設定]画面の[基本情報]ページの「伝票明細」で、伝票明細の何明細目を印字するかを指定します。

※[随時処理]-[送り状印刷]メニューで、以下の2つの条件を設定した場合に印字されます。

- ・[送り状印刷 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「印刷基準」が「伝票」
- ・[送り状印刷 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「印刷枚数」が「伝票枚数分」

## 《その他》

### ● 「マイページ」のサポートサービス情報などを、「奉行iメニュー」に一元化

当システムのメニュー画面右下の「マイページ」で提供していたサポートサービス情報などについて、「奉行iメニュー」に一元化されます。

最新情報や保守加入状況、オンラインサポートなど当システムを運用する際に必要な情報は、「奉行iメニュー」からご確認ください。

## 商奉行iの機能アップ内容

## 《マスター・伝票》

### ● 税込区分にかかわらず、単位原価を税抜金額で入力する機能を追加

今までは、マスターや伝票で単位原価を入力する際は、税込区分にあわせて税抜きまたは税込みの金額を入力していました。

今回より、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「単位原価の登録方法」で「税抜単価を登録」を選択すると、税込区分にかかわらず税抜金額で入力できるようになります。

### 《 関連メニュー 》

- ・[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニュー
- ・[導入処理]-[商品登録]-[商品一括登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[期間単価登録]メニュー
- ・[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・[販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー

#### 『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合

- ・[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー

#### 『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合

- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]-[単価区分別数量別期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[数量別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[数量別期間単価登録]メニュー

## 《伝票》



### ● 伝票上で伝票全体の粗利益率を確認できる機能を追加

[設定]画面の[表示設定]ページの「粗利計表示」で「する」を選択すると、伝票全体の粗利益率を確認できるようになります。

画面上での表示のほか、見積書・納品書・伝票リストにも印刷できるようになります。

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約書登録]メニュー（『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合）

### ● リレー時の単位原価を選択する機能を追加

今までは、リレー機能を使用して伝票を登録する場合は、リレー元の伝票の単位原価をリレー先の単位原価欄に初期表示していました。

今回より、[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「リレー時の単位原価表示」にチェックを付けると、「伝票を新規登録する際と同様の単位原価」を初期表示できるようになります。

※「伝票を新規登録する際と同様の単位原価」は、以下の3つの条件によって決まります。

- ・ 「単価区分」を使用するか  
（単価区分を使用する場合は、伝票上の[単価区分選択]画面でどの単価区分が選択されているか）
- ・ 数量別単価を登録しているか
- ・ 「単価（売上）の優先順位」の設定

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上伝票]メニュー

## 《販売管理》

### ● [見積書]メニューで、外税消費税が「0円」の場合の見積書フォームの印字内容を変更

[販売管理]-[見積処理]-[見積書]メニューで、見積書の外税消費税が「0円」の場合に、「0001：ページ見積書」「0002：ドット見積書」の見積書フォームで印刷すると、「【合計（内税込）】」「【消費税（外税）】」が印字されなくなります。

○これまでの印字内容（Ver. 1.52以前）

【合計（内税込）】		1,050
【消費税（外税）】		0
課税対象額	1,000	合 計 1,050

※[見積書 - 見積書発行条件設定]画面の[項目設定]ページの「数量・金額の0印字」にチェックが付いた場合の印刷イメージです。

○今回からの印字内容

課税対象額	1,000	合 計	1,050
-------	-------	-----	-------

● **[受注残明細表]・[受注残集計表]・[受注残推移表]メニューの出力項目を追加**

○[販売管理]-[受注処理]-[受注残明細表]メニューで、出力項目に「出荷返品数量」「出荷単価区分数量」「出荷単価区分1数量」を選択できるようになります。

※「出荷返品数量」は、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「単価区分」にチェックが付いていない場合に出力できます。

※「出荷単価区分数量」「出荷単価区分1数量」は、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「単価区分」にチェックが付いている場合に出力できます。

○[販売管理]-[受注処理]-[受注残集計表]メニュー・[販売管理]-[受注処理]-[受注残推移表]メニューで、出力項目に「出荷数量（出荷返品数量）」を選択できるようになります。

※「出荷返品数量」は、[条件設定]画面の[出力設定]ページの「受注数量に返品数量も含める」にチェックが付いている場合に出力できます。

● **[契約売上データ作成]メニューで、作成する伝票の確認機能を追加**

＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞

[販売管理]-[売上処理]-[契約販売処理]-[契約売上データ作成]メニューで、[契約売上データ作成 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「一覧確認」にチェックを付けると、処理を実行する前に作成する売上伝票を一覧で確認できるようになります。

● **請求書に「正・控（交互）」の印刷機能を追加**

請求書を印刷する際に、[請求書発行 - 出力項目]画面の[全般]ページの「請求書の正・控の印字形式」で「正・控（交互）」を選択すると、「正用」と「控用」を1枚ずつ交互に印刷できるようになります。

＜ 関連メニュー ＞

- ・[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニュー
- ・[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニュー

● **[請求書発行]メニューで、指定した請求先の順序で請求書を発行する機能を追加**

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで、[請求書発行 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「請求先指定方法」が「個別指定」の場合（発行する請求先を1件ずつ指定する場合）に、[請求書発行 - 個別指定]画面の「指定した順序で請求書を発行する」にチェックを付けると、指定した請求先の順序で請求書を発行できるようになります。

※[請求書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「フォーム選択」が「請求先ごと」の場合は、「請求書フォームNo. 順→指定した請求先順」で発行されます。

※チェックを付けない場合、もしくは[請求書発行 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「請求先指定方法」が「範囲指定」の場合は、[請求書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「請求書を発行する順序」で設定した順序で発行されます。

● **[請求書発行]メニューで、請求書の「調整額」に振込手数料を含めて集計する機能を追加**

[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで、今までは入金区分が「2：銀行振込」の入金明細に入力した振込手数料の合計金額は「御入金額」欄に集計されていました。

今回より、[請求書発行 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「振込手数料」の設定で「調整額に含める」を選択すると、振込手数料を「御入金額」欄ではなく、「調整額」欄に集計できるようになります。

※調整額には、入金区分が「5：値引」「9：その他」（「2：銀行振込」の振込手数料）の入金明細の合計金額が集計されます。



▼例

○入金区分「2：銀行振込」

○入金金額「10000円」（内振込手数料「500円」）

上記の入金伝票は、請求書で以下のように集計されます。

振込手数料	御入金額	調整額
御入金額に含める	10,000円	0円
調整額に含める	9,500円	500円

● **【請求一覧表】メニューで、請求履歴の並び順を指定する機能を強化**

[販売管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニューで、[請求一覧表 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「並び順」で「締日区分コード順」を選択すると、請求履歴を請求締日区分コード順で表示できるようになります。

● **【入金伝票】メニューで、仕訳伝票にドットプリンタ用の専用用紙を追加**

[販売管理]-[入金処理]-[入金伝票]メニューで、登録した入金伝票から、ドットプリンタ用の専用用紙に仕訳伝票を印刷できるようになります。

○[3371]単票仕訳伝票（OBCコクヨ式）

○[3372]単票仕訳伝票（OBC7行）

● **【売掛金残高一覧表】メニューの出力項目を追加**

[販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニューで、出力項目に「手形残高」「売上債権合計」を選択できるようになります。



● **【売上債権残高一覧表】メニューを追加**

[販売管理]-[売上債権残高一覧表]メニューで、指定した日付時点の債権残高（売掛金残高・手形残高・信託債権残高）を出力できるようになります。

また、売掛金限度額なども集計できます。

＜オリジナルフォーム＞

＜『Sシステム』または『Type NS』をお使いの場合＞

● **納品書の印字項目「伝票区分」「請求日付」「請求先コード」に印字条件を追加**

[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニューで、「伝票区分」「請求日付」「請求先コード」の印字項目に印字条件が追加されています。

○印字項目「伝票区分」について、[項目設定]画面の[印字条件]ページの「掛売上の印字」の設定で、伝票区分が「掛売上」の場合に伝票区分を印字するかを選択できるようになります。

○印字項目の「請求日付」について、[項目設定]画面の[印字条件]ページの「売上日付と同じ日付の印字」の設定で、売上日付と同じ日付の場合に請求日付を印字するかを選択できるようになります。

○印字項目の「請求先コード」について、[項目設定]画面の[印字条件]ページの「得意先コードと同じコードの印字」の設定で、得意先コードと同じコードの場合に請求先コードを印字するかを選択できます。

● **納品書に、直送先を印字する場合も「請求日付」「請求先コード」を印字できる機能を追加**

[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニューで、直送先を印字する場合も「請求日付」「請求先コード」を印字できるようになります。

[納品書座標登録 - レイアウト基本設定]画面の[印刷設定]ページの「入力伝票の請求日付、請求先コードを印字する」の設定で、直送先を印字する場合に印字項目「請求日付」「請求先コード」を印字するかを選択できるようになります。

● **納品書に「受注日付」「納品期日」の印字項目を追加**

[オリジナルフォーム]-[納品書座標登録]メニューに、印字項目「受注日付」「納品期日」が追加されます。

[販売管理]-[受注処理]-[受注伝票]メニューから納品書を印刷する際に、受注伝票上の「受注日付」「納品期日」を印字できるようになります。

● **請求書で、1枚の用紙に印刷できる面数を変更**

[オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニューで、今までは請求書の形式が「明細請求書」「伝票請求書」のフォームの場合に、1枚の用紙に印刷できる面数は「1」で固定され、設定できませんでした。

今回より、[請求書座標登録 - レイアウト基本設定]画面の[用紙設定]ページの「1ページ印刷面数」で「1～4」を設定できるようになります。

● **1請求先に対して2枚以上の請求書が印字される場合の印刷順序設定を追加**

[オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニューで、1請求先に対して2枚以上の請求書が印字される場合の印刷順序を、[請求書座標登録 - レイアウト基本設定]画面の[用紙設定]ページの「印刷順序」で選択できるようになります。

- ・「順番」を選択した場合は、「正用」の印刷がすべて完了してから「控用」が印刷されます。
- ・「交互」を選択した場合は、「正用」と「控用」が1枚ずつ交互に印刷されます。

※請求書の形式が「明細請求書」「伝票請求書」のフォームの場合に設定できます。

▼例

**1度の請求書発行で複数の請求先の請求書を発行する場合**

○1ページに15明細を印刷する明細請求書

○正用・控用を1枚ずつ印刷する

(デザイン面数が「2」、1ページ印刷面数が「1」)

上記のフォームレイアウトで、請求先Aの印字対象の明細が40明細、請求先Bの印字対象の明細が10明細の請求書を印刷する場合は、以下の順序となります。

※40明細ある場合は、1枚目に1～15明細、2枚目に16～30明細、3枚目に31～40明細が印字されます。

※1請求先に対する設定のため、設定に関わらず請求先Aに対する請求書を印刷後、請求先Bの請求書を印刷します。

【順番】



## 【交互】



- 請求書に「プロジェクトコード」「プロジェクト名」の印字項目を追加  
[オリジナルフォーム]-[請求書座標登録]メニューに、印字項目「プロジェクトコード」「プロジェクト名」が追加されます。  
※請求書の形式が「明細請求書」「伝票請求書」のフォームの印字項目に追加されます。

## 蔵奉行 i の機能アップ内容

### 《伝票》

- リスト同時印刷機能を追加  
[設定]画面の「リスト同時印刷」で「する」を選択すると、伝票の登録と同時に、自動的に伝票リストを印刷できるようになります。  
また、画面上で **リスト印刷** を押すと、画面に表示されている 1 件だけの伝票リストを印刷できるようになります。

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[出荷処理]-[出荷伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[入荷処理]-[入荷伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[構成品処理]-[生産伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[構成品処理]-[分解伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫間振替伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[仮入荷処理]-[仮入荷伝票]メニュー

### 《同時処理》

- 作成する伝票の確認機能を追加  
[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー・[仕入管理]-[仕入処理]-[同時仕入処理]メニュー・[在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[同時生産処理]メニューで、[条件設定]画面の[詳細設定]ページの「一覧確認」にチェックを付けると、同時処理を実行する前に、作成する伝票を一覧で確認できるようになります。

- **作成する伝票の摘要欄に作成元の摘要を複写する機能を追加**

[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー・[仕入管理]-[仕入処理]-[同時仕入処理]メニュー・[在庫管理]-[構成部品処理]-[生産処理]-[同時生産処理]メニューで、作成する伝票の摘要に作成元の摘要を複写できるようになります。

※[同時発注処理]メニューの場合は、作成形式が「受注伝票ごと」の場合に複写できます。

[同時仕入処理]メニューの場合は、作成形式が「売上伝票ごと」の場合に複写できます。

[同時生産処理]メニューの場合は、作成形式が「売上明細ごと」の場合に複写できます。

- ▼ **例**

[同時仕入処理]メニューで、作成する仕入伝票の摘要に売上伝票の摘要を複写できるようになります。

- **作成元の単位原価が「0円」の場合の金額を複写する機能を追加**

[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー・[仕入管理]-[仕入処理]-[同時仕入処理]メニュー・[在庫管理]-[構成部品処理]-[生産処理]-[同時生産処理]メニューで、[条件設定]画面の[項目設定]ページの「単価0での金額複写」で「する」を選択すると、作成元の単位原価が0円の場合も、作成する伝票の金額に作成元の原価金額を複写できるようになります。

- ▼ **例**

[同時仕入処理]メニューで、売上伝票の単位原価が0円の場合に、作成する仕入伝票の仕入金額に売上明細の売上原価を複写できるようになります。

- **[同時発注処理]メニューで、作成する発注伝票の作成条件を追加**

[仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニューで、今までは受注伝票の受注日付が同じで、納品期日だけが異なる場合は、別々の発注伝票が作成されていました。

今回より、[同時発注処理 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「納品期日異なる場合でも1伝票として作成する」にチェックを付けると、1つの発注伝票にまとめて作成できるようになります。

## 《仕入管理》

- **[発注伝票]メニューで、外税消費税が「0円」の場合の注文書フォームの印字内容を変更**

[仕入管理]-[発注処理]-[発注伝票]メニューで、注文書の外税消費税が「0円」の場合に、「0001：ページ発注書」「0002：ドット発注書」の注文書フォームで印刷すると、「【合計（内税込）】」「【消費税（外税）】」が印字されなくなります。

○これまでの印字内容（Ver. 1.52以前）

【合計（内税込）】		1,050
【消費税（外税）】		0
課税対象額	1,000	合 計 1,050

※[発注伝票 - 注文書発行条件設定]画面の[項目設定]ページの「数量・金額の0印字」にチェックが付いた場合の印刷イメージです。

○今回からの印字内容

課税対象額	1,000	合 計 1,050
-------	-------	-----------

● **[発注残明細表]・[発注残集計表]・[発注残推移表]メニューの出力項目を追加**

○[仕入管理]-[発注処理]-[発注残明細表]メニューで、出力項目に「入荷返品数量」「入荷単価区分数量」「入荷単価区分1数量」を選択できるようになります。

※「入荷返品数量」は、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「単価区分」にチェックが付いていない場合に出力できます。

※「入荷単価区分数量」「入荷単価区分1数量」は、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「単価区分」にチェックが付いている場合に出力できます。

○[仕入管理]-[発注処理]-[発注残集計表]メニュー・[仕入管理]-[発注処理]-[発注残推移表]メニューで、出力項目に「入荷数量（入荷返品数量）」を選択できるようになります。

※「入荷返品数量」は、[条件設定]画面の[出力設定]ページの「発注数量に返品数量も含める」にチェックが付いている場合に出力できます。

● **支払明細書に「正・控（交互）」の印刷機能を追加**

支払明細書を印刷する際に、[支払明細書発行 - 出力項目]画面の[全般]ページの支払明細書の正・控の印字形式で「正・控（交互）」を選択すると、「正用」と「控用」を1枚ずつ交互に印刷できるようになります。

◀ 関連メニュー ▶

- ・[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニュー
- ・[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニュー

● **[支払明細書発行]メニューで、指定した支払先の順序で支払明細書を発行する機能を追加**

[仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューで、[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「支払先指定方法」が「個別指定」の場合（発行する支払先を1件ずつ指定する場合）に、[支払明細書発行 - 個別指定]画面の「指定した順序で支払明細書を発行する」にチェックを付けると、指定した支払先の順序で支払明細書を発行できるようになります。

※[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの「フォーム選択」が「支払先ごと」の場合は、「支払明細書フォームNo. 順→指定した支払先順」で発行されます。

※チェックを付けない場合、もしくは[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「支払先指定方法」が「範囲指定」の場合は、[支払明細書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの支払明細書を発行する順序で設定した順序で発行されます。

● **[支払一覧表]メニューで、支払履歴の並び順を指定する機能を強化**

[仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニューで、[支払一覧表 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「並び順」で「締日区分コード順」を選択すると、支払履歴を支払締日区分コード順で表示できるようになります。

● **[支払伝票]メニューで、仕訳伝票にドットプリンタ用の専用用紙を追加**

[仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニューで、登録した支払伝票から、ドットプリンタ用の専用用紙に仕訳伝票を印刷できるようになります。

○[3371]単票仕訳伝票（OBCコクヨ式）

○[3372]単票仕訳伝票（OBC7行）

● **[買掛金残高一覧表]メニューの出力項目を追加**

[仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニューで、出力項目に「手形残高」「仕入債務合計」を選択できるようになります。



#### ● [仕入債務残高一覧表]メニューを追加

[仕入管理]-[仕入債務残高一覧表]メニューで、指定した日付時点の債務残高（買掛金残高・未払金残高・手形残高）を出力できるようになります。

### 《在庫管理》

#### ● [生産伝票]・[分解伝票]メニューで、部品の倉庫欄に初期表示させる倉庫を設定する機能を追加

各伝票メニューで構成品を入力すると、部品の倉庫が初期表示されます。この倉庫を[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの「生産伝票・分解伝票の部品倉庫」で「構成品の倉庫」「主倉庫（[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューの[在庫]ページで設定）」から選択できるようになります。

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [在庫管理]-[構成品処理]-[生産処理]-[生産伝票]メニュー
- ・ [在庫管理]-[構成品処理]-[分解処理]-[分解伝票]メニュー

#### ● [滞留在庫一覧表]メニューで、入荷したばかりでまだ出荷していない商品を滞留在庫として集計しない設定を追加

[在庫管理]-[在庫照会]-[滞留在庫一覧表]メニューで、[滞留在庫一覧表 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「最終入荷日を指定する」にチェックを付けて最終入荷日を指定すると、「指定した最終入荷日より後に入荷した商品」が滞留在庫として集計されなくなります。新商品などの入荷したばかりでまだ出荷していない商品を滞留在庫として集計しない場合に設定します。

#### ▼例

商品	最終出荷日	最終入荷日
商品 A	2011/3/20	2011/3/10
商品 B	2011/2/20	2011/2/10
商品 C	なし（空白）	2011/3/10

2011/4/1時点で、この1ヵ月間在庫が滞留している商品（2011/3/1以降に出荷がない商品）を集計します。

まず、滞留在庫を出力する条件として[滞留在庫一覧表 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「最終出荷日」で「2011/2/28以前」を設定します。

更に、「最終入荷日を指定する」を設定するかによって、集計結果が異なります。

#### ○「最終入荷日を指定する」にチェックを付けない場合

商品 B と商品 C が集計されます。

※商品 C は最終出荷日のデータがなく、2011/3/1以降に出荷していない商品のため、滞留在庫とみなされます。

#### ○「最終入荷日を指定する」にチェックを付け、[滞留在庫一覧表 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの「最終入荷日」を「2011/2/28以前」と設定する場合

商品 B だけが集計されます。

#### ● [倉庫間振替伝票]メニューで、現在の在庫数量を確認する機能を追加

[在庫管理]-[倉庫振替処理]-[倉庫間振替伝票]メニューで、現在の在庫数量を確認（[在庫確認]画面を表示）できるようになります。



商奉行*i*  
販売管理システム

・ 蔵奉行*i*  
仕入・在庫管理システム


# 機能アップガイド




Ver.1.51 / Ver.1.52





## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	利用者ごとに、利用できる部門を制限する機能を追加 ＜『ネットワーク対応製品』をお使いの場合＞	2
	伝票に対して承認機能を追加 ＜『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合＞	3
	[会社運用設定]メニュー・[会社機能設定]メニュー・[コード桁数／項目名称設定]メニューに印刷機能を追加	5
	[部門グループ登録]メニューを追加	5
	[在庫残数登録]メニューの出力項目に「単位」を追加	6
	見積書・納品書・注文書のFAX送信機能を追加	6
	明細表の出力項目に「倉庫コード」「倉庫名」を追加	6
	グラフをモノクロで印刷した際に、グラフの違いがわかるように網掛けで印刷できるように改善	7
	[宛名ラベル作成]・[送り状印刷]メニューの出力条件を追加	7
	佐川急便(2010年)の送り状に対応	7
	オリジナルフォームの機能を強化	8
	マスター（得意先・請求先・仕入先・支払先・商品・セット商品・構成品）のリアルタイム検索機能を追加	10
	[運用設定]メニューおよび[セキュリティ管理]メニューに対して、過去に更新されたデータを一覧で確認可能	11
	「OBC専用モード」のバックアップデータを復元する際に、サイズを自動的に適正サイズに縮小する機能を追加	11
	印刷する際に、項目タイトル行・明細行などの網掛けの濃度を調整可能	12
	XenApp 6.0/Windows Server 2003以降のターミナルサービス環境で運用している場合に、バックアップデータや汎用データを、クライアント用コンピュータに作成可能 ＜『奉行 i シリーズ with Citrix Access』をお使いの場合＞	12
	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	未消込額のリアルタイム表示機能を追加	13
	<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	未消込額のリアルタイム表示機能を追加	13
	<b>【オプションの機能アップ内容】</b>	
	[回収個別消込]メニューで、回収予定日を過ぎた回収予定を赤色で表示する機能を追加 ＜『入金消込オプション』をお使いの場合＞	13
	[支払個別消込]メニューで、支払予定日を過ぎた支払予定を赤色で表示する機能を追加 ＜『支払消込オプション』をお使いの場合＞	14
	当システムのオプション製品を使用している場合に、奉行 i メニューから、オプション製品の保守サービスの加入状況が一目で確認可能	14

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容



### ● 利用者ごとに、利用できる部門を制限する機能を追加

#### ＜『ネットワーク対応製品』をお使いの場合＞

当システムで複数の部門を管理している場合に、利用者に対して利用できる部門を制限できるようになります。

[導入処理]-[権限登録]-[部門権限登録]メニューで、当システムの利用者ごとに、部門権限（「-」：未設定 「○」：許可 「△」：参照）を設定します。

権限がある部門に対してだけ、伝票の入力や参照、管理資料の集計ができます。

※[部門権限登録]メニューは、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「部門権限」にチェックが付いている場合に使用できます。

#### ▼例

大阪支店に所属する山田さんに対して、以下のように部門のデータを制限する場合

○大阪支店のデータだけを、入力・参照できるようにする

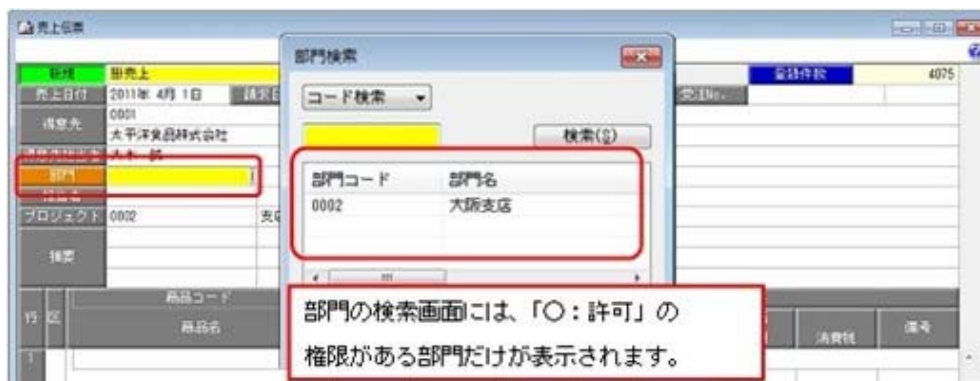
○同じ関西エリアである神戸支店のデータだけを、参照できるようにする

○その他の部署のデータは、入力・参照できないようにする

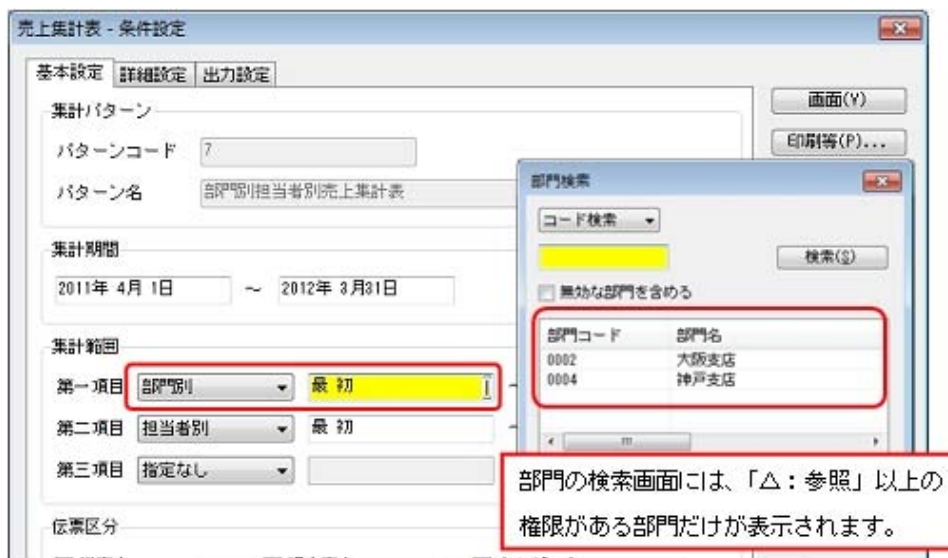
※大阪支店・神戸支店などの各部署については、あらかじめ当システムの[導入処理]-[部門登録]-[部門登録]メニューで登録しておきます。

[導入処理]-[権限登録]-[部門権限登録]メニューで、山田さんに対して部門権限を設定します。

上記のように設定すると、山田さんは大阪支店の伝票だけを入力できます。



管理資料では、大阪支店・神戸支店の関西エリアのデータを参照できます。



#### ● 伝票に対して承認機能を追加

##### <『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合>

伝票に対して、承認機能を使用できるようになります。

承認担当者が、[随時処理]-[承認処理]-[販売データ承認]・[仕入データ承認]・[在庫データ承認]メニューの各メニューで承認した伝票だけが、管理資料に反映されます。

伝票を複数の利用者が入力する場合に、入力ミスや不正な伝票の登録を防ぐことができます。

○伝票の種類ごとに、承認機能を使用するかを設定できます。また、伝票の登録・修正方法によって承認が必要かを設定できます。

○最大で2段階の承認を行うことができます。

○一度「承認」を付与した伝票に対して、承認を「解除」することもできます。

#### 注 意

承認機能を使用するには、以下の前準備が必要です。

○[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「承認設定」で、承認機能を使用する伝票の種類にチェックを付けます。

○[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューの【承認機能設定】で、伝票の種類ごとに承認段数や承認内訳設定（承認する伝票の登録方法）などを設定します。

○[セキュリティ管理]-[権限管理]-[メニュー権限登録]メニューで、承認者に対して、[随時処理]-[承認処理]-[販売データ承認]・[仕入データ承認]・[在庫データ承認]メニューの各メニューのメニュー権限を付与します。

## 《追加メニュー》

- ・[随時処理]-[承認処理]-[未承認伝票確認]メニュー

「未承認」「1次承認済」の伝票の件数を、一覧で確認できます。

承認する伝票の種類を選択し、**ジャンプ**を押すと、[随時処理]-[承認処理]-[販売データ承認]・[仕入データ承認]・[在庫データ承認]メニューの各メニューにジャンプできます。

承認対象	未承認伝票件数	1次承認済伝票件数
見積書	5 件	1 件
受注伝票	176 件	2 件
売上伝票	61 件	2 件
契約書	1 件	1 件
入金伝票	12 件	1 件
発注伝票	130 件	1 件
仕入伝票	43 件	1 件
支払伝票	3 件	1 件

F1 操作説明 F2 F3 F4 F5 **F6 ジャンプ** F7 F8 F9 F10 設定 F11 F12 閉じる

[Enter]キーまたはダブルクリックで、売上伝票承認にジャンプします。

- ・[随時処理]-[承認処理]-[販売データ承認]・[仕入データ承認]・[在庫データ承認]メニューの各メニュー

伝票の内容を確認しながら、承認できます。

確定	承認日時	警告	売上日付	伝票No.	得意先コード	得意先名称
<input checked="" type="checkbox"/>	最終承認		2011/ 5/25	1427	0020	株式会社鹿児島文具 宮城店
<input type="checkbox"/>	未承認		2011/ 5/26	1428	0011	名古屋電機商事株式会社
<input type="checkbox"/>	1次承認済		2011/ 6/ 1	1429	0001	太平洋食品株式会社 札幌支店
<input type="checkbox"/>	未承認		2011/ 6/ 1	1430	0006	株式会社千葉デンキ
<input type="checkbox"/>	未承認		2011/ 6/ 1	1431	0022	新富フラー株式会社 大宮店
<input type="checkbox"/>	未承認		2011/ 6/ 3	1432	0007	東京事務機販売株式会社 札幌支
<input type="checkbox"/>	未承認		2011/ 6/ 3	1433	0008	神奈川物産株式会社 仙台支店
<input type="checkbox"/>	未承認		2011/ 6/ 3	1434	0012	大原食品株式会社

[0020 株式会社鹿児島文具 宮城店]  
《与信額》 10,150,000 《売掛金残高》 4,934,187 《売掛金総償却》 5,215,813 **税込売上金額合計** 661,83

F1 操作説明 **F2 実行** F3 F4 前画面 F5 次画面 F6 詳細 F7 全選択 F8 F9 F10 条件設定 F11 F12 閉じる

[Enter]キーまたはダブルクリックで、売上伝票の詳細を確認できます。

[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]・[会社機能設定]・[コード桁数／項目名称設定]メニューで、設定内容を印刷できるようになります。

● [部門グループ登録]メニューを追加

○管理資料で複数部門（部門グループ）の合計金額を確認できます。

※部門グループデータの[汎用データ作成]メニュー・[汎用データ受入]メニューも、あわせて追加されています。

▼例

※「東京本店」「横浜支店」「大阪支店」「神戸支店」は、あらかじめ[導入処理]-[部門登録]-[部門登録]メニューで登録しておきます。

「東日本エリア」「西日本エリア」は、[導入処理]-[部門登録]-[部門グループ登録]メニューで登録しておきます。

● [在庫残数登録]メニューの出力項目に「単位」を追加

[導入処理]-[開始残登録]-[在庫残数登録]メニューで、出力項目に商品の「単位」を選択できるようになります。

● 見積書・納品書・注文書のFAX送信機能を追加

伝票上から見積書・納品書・注文書をFAXで送信できるようになります。

FAXを送信する際に、送り状を付けて送信することもできます。

「株式会社リコー」のFAXドライバに対応した機種が必要です。

《 対応ドライバ例 》

- ・ RICOH PC FAX(imagio)
- ・ RICOH PC FAX(IPSIO)
- ・ RICOH PC FAX(RIFAX) など

● 明細表の出力項目に「倉庫コード」「倉庫名」を追加

明細表で、出力項目に「倉庫コード」「倉庫名」を選択できるようになります。

《 関連メニュー 》

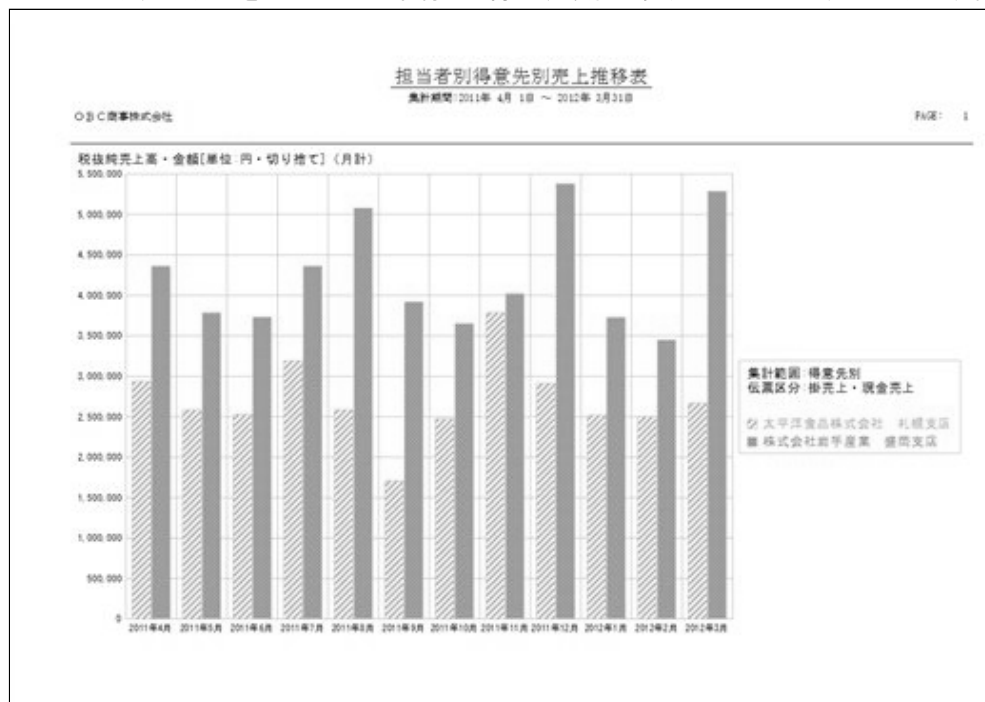
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注明細表]メニュー
- ・ [販売管理]-[受注処理]-[受注残明細表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上明細表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注明細表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[発注処理]-[発注残明細表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入明細表]メニュー
- ・ [在庫管理]-[出荷処理]-[出荷明細表]メニュー
- ・ [在庫管理]-[入荷処理]-[入荷明細表]メニュー



● **グラフをモノクロで印刷した際に、グラフの違いがわかるように網掛けで印刷できるように改善**

[グラフ印刷条件設定]画面の[グラフ印刷設定]ページで、グラフを網掛けに印刷できるようになります。

これにより、グラフをモノクロで印刷した際に、項目の見分けが付きやすくなります。



◀ **関連メニュー** ▶

- ・ 推移表（受注推移表・受注残推移表・売上推移表・発注推移表・発注残推移表・仕入推移表）
- ・ 対比表（売上対比表・売上仕入対比表・予算実績対比表・仕入対比表）
- ・ A B C 分析（売上 A B C 分析・仕入 A B C 分析）
- ・ 行列表（売上行列表・仕入行列表）

● **[宛名ラベル作成]・[送り状印刷]メニューの出力条件を追加**

○ [随時処理]-[宛名ラベル作成]メニュー・[随時処理]-[送り状印刷]メニューの[基本設定]ページで、出力するデータの条件に「無効なマスターも含める」を設定できるようになります。

○ [随時処理]-[宛名ラベル作成]メニューの[出力設定]ページで、「各マスターの名称2」および「担当者名」を出力するか選択できるようになります。

● **佐川急便(2010年)の送り状に対応**

2010年10月から佐川急便の送り状が順次切り替わっています。

今回より、[随時処理]-[送り状印刷]メニューの送り状フォームで「0008：佐川急便(2010年)」が選択できるようになります。

※ [オリジナルフォーム]-[送り状座標登録]メニューにも、[送り状座標登録 - 複写元データ選択]画面の「テンプレートデータ」に「[ORG] 佐川急便(2010年)」が追加されています。



## ● オリジナルフォームの機能を強化

○旧製品から転送したフォームデータを受け入れできるようになります。

旧製品の[SUPER]-[オリジナルフォーム処理]-[汎用フォーム処理]メニューで転送したフォームデータを、当システムで受け入れできるようになります。

オリジナルフォームの各メニューでフォームデータを受け入れる際に、[受入データ形式選択]画面で「商蔵奉行21 汎用フォーム処理で転送したフォームデータ（種別番号 301～999）」を選択します。

以下の条件に該当するフォームデータを受け入れできます。

- ・レイアウト形式（フォームコードが「301～999」）のフォームデータ

※レイアウト形式のフォームデータは、『商奉行21Ver. II以降』または『蔵奉行21Ver. II以降』で出力したフォームデータで作成できます。

- ・見積書、納品書、請求書、注文書、送り状のフォームデータ

※得意先元帳・仕入先元帳は、旧製品にオリジナルフォームがないため、受け入れできません。

### 注 意

受け入れたフォームは、設定内容や項目、使用するコンピュータやプリンタなどのお客様の環境によって、旧製品と同じ印字結果にならない場合があります。

このため、受入後には印字微調整・用紙サイズ・給紙方法などを設定して、印字位置を確認・調整する必要があります。

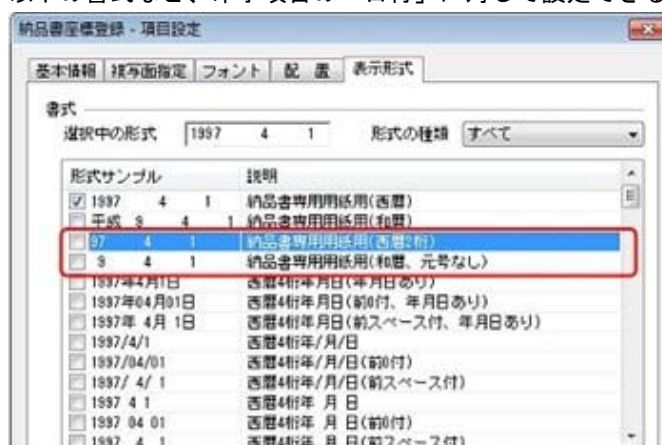
○文字列の抽出機能を設定できる項目が追加されます。

[項目設定]画面の[表示形式]ページで、「文字列の抽出」の機能を、印字項目の「コード」「日付」「郵便番号」にも設定できるようになります。



○印字項目の「日付」の書式が追加されます。

以下の書式など、印字項目の「日付」に対して設定できる書式が増えます。



○印字項目の「印刷用商品コード」に印字条件が追加されます。

印字項目の「印刷用商品コード」について、[項目設定]画面の[印字条件]ページで「明細行商品コードを印字する」を設定できるようになります。

印刷用商品コードが登録されていない場合に、伝票上の商品コード（明細行商品コード）を印字するか、何も印字しないかを選択できます。

印字項目の[項目設定]画面に、以下の情報が表示されるようになります。

- 
- 納品書登録 - 項目設定
- 基本情報 複写面指定 フォント 配置 表示形式
- 項目情報
- カテゴリ 伝票明細 - 明細 グループ
- 項目名 商品名 (001)
- 項目型 文字列
- ☐ ラベルとして印字する
- 印字文字列
- 初期値に戻す(1)
- 属性情報
- 配置領域 売上伝票明細
- 始点X座標 1.020 inch 幅 2.920 inch
- 始点Y座標 2.520 inch 高さ 0.140 inch



## ● マスター（得意先・請求先・仕入先・支払先・商品・セット商品・構成品）のリアルタイム検索機能を追加

得意先・請求先・仕入先・支払先・商品・セット商品・構成品を検索する際に、リアルタイム検索（検索条件を入力すると同時に、検索候補を絞り込んで表示）できるようになります。検索のスピードアップを図れます。

### ▼例

商品検索

検索条件

商品名 が コン を含む

検索(1)

☐ 無効な商品を含める ☐ 商品コード順で並べる

項目設定(1)...

詳細設定(1)>>

1~79件を表示

商品コード	商品名
C-00002	アンダーシャツ (綿素材)
S-10041	インスタントコーヒー
C-00003	インポートTシャツ (コットン素材)
J-10001	クリアファイルK-77
J-10009	コンバース162XMP5
J-10005	コンピュータ用STOH-15INT
O-10014	コンボークントデレフォンNASH-TL80-K
K-10002	スチームアイロンIRS-5000DL-WT
O-10013	ステレオグラフィックイコライザーNASH-E70A-K
O-10023	ステレオラジオNASH-FM14-Kブラック
O-10078	ステレオラジオNASH-FM14-Kホワイト

「即時検索する」を選択します。

即時検索する

前の結果(2) 次の結果(8) OK キャンセル 実行結果(8)

商品検索

検索条件

商品名 が コン を含む

検索(2)

☐ 無効な商品を含める ☐ 商品コード順で並べる

項目設定(1)...

1~5件を表示

商品コード	商品名
J-10009	コンバース162XMP5
J-10005	コンピュータ用STOH-15INT
O-10014	コンボークントデレフォンNASH-TL80-K
O-10007	ニューオーディンコンCD0501NASC-CD000-K
O-10008	ニューオーディンコンCD0501NASC-CD050-K

「コン」を入力すると、「コン」を含む商品名の商品だけに絞り込まれて表示されます。

検索画面で「即時検索する」を選択し、検索条件で「コン」と入力するだけで、指定した条件（商品名が「コン」を含む）に合致する商品だけが即時に絞り込まれます。

- [運用設定]メニューおよび[セキュリティ管理]メニューに対して、過去に更新されたデータを一覧で確認可能

[運用設定]メニューおよび[セキュリティ管理]メニューで、過去に更新されたデータの内容を時系列に一覧で確認できるようになります。



#### 《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニュー
- ・ [導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニュー
- ・ [導入処理]-[運用設定]-[コード桁数／項目名称設定]メニュー
- ・ [セキュリティ管理]-[セキュリティポリシー]-[アカウントポリシー]メニュー
- ・ [セキュリティ管理]-[セキュリティポリシー]-[パスワードポリシー]メニュー
- ・ [セキュリティ管理]-[セキュリティポリシー]-[データ領域権限評価ポリシー]メニュー

- 「OBC専用モード」のバックアップデータを復元する際に、サイズを自動的に適正サイズに縮小する機能を追加

[データ領域管理]-[バックアップ／復元]-[バックアップ復元]メニューまたは[データ領域管理]-[バックアップ／復元]-[バックアップ履歴]メニューから、「OBC専用モード」で作成したバックアップデータを復元する際に、データ領域やログ領域のサイズを、自動的に適正サイズに縮小する機能が追加されます。

[作成先変更]ボタンをクリックして表示される[作成先変更]画面の[自動設定]ページで、自動的に縮小できます。

- 印刷する際に、項目タイトル行・明細行などの網掛けの濃度を調整可能

網掛け印刷する帳票において、印刷する際に、[印刷設定]ページで網掛け部分の濃度を調整できるようになります。

これにより、項目タイトル行・明細行ごとに、網掛けを濃くして強調したり、網掛けする欄を見やすくするために網掛けを薄くしたりできます。

売上集計表 - 印刷等条件設定

印刷設定 タブ

帳票タイトル  
商品別売上集計表 印刷設定

印刷範囲  
● すべて  
○ 範囲指定 最初 ~ 最後  
○ ページ指定

印刷オプション  
☐ 日付を印刷する 2011 年 1 月 1 日 ☐ 出力者情報を印刷する  
☒ ページ番号を印刷する  
☒ 会社名を印刷する  
☒ 網掛け印刷する  
☒ 網掛け濃度を指定する 濃度(G)...  
☐ 欄隔を補正する 補正値(A)...

参考 チェックを付けると、入力した日付が印刷されます。

売上集計表 - 印刷等条件設定 - 濃度

No.	設定対象名	濃度 [X]
1	項目タイトル行	サンプル 25
2	明細行	サンプル 14

参考 設定対象名に対して、網掛け濃度を設定します。  
濃度 [X] の左に出力時のサンプルが表示されます。  
0~50

商品別売上集計表  
集計期間: 2011 年 4 月

〇 B C 商事株式会社  
【集計範囲】 商品別  
【得意区分】 振売上・現金売上・クレジット

コード	名称	総売上高
000001	プリンター用紙 (A4)	874,000
C-00001	プリンター用紙 (A4) (コピー用紙)	874,000
C-00002	インポート用紙 (コピー用紙)	1,442,000
F-00001	花 1 0 0 0 0 円 5 円	5,500,000
F-00002	観葉植物	5,730,000
H-10002	化粧品	0
J-10001	クリアファイル E-77	15,150,000
J-10002	フロッピーディスクケース H-3.5	7,089,000
J-10003	ワープロ用紙 125	5,041,500
J-10004	パソコン用紙 125	36,793,500
J-10005	コンピュータ用紙 STH-15 INT	8,835,300
J-10006	付箋シール 2 色 KS-002	11,675,200

項目タイトル行

明細行

- XenApp 6.0/Windows Server 2003以降のターミナルサービス環境で運用している場合に、バックアップデータや汎用データを、クライアント用コンピュータに作成可能  
＜『奉行 i シリーズ with Citrix Access』をお使いの場合＞

今までは、XenApp 6.0/Windows Server 2003以降のターミナルサービス環境で運用している場合に、バックアップデータや汎用データを、自動マッピング（リダイレクト）されたクライアント用コンピュータのドライブに作成できませんでした。今回より作成できるようになります。

## 商奉行 i の機能アップ内容

### ● 未消込額のリアルタイム表示機能を追加

○入金金額を入力すると、同時にまだ消込を行っていない回収予定額が表示されるようになります。

[回収消込 [回収予定基準]]メニューの場合は、「回収予定額 - 入金金額」が「消込後回収予定額」に表示されます。

※消込していない回収予定額が表示される項目は、メニューによって異なります。

○[設定]画面の差額手数料自動表示が「する」の場合は、入金金額を入力すると、同時にまだ消込していない回収予定額が手数料欄に表示されます。

※差額手数料自動表示は、[F B 入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー・[回収個別消込 [入金伝票基準]]メニューでは設定できません。

### ◀ 関連メニュー ▶

- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収消込]-[回収消込 [回収予定基準]]メニュー
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[入金データ作成]メニュー
- ・ [販売管理]-[入金処理]-[F B 入金処理]-[F B 入金伝票作成]-[F B 入金伝票作成 [回収予定基準]]メニュー

### 『入金消込オプション』をお使いの場合

- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [回収予定基準]]メニュー
- ・ [販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [入金伝票基準]]メニュー

## 蔵奉行 i の機能アップ内容

### ● 未消込額のリアルタイム表示機能を追加

支払金額を入力すると、同時にまだ消込を行っていない支払予定額が表示されるようになります。

[支払消込 [支払予定基準]]メニューの場合は、「支払予定額 - 支払金額」が「消込後支払予定額」に表示されます。

※消込していない支払予定額が表示される項目は、メニューによって異なります。

### ◀ 関連メニュー ▶

- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払消込]-[支払消込 [支払予定基準]]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[支払データ作成]メニュー

### 『支払消込オプション』をお使いの場合

- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払予定基準]]メニュー
- ・ [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払伝票基準]]メニュー

## オプションの機能アップ内容

### ● [回収個別消込]メニューで、回収予定日を過ぎた回収予定を赤色で表示する機能を追加 ＜『入金消込オプション』をお使いの場合＞

[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [回収予定基準]]メニュー・[販売管理]-[債権回収処理]-[回収個別消込]-[回収個別消込 [入金伝票基準]]メニューで、回収予定日を過ぎた回収予定を赤色で表示できるようになります。



※あらかじめ、「設定」画面で予定日超過データの赤色表示を「する」に設定します。

- [仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払予定基準]]メニュー・[仕入管理]-[債務支払処理]-[支払個別消込]-[支払個別消込 [支払伝票基準]]メニューで、支払予定日を過ぎた支払予定を赤色で表示できるようになります。

※あらかじめ、「設定」画面で予定日超過データの赤色表示を「する」に設定します。

- 当システムのオプション製品を使用している場合に、奉行メニューから、オプションの保守加入状況が一目で確認できるようになります。



商奉行*i*  
販売管理システム


・ 蔵奉行*i*  
仕入・在庫管理システム







# 機能アップガイド

Ver.1.50



## 目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<b>【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】</b>	
	単価（単価区分別単価・数量別単価）を追加 ＜『SPシステム』をお使いの場合＞	2
	[単価登録]メニューのメニュー構成を変更	3
	管理資料に「倉庫別」「倉庫区分別」の集計機能を追加	3
	[汎用データ作成]メニューの機能を強化	4
	[汎用データ受入]メニューの機能を強化 ＜『Sシステム』をお使いの場合＞	5
	[伝票消去処理]メニューを追加	5
	コンバート処理に対象外の指定機能を追加	5
	商品・得意先・仕入先を検索する際の絞込項目を追加	5
	マスターの検索画面で、検索結果をマスターのコード順に並べる設定を追加	6
	管理資料で指定できる並び順の設定を追加	6
	[バックアップ]メニューで、DB依存モードでのバックアップ先にもリムーバブルメディアドライブを指定できるように変更	6
	条件設定画面のコードの範囲指定で、1つのコードをスムーズに指定できるように改善	7
	[ヘルプ]・[マイページ]メニューの配置を移動	7
	<b>【商奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	売掛金の開始残高に対して回収予定を設定する機能を追加	7
	[売上行列表]メニューを追加 ＜『SPシステム』をお使いの場合＞	7
	[請求書発行]メニューの機能を強化	9
	[請求一覧表]メニューの機能を強化	9
	[売掛金残高一覧表]・[売掛金残高順位表]メニューの出力項目を追加	9
	得意先元帳オリジナルフォームを追加 ＜『Sシステム』をお使いの場合＞	9
	伝票でスポット得意先（得意先コード[0]）の名称を変更した場合の機能を追加	10
	<b>【蔵奉行 i の機能アップ内容】</b>	
	買掛金・未払金の開始残高に対して支払予定を設定する機能を追加	10
	[同時発注処理]メニュー・[同時仕入処理]メニューで、作成される伝票の備考欄に作成元の「伝票No.」を設定する機能を追加	10
	[仕入行列表]メニューを追加 ＜『SPシステム』をお使いの場合＞	10
	[支払明細書発行]メニューの機能を強化	12
	[支払一覧表]メニューの機能を強化	12
	[買掛金残高一覧表]・[買掛金残高順位表]メニューの出力項目を追加	12
	仕入先元帳オリジナルフォームを追加 ＜『Sシステム』をお使いの場合＞	12
	スポット仕入先（仕入先コード[0]）の名称を変更した場合の機能を追加	13

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 商奉行：蔵奉行：共通の機能アップ内容

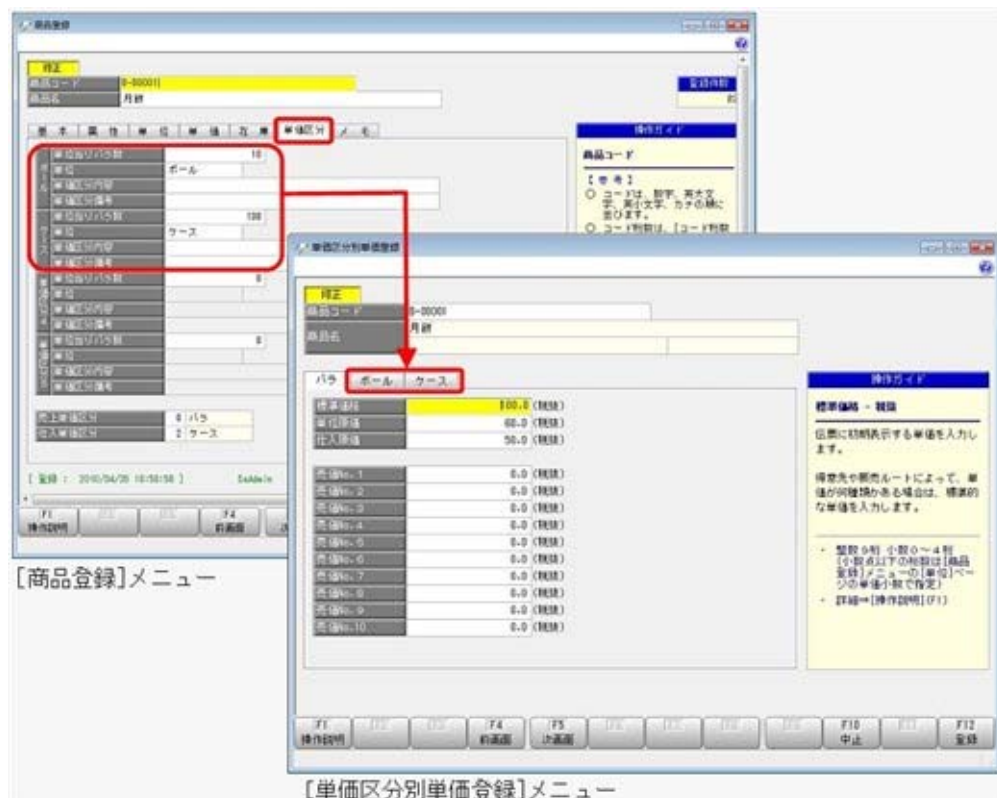
### ● 単価（単価区分別単価・数量別単価）を追加

#### ＜『SPシステム』をお使いの場合＞

##### ○ 単価区分別単価を追加

同じ商品でも荷姿ごとに単価が異なる場合に、荷姿ごと（単価区分ごと）に単価を設定できるようになります。

単価区分別単価・単価区分別期間単価・単価区分別数量別単価・単価区分別数量別期間単価を設定できます。



※[商品登録]メニューの[単価区分]ページは、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「単価区分」にチェックが付いている場合にのみ表示されます。

なお、上記の画面では、[導入処理]-[運用設定]-[コード桁数/項目名称設定]メニューで、単価区分の名称を「バラ（単価区分1）」「ボール（単価区分2）」「ケース（単価区分3）」と変更しています。

### ＜ 追加メニュー ＞

- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]-[単価区分別数量別期間単価登録]メニュー

- ・[導入処理]-[単価区分別単価登録]-[単価区分別数量別単価登録]-[単価区分別数量別期間単価登録]メニュー

※対応する汎用データ作成・汎用データ受入・データー一括削除メニューも、合わせて追加されています。

ただし、単価区分別期間単価・単価区分別数量別期間単価に対応するデーター一括削除メニューはありません。

#### ○数量別単価を追加

数量によって商品の単価が変更になる場合に、数量範囲に対して商品の単価を設定できるようになります。

数量別単価・得意先別数量別単価・得意先別数量別期間単価・数量別期間単価を設定できます。

数量範囲	単価
0 ~ 10	100.0
10 ~ 100	90.0

#### 《 追加メニュー 》

- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[数量別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[得意先別数量別単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[得意先別数量別期間単価登録]メニュー
- ・[導入処理]-[単価登録]-[数量別単価登録]-[数量別期間単価登録]メニュー

※対応する汎用データ作成・汎用データ受入・データー一括削除メニューも、合わせて追加されています。

ただし、数量別期間単価に対応するデーター一括削除メニューはありません。

#### ● [単価登録]メニューのメニュー構成を変更

[単価登録]メニューのメニュー構成を変更しました。

○変更前：[導入処理]-[商品登録]-[単価登録]メニュー

○変更後：[導入処理]-[単価登録]メニュー

#### ● 管理資料に「倉庫別」「倉庫区分別」の集計機能を追加

管理資料を「倉庫別」「倉庫区分別」で集計できるようになります。

合わせて、予算も「倉庫別」「倉庫区分別」で管理できるようになります。

#### 《 関連メニュー 》

- ・明細表（受注明細表・受注残明細表・売上明細表・発注明細表・発注残明細表・仕入明細表）

- ・ 集計表（受注集計表・受注残集計表・売上集計表・発注集計表・発注残集計表・仕入集計表）
- ・ 順位表（売上順位表・仕入順位表）
- ・ 推移表（受注推移表・受注残推移表・売上推移表・発注推移表・発注残推移表・仕入推移表）
- ・ 対比表（売上対比表・売上仕入対比表・予算実績対比表・仕入対比表）
- ・ A B C分析（売上A B C分析・仕入A B C分析）（『Sシステム』をお使いの場合）
- ・ 取引実績一覧表
- ・ 予算登録
- ・ 予算データ受入

#### ● [汎用データ作成]メニューの機能を強化

○マスターデータ・伝票データの汎用データ作成で、登録履歴・修正履歴を出力できるようになります。

※利用者ごとの認証を使用していない場合は、出力できません。

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]メニュー  
（商品・セット商品・得意先・仕入先）
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]メニュー  
（見積書・受注伝票・売上伝票・契約書・入金伝票）
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]メニュー  
（発注伝票・仕入伝票・支払伝票）
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]メニュー  
（出荷伝票・入荷伝票・構成品・生産伝票・分解伝票・倉庫間振替伝票・預り品伝票・仮出荷伝票・仮入荷伝票）

○伝票データの汎用データ作成で、伝票のデータとともに、伝票で使用している担当者・倉庫・商品・得意先・仕入先の区分情報（担当者区分・倉庫区分・商品区分・得意先区分・仕入先区分）も合わせて出力できるようになります。

#### ▼例

- ① [得意先登録]メニューで、「得意先1」に対して以下を設定します。  
得意先区分1：得意先区分A  
得意先区分2：得意先区分α
- ② [売上伝票]メニューで、①で登録した「得意先1」の伝票を入力します。
- ③ [売上伝票データ作成]メニューで、②で登録した伝票を転送します。

伝票のデータとともに、伝票で入力した「得意先1」の情報、得意先区分1「得意先区分A」・得意先区分2「得意先区分α」も合わせて出力できるようになります。

区分情報以外にも、伝票で使用している以下のマスターの情報を出力できます。

得意先・請求先・仕入先・支払先・担当者・信販会社・商品・倉庫

#### 《 関連メニュー 》

- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[販売データ作成]メニュー  
（見積書・受注伝票・売上伝票・契約書・入金伝票）
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕入データ作成]メニュー  
（発注伝票・仕入伝票・支払伝票）

- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[在庫データ作成]メニュー  
(出荷伝票・入荷伝票・構成品・生産伝票・分解伝票・倉庫間振替伝票・預り品伝票・  
仮出荷伝票・仮入荷伝票)

## ● [汎用データ受入]メニューの機能を強化

### ＜『Sシステム』をお使いの場合＞

○伝票データを受け入れる際に、原価割れチェック・与信額チェック・在庫割れチェックを行えるようになります。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューで、チェックを行うかを設定します。

○伝票No.を受け入れる際に、伝票No.を「システム自動付番設定」の設定に関わらず、受け入れるファイルの伝票No.で付番できるようになります。

[導入処理]-[運用設定]-[会社機能設定]メニューで、優先する伝票No.を設定できます。

○今までは、商品の単価や在庫残数・在庫残高データを受け入れる際に、「商品コード」を基準としての受け入れしかできませんでした。

今回より、「商品コード2・3」を基準として受け入れることもできるようになります。

### 《 関連メニュー 》

[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ受入]メニュー

(得意先別単価・得意先別期間単価・仕入先別単価・仕入先別期間単価・期間単価・統一伝票価格表・在庫残数・在庫残高)

## ● [伝票消去処理]メニューを追加

[随時処理]-[伝票消去処理]メニューで、伝票の増加に伴うパフォーマンス劣化を防ぐ目的で過去の伝票を消去できるようになります。

消去した伝票をもとに売掛金残高・買掛金残高・在庫残数を更新します。伝票消去処理日以前の管理資料は集計できなくなりますが、伝票消去処理日より後の日付の管理資料の集計には影響しません。

## ● コンバート処理に対象外の指定機能を追加

今までは、商奉行で開始残登録日から現在までの間に、請求情報（請求書発行を行った情報）が無い期間が存在する場合は、請求情報が無い期間に対する入金金額を、手動で対象外に指定する必要がありました。

※蔵奉行では、開始残登録日から現在までの間に、精算情報（支払明細書発行を行った情報）が無い期間が存在する場合は、精算情報が無い期間に対する支払金額を、手動で対象外に指定する必要がありました。

今回より、コンバート処理時に自動で対象外が指定されるようになります。

## ● 商品・得意先・仕入先を範囲検索する際の絞込項目を追加

商品・得意先・仕入先を範囲検索する際に、以下の項目を指定して絞込できるようになります。

○商品：主倉庫コード、主倉庫名、主仕入先コード、主仕入先略称、メモ1～3

○得意先：共用区分、主担当者コード、主担当者名、主プロジェクトコード、主プロジェクト名、売価No.、掛率、メモ1～3

○仕入先：主担当者コード、主担当者名、主プロジェクトコード、主プロジェクト名、メモ1～3

### 《 関連メニュー 》

・ マスター登録（商品・得意先・仕入先）

・ 一括登録（商品・得意先・仕入先）



- ・汎用データ作成（商品・得意先・仕入先）
- ・データ一括削除（商品・得意先・仕入先）

#### ● マスターの検索画面で、検索結果をマスターのコード順に並べる設定を追加

今までは、マスターの検索画面でマスターコード以外を指定して検索すると、検索結果は「検索時に絞込項目に追加した項目の順序」で表示されていました。

今回より、検索時に「〇〇コード順で並べる」にチェックを付けると、マスターのコード順に並べることができるようになります。

#### ● 管理資料で指定できる並び順の設定を追加

〔債権回収処理〕・〔債務支払処理〕メニューで、データの並び順に「部門コード」「プロジェクトコード」を設定できるようになります。

#### 《 関連メニュー 》

- ・〔販売管理〕-〔債権回収処理〕-〔回収予定変更〕メニュー
- ・〔販売管理〕-〔債権回収処理〕-〔回収消込対象外〕-〔回収消込個別対象外指定〕メニュー
- ・〔販売管理〕-〔債権回収処理〕-〔回収消込対象外〕-〔回収消込対象外指定取消〕メニュー
- ・〔仕入管理〕-〔債務支払処理〕-〔支払予定変更〕メニュー
- ・〔仕入管理〕-〔債務支払処理〕-〔支払消込対象外〕-〔支払消込個別対象外指定〕メニュー
- ・〔仕入管理〕-〔債務支払処理〕-〔支払消込対象外〕-〔支払消込対象外指定取消〕メニュー

#### 『入金消込オプション』をお使いの場合

- ・〔販売管理〕-〔債権回収処理〕-〔回収個別消込〕-〔回収個別消込〔回収予定基準〕〕メニュー
- ・〔販売管理〕-〔債権回収処理〕-〔回収個別消込〕-〔回収個別消込〔入金伝票基準〕〕メニュー
- ・〔販売管理〕-〔債権回収処理〕-〔回収個別消込〕-〔回収個別消込取消〕メニュー
- ・〔販売管理〕-〔債権回収処理〕-〔回収個別消込〕-〔消込済照会〔売上传票基準〕〕メニュー
- ・〔販売管理〕-〔債権回収処理〕-〔回収個別消込〕-〔消込済照会〔入金伝票基準〕〕メニュー
- ・〔販売管理〕-〔債権回収処理〕-〔回収個別消込〕-〔未入金リスト〕メニュー

#### 『支払消込オプション』をお使いの場合

- ・〔仕入管理〕-〔債務支払処理〕-〔支払個別消込〕-〔支払個別消込〔支払予定基準〕〕メニュー
- ・〔仕入管理〕-〔債務支払処理〕-〔支払個別消込〕-〔支払個別消込〔支払伝票基準〕〕メニュー
- ・〔仕入管理〕-〔債務支払処理〕-〔支払個別消込〕-〔支払個別消込取消〕メニュー
- ・〔仕入管理〕-〔債務支払処理〕-〔支払個別消込〕-〔消込済照会〔仕入伝票基準〕〕メニュー
- ・〔仕入管理〕-〔債務支払処理〕-〔支払個別消込〕-〔消込済照会〔支払伝票基準〕〕メニュー
- ・〔仕入管理〕-〔債務支払処理〕-〔支払個別消込〕-〔未支払リスト〕メニュー

#### ● [バックアップ]メニューで、DB依存モードでのバックアップ先にもリムーバブルメディアドライブを指定できるように変更

〔随時処理〕-〔バックアップ〕メニュー、〔データ領域管理〕-〔バックアップ／復元〕-〔一括バックアップ〕メニューで、OBC専用モードだけでなくDB依存モードでのバックアップ先にも、「USBフラッシュドライブ（USBメモリ）」や「MOドライブ」などのリムーバブルメディアドライブを指定できるようになります。



- **条件設定画面のコードの範囲指定で、1つのコードをスムーズに指定できるように改善**

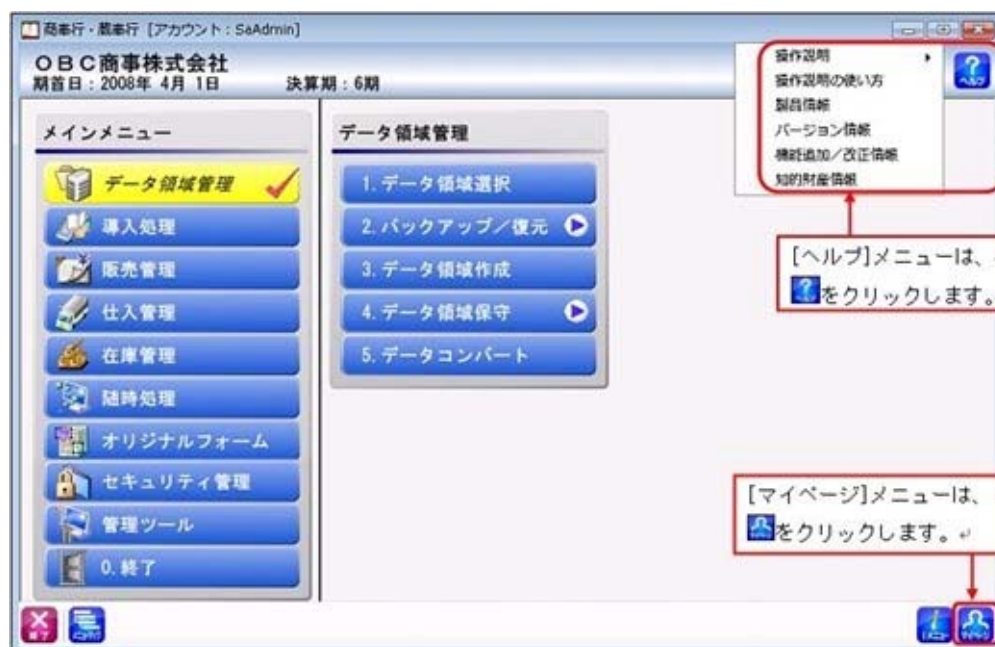
条件設定画面のコードの範囲指定において、「終了コード」を空欄にして[Enter]キーで確定すると、「開始コード」と同じコードが「終了コード」欄にもセットされるようになります。これにより、1つのコードを指定する際に、よりスムーズに指定できるようになります。



- **[ヘルプ]・[マイページ]メニューの配置を移動**

[ヘルプ]メニューを、メインメニューの中から、メニュー画面の右上に移動します。

[マイページ]メニューを、メインメニューの中から、メニュー画面の右下に移動します。



## 商奉行 i の機能アップ内容

- **売掛金の開始残高に対して回収予定を設定する機能を追加**

[導入処理]-[開始残登録]-[売掛金残高登録]メニューで、売掛金の開始残高に対する回収予定を設定できるようになります。

[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「入金消込管理」にチェックが付いている場合は、設定した回収予定をもとに、消込管理も行えます。

- **[売上行列表]メニューを追加**

＜『SPシステム』をお使いの場合＞

[販売管理]-[売上処理]-[売上行列表]メニューで、売上明細を得意先や商品ごとに集計し、売上金額や売上数量のマトリックス表を出力できるようになります。

縦軸・横軸・頁軸に、お客様の任意の項目を設定できますので、お客様の用途に合わせた分析を行います。

また、表形式での出力のほか、棒グラフや折れ線グラフで出力することもできます。

売上行列表 - 条件設定

条件設定 | 印刷設定 | 出力設定

実行/クエリ

パターンコード: 3

パターン名: 売上行列表 (担当者・売上日付・部門) ☐ 編集する

実行期間: 2010年 4月 1日 ~ 2010年 3月31日

実行範囲

縦軸項目: 担当者 ~ 最 大

横軸項目: 売上日付 ~ 最 大

詳細項目: 部門 ~ 最 大

期間指定: 期間入力(月) ~ 実行単位: 1ヵ月ごと

位置区分: ☒ 振売上 ☒ 現金売上 ☒ クレジット

売上行列表 (担当者・売上日付・部門)

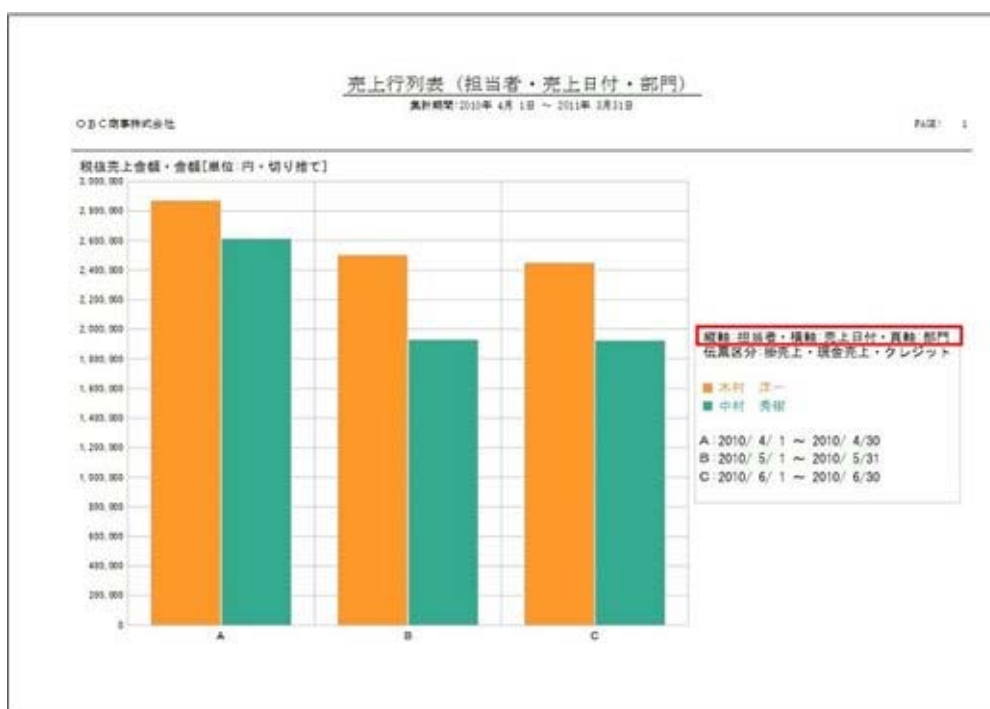
実行期間: 2010年 4月 1日 ~ 2010年 3月31日 期間指定: 1ヵ月ごと

縦軸: 担当者 横軸: 売上日付 縦軸: 部門

位置区分: 振売上・現金売上・クレジット 単位設定: 円・切り捨て

縦軸		横軸			
部門	コード	名称	2010/ 4/ 1 ~2010/ 4/30	2010/ 5/ 1 ~2010/ 5/31	2010/ 6/ 1 ~2010/ 6/30
0001 第一営業部	0101	木村 洋一	2,870,500	2,501,792	2,440,768
0002 第二営業部			720,300	825,062	604,028
0011 札幌支店	0302	中村 秀樹	2,612,400	1,929,200	1,923,240
0021 仙台支店			454,960	382,320	351,640
0031 北関東支店					
0032 横浜支店					
0033 千葉支店					
0041 名古屋支店					
0042 静岡支店					
0043 金沢支店					
0051 大阪支店					
0052 神戸支店					
0061 広島支店					

F1 実行説明 F2 印刷 F3 固定位置前 F4 固定位置次 F5 前画面 F6 次画面 F7 グラフ F8 前頁 F9 次頁 F10 条件設定 F11 実行 F12 閉じる



● **[請求書発行]メニューの機能を強化**

○[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで、請求書の請求先欄に内訳情報（得意先・プロジェクト・部門）を印字できるようになります。

※[販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニューでも設定できるようになります。

The image shows three overlapping invoice forms. The top form has '請求先' (Customer) highlighted with a red box, showing 'お客様コードNo. 1-1' and '542-0083'. The middle form has 'プロジェクト' (Project) highlighted with a red box, showing 'お客様コードNo. 0000000' and '第三プロジェクト（食品関連）'. The bottom form has '部門' (Department) highlighted with a red box, showing 'お客様コードNo. 0001' and '第一営業部'. All forms show the same company information: '163-6032 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号 住友不動産新南オークタワー OBC商事株式会社 TEL:03-3342-1880 FAX:03-3342-1874'.

○[販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで、発行する請求書の一覧を印刷できるようになります。

● **[請求一覧表]メニューの機能を強化**

○[販売管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニューで、出力する項目の条件に以下を設定できるようになります。

- ・御買上額を税込みで出力する
- ・御入金額に調整額も含める

○[販売管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニューで、重複した請求期間の請求履歴があった場合に、その請求履歴を赤字で表示できるようになります。

● **[売掛金残高一覧表]・[売掛金残高順位表]メニューの出力項目を追加**

[販売管理]-[売掛金残高一覧表]メニュー・[販売管理]-[売掛金残高順位表]メニューで、「入金区分」ごとの金額も出力できるようになります。

● **得意先元帳オリジナルフォームを追加**

＜『Sシステム』をお使いの場合＞

[オリジナルフォーム]-[得意先元帳座標登録]メニューで、お客様独自の得意先元帳を印刷するための印刷形式（フォーム）を作成できるようになります。

得意先元帳の印刷時に印刷形式（フォーム）を選択することで、作成した印刷形式（フォーム）で印刷できます。

- **伝票でスポット得意先（得意先コード[0]）の名称を変更した場合の機能を追加**  
 ○[販売管理]-[得意先元帳]メニューで、摘要欄にスポット得意先名を出力するかを選択できるようにします。  
 ○スポット得意先の伝票の場合は、[伝票検索一括表示]画面の得意先略称欄にスポット得意先名が表示されるようになります。

## 蔵奉行 i の機能アップ内容

- **買掛金・未払金の開始残高に対して支払予定を設定する機能を追加**  
 [導入処理]-[開始残登録]-[買掛金残高登録]メニューで、買掛金・未払金の開始残高に対する支払予定を設定できるようになります。  
 [導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの「支払消込管理」にチェックが付いている場合は、設定した支払予定をもとに消込管理も行えます。
- **[同時発注処理]メニュー・[同時仕入処理]メニューで、作成される伝票の備考欄に作成元の「伝票No.」を設定する機能を追加**  
 [仕入管理]-[発注処理]-[同時発注処理]メニュー・[仕入管理]-[仕入処理]-[同時仕入処理]メニューで、作成される発注伝票・仕入伝票の備考欄に、作成元の「伝票No.」を設定できるようになります。
- **[仕入行列表]メニューを追加**  
 <『SPシステム』をお使いの場合>  
 [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入行列表]メニューで、仕入明細を仕入先や商品ごとに集計し、仕入金額や仕入数量のマトリックス表を出力できるようになります。  
 縦軸・横軸・頁軸に、お客様の任意の項目を設定できますので、お客様の用途に合わせた分析を行います。  
 また、表形式での出力のほか、棒グラフや折れ線グラフで出力することもできます。

仕入行列表 - 条件設定

基本設定 | 詳細設定 | 出力設定

集計パターン  
 パターンコード: 1  
 パターン名: 仕入内訳表 (商品・仕区分1・商区分1) ☐ 編集する

集計期間  
 2010年 4月 1日 ~ 2011年 3月 31日

集計範囲  
 縦軸項目: 商品 最 13 ~ 最 後  
 横軸項目: 地区区分 最 13 ~ 最 後  
 詳細項目: 商品種別 最 13 ~ 最 後

期間指定  
 開始入力(月): 集計単位: 1 月ごと

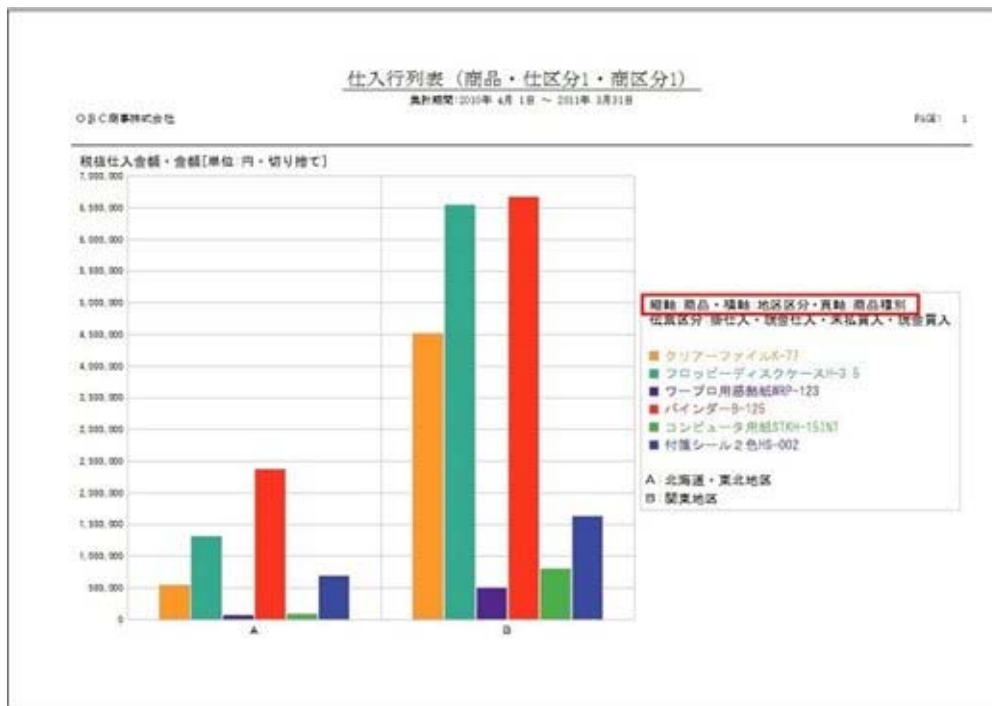
仕区分分  
☒ 借仕入 ☒ 現金仕入 ☒ 未払買入 ☒ 現金買入

仕入行列表 (商品・仕区分1・商区分1)

集計期間: 2010年 4月 1日 ~ 2011年 3月 31日  
 縦軸: 商品 横軸: 地区区分 詳細項目: 商品種別  
 表示区分: 借仕入・現金仕入・未払買入・現金買入  
 出力項目: 税別仕入金額・仕入数量 単位設定: 円・切り捨て

商品種別	コード	名称	0001 北海道・東北地区		0002 関東地区		0003 東海・北陸・甲信越	
			金額	数量	金額	数量	金額	数量
0001 家電製品	J-10001	クリアーファイルK-77	946,000		4,518,200		0	
0002 事務用品	J-10002	フロッピーディスクケースH-3.5	1,950		16,140		0	
0004 文具用品	J-10003	ワープロ用熱転写紙H-123	1,316,000		6,552,000		0	
0005 花・観賞植物	J-10004	バインダーB-125	940		4,680		0	
0006 衣類用品	J-10005	ワープロ用熱転写紙H-123	74,500		504,900		17,500	
0007 その他	J-10006	コンピュタ用紙STKH-151NT	14,900		100,800		3,500	
			2,377,200		6,678,000		0	
			3,396		9,540		0	
			31,900		807,000		15,000	
			22,950		201,750		3,750	
			894,600		1,637,600		0	
			3,020		7,120		0	

F1 操作説明 F2 印刷等 F3 固定位置前 F4 固定位置次 F5 前画面 F6 次画面 F7 グラフ F8 前頁 F9 次頁 F10 条件設定 F11 縦軸 F12 閉じる





● [支払明細書発行]メニューの機能を強化

○ [仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューで、支払明細書の支払先欄に内訳情報（仕入先・プロジェクト・部門）を印字できるようになります。

※ [仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニューでも設定できるようになります。

The image shows three overlapping sample payment detail sheets. Each sheet has a header section with 'お客様No.' and '支払明細書' title. The top sheet is for 'Supplier' (仕入先), the middle for 'Project' (プロジェクト), and the bottom for 'Department' (部門). Each sheet also includes a table with payment details and a summary table at the bottom.

(2019年 4月30日 締切分)						
前払金残高	支払額	調整額	差引繰越金額	税控仕入額	消費税額等	今回支払残高
0	0	0	1,119,500	55,975	1,175,475	

明細金額欄：金額は税抜金額です。 PAGE : 2

年月日	伝票No.	商品名	数量	単位	単価	金額

○ [仕入管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューで、発行する支払明細書の一覧を印刷できるようになります。

● [支払一覧表]メニューの機能を強化

○ [仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニューで、出力する項目の条件に以下を設定できるようになります。

- ・ 仕入額を税込みで出力する
- ・ 支払額に調整額も含める

○ [仕入管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニューで、重複した精算期間の精算履歴があった場合に、その精算履歴を赤字で表示できるようになります。

● [買掛金残高一覧表]・[買掛金残高順位表]メニューの出力項目を追加

[仕入管理]-[買掛金残高一覧表]メニュー・[仕入管理]-[買掛金残高順位表]メニューで、「支払区分」ごとの金額も出力できるようになります。

● 仕入先元帳オリジナルフォームを追加

＜『Sシステム』をお使いの場合＞

[オリジナルフォーム]-[仕入先元帳座標登録]メニューで、お客様独自の仕入先元帳を印刷するための印刷形式（フォーム）を作成できるようになります。

仕入先元帳の印刷時に印刷形式（フォーム）を選択することで、作成した印刷形式（フォーム）で印刷できます。

- **伝票でスポット仕入先（仕入先コード[0]）の名称を変更した場合の機能を追加**
  - [仕入管理]-[仕入先元帳]メニューで、摘要欄にスポット仕入先名を出力するかを選択できるようにします。
  - スポット仕入先の伝票の場合は、[伝票検索一括表示]画面の仕入先略称欄に、スポット仕入先名が表示されるようになります。



商奉行*i*  
販売管理システム

・ 蔵奉行*i*  
仕入・在庫管理システム

# 機能アップガイド

Ver.1.22



## 機能追加／改正情報

---

Ver. 1.22 変更内容
<a href="#">奉行21・奉行21 R2・奉行21 Ver. IIのすべてのバージョンの会社データをデータコンバートできるように対応</a>

# 機能追加／改正情報

---

## Ver. 1.22 変更内容の詳細

---

- 奉行21・奉行21 R2・奉行21 Ver. II のすべてのバージョンの会社データをデータコンバートできるように対応

[\[データコンバート\]メニュー](#) で、以下の製品の会社データもデータコンバートできるようになります。

※「データ変換ツール」で会社データを変換する必要があります。

- ・ 商奉行21 Ver. II
- ・ 蔵奉行21 Ver. II
- ・ 商奉行21 R2
- ・ 蔵奉行21 R2
- ・ 商奉行21
- ・ 蔵奉行21

商奉行*i*  
販売管理システム

・ 蔵奉行*i*  
仕入・在庫管理システム

# 機能アップガイド

Ver.1.21



# 機能追加／改正情報

## 注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

### Ver. 1.21 変更内容

#### 【商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容】

[付箋機能を追加](#)

[同時生産処理を追加](#)

[入力権限に修正登録時の権限を追加](#)

[\[取引実績一覧表\]メニューを追加](#)

[コンバートできるデータを追加](#)

[メニューの名称を変更](#)

[\[メニュー権限登録\]・\[データ領域権限登録\]メニューに一括複写機能を追加](#)

[奉行 i メニューの操作性を変更](#)

#### 【商奉行 i の機能アップ内容】

[クレジット販売の機能を追加](#)

[得意先別期間単価を追加](#)

#### 【蔵奉行 i の機能アップ内容】

[預り品処理を追加](#)

[仮出荷処理を追加](#)

[仮入荷処理を追加](#)

[仕入先別期間単価を追加](#)

[在庫の管理資料を追加](#)

[\[必要部品確認\]メニューの強化](#)

# 機能追加／改正情報

Ver. 1.21 変更内容の詳細

## 商奉行 i・蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

### ● 付箋機能を追加

伝票の明細ごとに「付箋」を貼れるようになります。

明細に付箋を貼ることで、明細に目印を付けたり、メモを残すことができます。

また、[元帳](#) や明細表などの管理資料では、付箋での絞り込み、付箋の取り外し、内容の編集などが行えます。

### 《 対象伝票 》

[見積書](#) ・ [受注伝票](#) ・ [売上伝票](#) ・ [入金伝票](#) ・ [発注伝票](#) ・ [仕入伝票](#) ・ [支払伝票](#)



### ● 同時生産処理を追加

同時生産処理を行うことで、売上伝票をもとに、一括で生産伝票を作成できるようになります。普段、構成品を在庫として持たず、得意先への売上に応じて必要数量を生産する場合などに行います。

生産伝票を再入力する手間を省いたり、入力ミスなどを防げます。

### 《 関連メニュー 》

・ [\[同時生産処理\]メニュー](#)

### ● 入力権限に修正登録時の権限を追加

[\[入力権限登録\]メニュー](#) で、新規登録時と修正登録時の入力権限を別々に設定できるようになります。

### ● [取引実績一覧表]メニューを追加

[\[取引実績一覧表\]メニュー](#) で、対象期間内の[取引内容](#)（[見積書](#)・[受注伝票](#)・[売上伝票](#)・[発注伝票](#)・[仕入伝票](#)・[支払伝票](#)・[生産伝票](#)・[分解伝票](#)）を日付や商品ごとに一覧で出力できるようになります。

また、取引の差益や在庫の回転率なども集計できます。

コード	名称	売上	入金	仕入	支払	差益
【合計】		553,545,360	97,209,263	212,164,540	14,401,752	341,380,640
2009/ 4/ 1		10,103,000	5,033,700	2,711,900	0	7,359,100
2009/ 4/ 2		0	0	1,882,600	0	-1,882,600
2009/ 4/ 3		1,656,000	0	2,596,600	0	-940,600
2009/ 4/ 4		21,270	0	67,190	0	-45,920
2009/ 4/ 5		1,726,000	0	1,030,000	0	696,000
2009/ 4/ 6		0	0	310,600	0	-310,600
2009/ 4/ 8		4,286,600	0	870,600	0	3,415,600
		47,025		1,060		45,965

- **コンバートできるデータを追加**

旧製品から『商奉行 i』『蔵奉行 i』へデータを移行（コンバート）する際に、以下のデータもコンバートできるようになります。

- 信販会社マスター
- クレジット売上の売上伝票
- 預り品台帳
- 仮出荷台帳
- 仮入荷台帳

- **メニューの名称を変更**

[データ領域権限設定]メニューの名称を、[データ領域権限評価ポリシー]に変更しました。

- **[メニュー権限登録]・[データ領域権限登録]メニューに一括複写機能を追加**

今までは、メニュー権限・データ領域権限を複写する際に、複写先に1名しか指定できませんでした。

今回より、複写先に複数名を指定して、一括で複写できるようになりました。

- **奉行 i メニューの操作性を変更**

「奉行 i メニュー」ボタンをクリックすると、「サポート時事情報」や「保守会員様向けダウンロード情報」の内容が、最新の情報に更新されるようになりました。

## 商奉行 i の機能アップ内容

- **クレジット販売の機能を追加**

クレジット販売（売上伝票）やファクタリングによる債権譲渡（入金伝票）を管理できるようになります。

また、信託債権の管理資料や信販会社ごとの仕訳伝票を作成できます。

◀ **関連メニュー** ▶

- ・ [信販会社登録]メニュー
- ・ [信託債権管理表]メニュー

※[信販会社登録]メニューに対応する汎用データ作成・汎用データ受入・データ一括削除メニューも、あわせて追加されています。



- **得意先別期間単価を追加**

[\[得意先別期間単価登録\]メニュー](#) で、得意先によってある期間の商品の単価が変更になる場合に、その得意先と期間に対する商品の単価を設定できるようになります。

## 蔵奉行 i の機能アップ内容

- **預り品処理を追加**

預り品処理を行うことで、売上は計上済みですが、何らかの先方の理由によって発送せずに預かっている商品を管理できるようになります。

また、以下の処理も行えます。

○ [売上傳票（出荷伝票）をもとに、預り品伝票の登録](#)

○ [納品書の印刷](#)（戻しの預り品伝票）

◀ **関連メニュー** ▶

- ・ [\[預り品伝票\]メニュー](#)
- ・ [\[預り品受払帳\]メニュー](#)
- ・ [\[預り品集計表\]メニュー](#)

※[預り品伝票]メニューに対応する [開始No.登録](#) ・ [入力権限登録](#) ・ [汎用データ作成](#) ・ [データ一括削除](#) メニューも、あわせて追加されています。

- **仮出荷処理を追加**

仮出荷処理を行うことで、委託販売などの売上を計上せずに得意先に商品を出荷する業務を管理できるようになります。

また、以下の処理も行えます。

○ [リレー機能](#)を使用して、登録した[仮出荷伝票をもとに売上傳票の登録](#)

○ [納品書の印刷](#)

◀ **関連メニュー** ▶

- ・ [\[仮出荷伝票\]メニュー](#)
- ・ [\[仮出荷受払帳\]メニュー](#)
- ・ [\[仮出荷集計表\]メニュー](#)

※[仮出荷伝票]メニューに対応する [開始No.登録](#) ・ [入力権限登録](#) ・ [汎用データ作成](#) ・ [データ一括削除](#) メニューも、あわせて追加されています。

- **仮入荷処理を追加**

仮入荷処理を行うことで、受託販売などの仕入れを計上せずに仕入先から商品を入荷する業務を管理できるようになります。

また、[リレー機能](#)を使用して、登録した[仮入荷伝票をもとに仕入伝票の登録](#)も行えます。

◀ **関連メニュー** ▶

- ・ [\[仮入荷伝票\]メニュー](#)
- ・ [\[仮入荷受払帳\]メニュー](#)
- ・ [\[仮入荷集計表\]メニュー](#)

※[仮入荷伝票]メニューに対応する [開始No.登録](#) ・ [入力権限登録](#) ・ [汎用データ作成](#) ・ [データ一括削除](#) メニューも、あわせて追加されています。

- **仕入先別期間単価を追加**

[\[仕入先別期間単価登録\]メニュー](#) で、仕入先によってある期間の商品の単価が変更になる場合に、その仕入先と期間に対する商品の単価を設定できるようになります。

- **在庫の管理資料を追加**

以下の管理資料を集計できるようになります。

- [\[出荷集計表\]メニュー](#)

- [\[分解一覧表\]メニュー](#)

- **[必要部品確認]メニューの強化**

[\[必要部品確認\]メニュー](#) で、部品の中に構成部品がある場合、その構成部品の部品の数量を確認できるようになります。